

ཨོཾ། འཕགས་པའི་རྒྱལ་པོ་འཕགས་པའི་རྒྱལ་པོ།

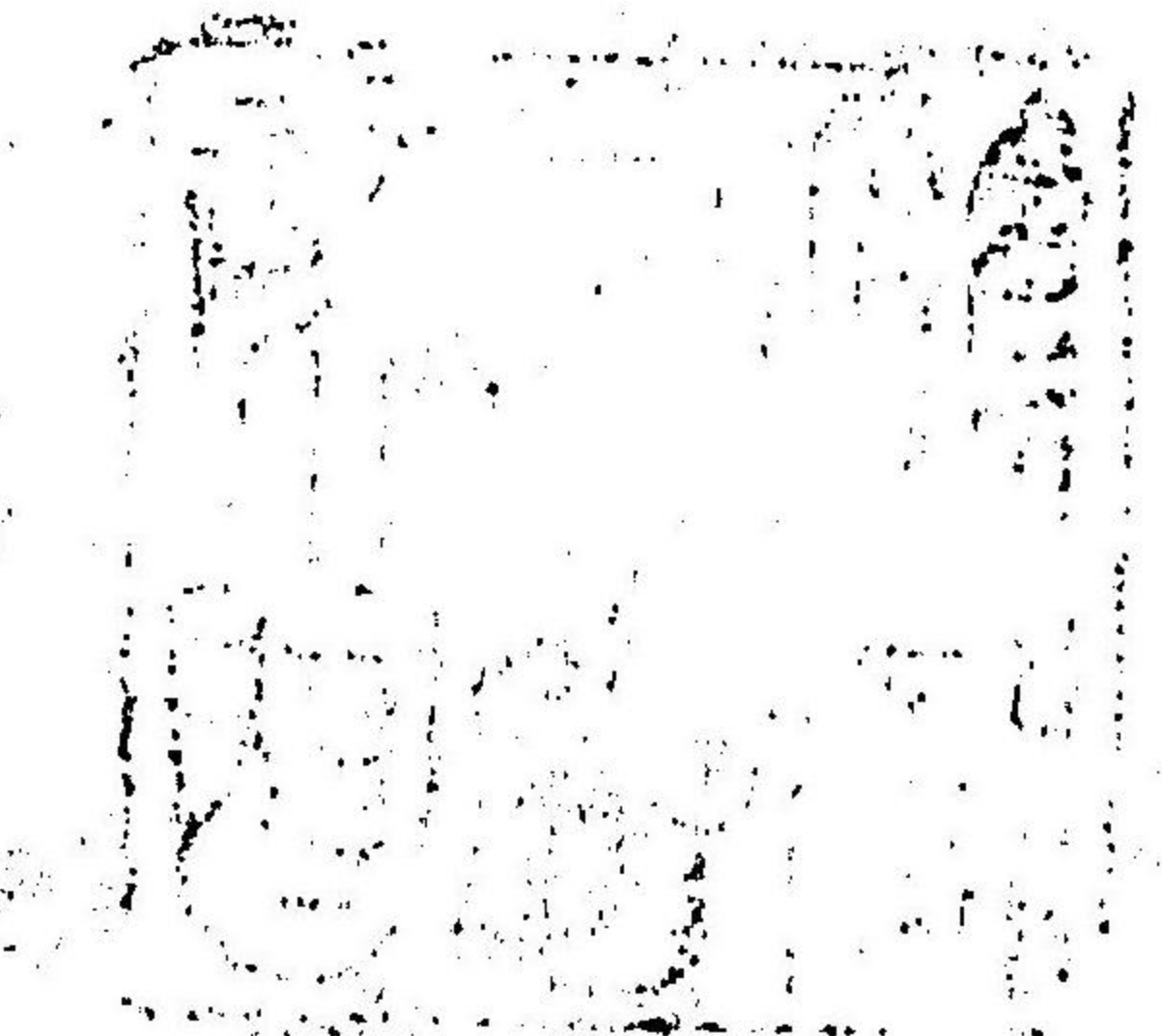


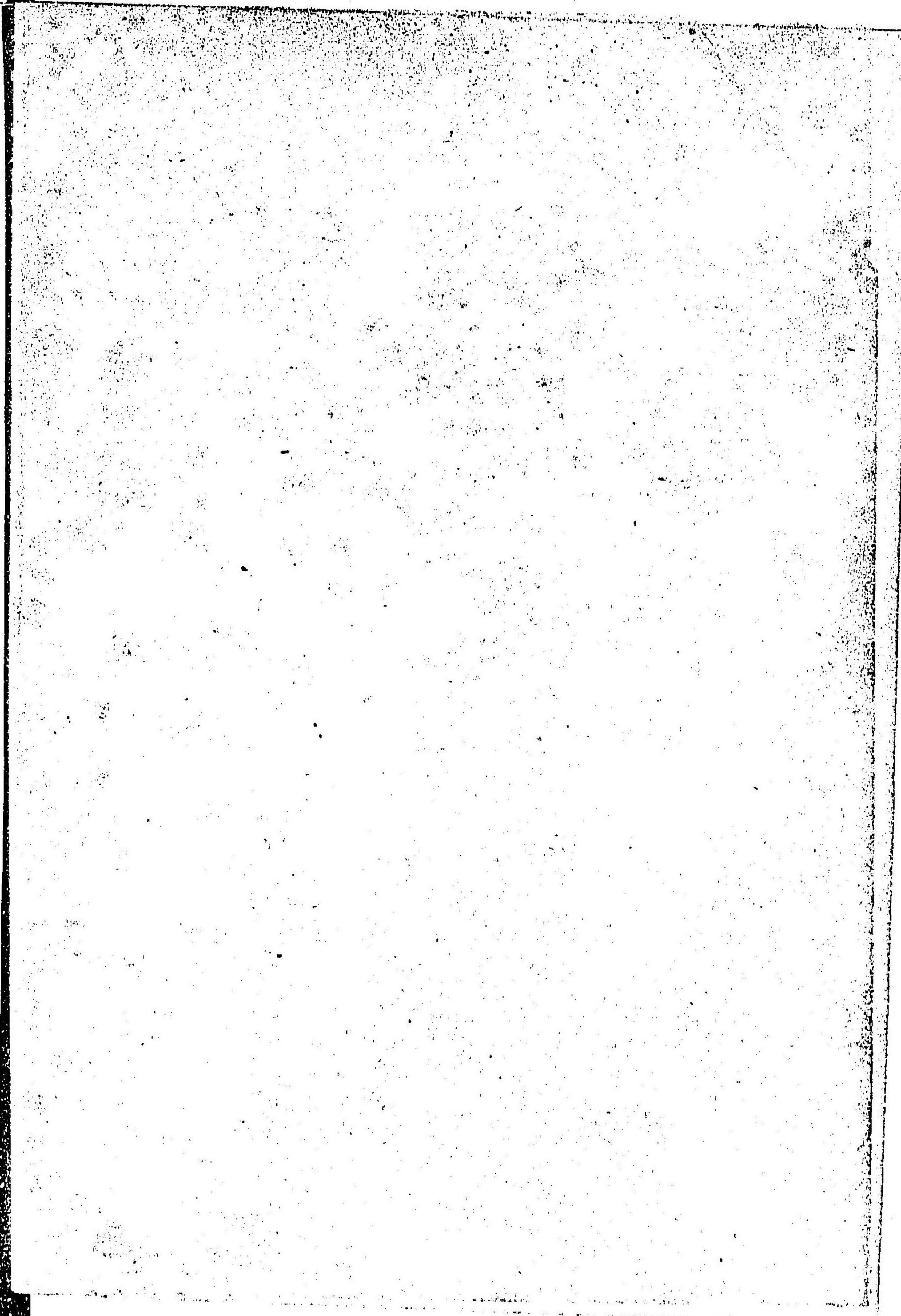
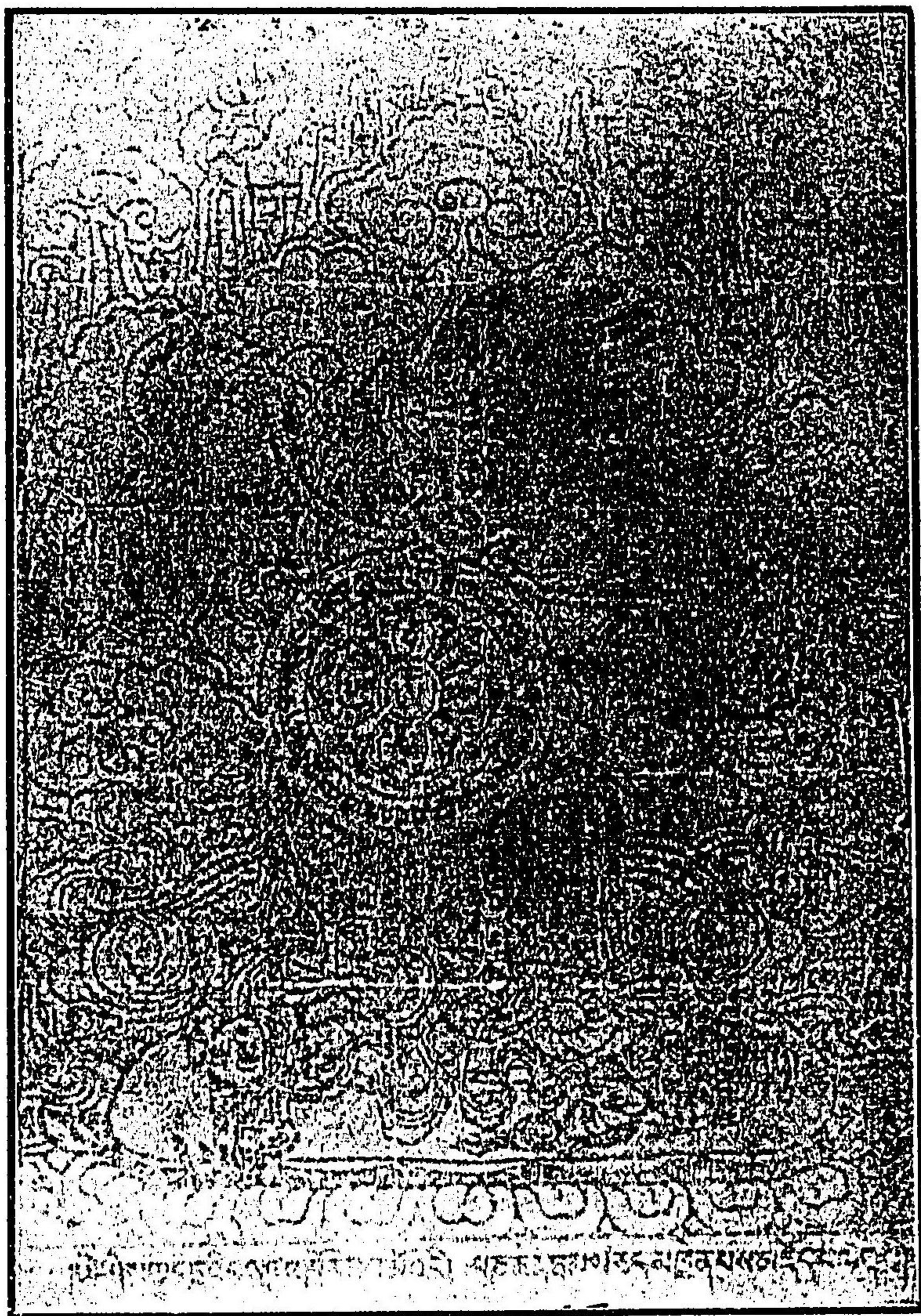
寺本婉雅譯

萬白龍

東京 帝國出版協會藏版

明治
39 3 22
丙交





（金翅鳥の咒文）

此の深妙なる智慧金翅鳥の周遊守護

は。大板底達ダイバンテイダツ (Pan-Tia-Chen-Po) の一切

智識に由て成すなり。



八 大 龍 王



開 祖 潘 托 蘭 〇

自序

梵語學の研究は我國に於て日尙淺しと雖、其の光明に因て原始佛教に於ける教理及教理史の比較研究は稍精緻に趣き釋迦の教説を中心として其の以前に於ける印度宗教思想に溯り、婆羅門教と佛教との關係を驗し、以て其後に於ける佛教の發達を一瞥し、史的佛教の脈絡を辿るを得て、盤根錯節、闇雲の中一縷の光明を認めしが如きは、洵に佛教史研究上喜ぶべき現象なりとす。然れども尙彼大小乗分岐の根本的教理と、馬鳴龍樹の佛教觀との關係に於て、確たる史的脈絡一貫を期するは未だ望洋の嘆なき能はず。即是か溯源考竅は一に南北兩乘の比較涉量にあり。既に南北兩乘の考究必要なりとせば、未鑿の西藏佛教の研究亦必要ならずとせずや、若し西藏佛教にして研究闡明ならしめば、

原始佛教史上何等かの真相發輝せらるゝものあらんも未だ知るべからざるなり。今や其の秘密佛教の鍵鑰を握り、門戸開放を望むや切なり、而して泰西には早くより斯教の研鑽開始せられ、既にチヨ、マー及、エシユ、グーの如き、喇嘛教研究の結果を宇葉等に發表し、近くはウイル、ソンの研究、其弟子の藏語賢愚經の譯出ワッデルの西藏佛教、シユラギント、ワイトの喇嘛教事情等ありと雖、我國に在ては未だ是が研鑽開幕あるを見ず、是れ宗教學者の遺憾とするところなり。幸に之が研鑽に必要な經典史料、西藏語大藏經も先年之を得たり。其他我國には宋、元、明、清版、高麗版、バ—リ版等の大藏經現存し、佛教研究の材料は豊富なりと謂ふべし。不肖譯者は聊か此に感ずる所あり、西藏行を企て、第一回入藏拒絶に遭遇してより已に七星霜を経と雖常に北蜀南溟、一日も

窓下繙書の閑を得ず。今又再度の行を企て一昨年十月北京を發し蒙古多倫諾爾より雪中、蒙古中央部を横斷し喇嘛教黃派開祖宗喀巴の生地靈廟に詣し、傍ら斯教の探究に従事す。思ふに喇嘛教の起源發達を知らんと欲せば、そが先驅の西藏古代ボンポ教を探究せざるべからず。喇嘛教は單に開祖パトマ、サンブハーバ、師に依て開始せられしに非ずして、既に其以前に於て印度佛教殊に大乘教が比摩拉耶山を越えて西藏に入り、西藏民間宗教思想に投して組織せられたる古代ボンポ教に其が起源を有し、喇嘛教の起源及教理儀式行事と相關聯するものあり。若し夫れボンポ教にして精確檢鑽せらるれば、嘗に西藏古代に於ける民間思想を窺知し得べきのみならず、併て印度宗教史上と稍接近的系統を辿るを得るやも測り難し。成實、法相、三論が、我國佛教の先

驅たりし如く、ボンポ教は實に西藏に於ける喇嘛教の先驅源流たり、斯教の研究豈忽緒に附すべけんや。

現にボンポ教に二派あり、一はオーン、カルバ即唵白派、二は、オーン、ナグバ即唵黑派と稱す。是等は東部西藏の蠻地殊に唐古忒人種中に多く殘行するも、之が研究は容易の業ならず。此地を去る西南四天貴德廳附近にボンポ廟あるも、土民獐惡、劫奪殺戮、草木腥き蠻境奈何てか單獨の行き得べき所ならむや。幸に此地に於て全教開祖トンバ、センラブの口述に係る經典ループン、カルボ、ループン、ナグボ、ループン、チャボ、三部中前二部を轉借閱讀するを得たりき。仍ち是か謄本を作り併せて、ループン、カルボ(十萬白龍)一部を譯出しぬ。今便ありて之を北京に送る。若し一路平安に本國に轉送するを得べくんば、聊かボンポ教の概要を紹介するを得ん歟。一言卷首に記す。

明治三十七年四月八日

甘肅 安土塔爾寺 阿嘉府に於て

譯者 識す

又

余は明治三十五年秋、再び入藏の志を齎らし、蒙古を経て異郷の蠻地安土に留まり、本書即ちボンポ教の經典一部を譯し終りて、本國に之が轉送を托し、孤身飄然として宿昔の志を果すべく、世界の秘密國西藏の關門に向ひて進み、遂に一萬六千餘尺の高原を越えて、拉薩の都に到着せしは實に三十八年舊三月一日なり。次て後藏扎什倫布を過ぎ、其間政治を探り、宗教を尋ね、教育を觀、風俗を察し、聊か素志の幾分を達し得て、印度ダージリンに着したるは、同年舊七月二十八日なりき。行程八千餘清里、茫々たる曠原ゆけども、際涯を見ず、四方全く無人の境にして、眼界に限る處、唯天と地とあるのみ。時としては寒風骨に徹し、飢渴身に迫り、時としては怪獸に襲はれ、蠻人に狙はれ、瀕死の境に接した

ることその幾度なるを知らず。不安の念は常に胸中に塞がり、半夜夢冷かにして眠り就らず。天涯萬里孤獨瑩々の身、轉た悽愴の感に堪へざりき。

余幸に佛門に生れ、幼時より宗教の感化を被り、精神的修養に於て聊か得る所あり、暗黒の裡、尙一道の靈光ありて、晏然として險山難路を辿り、毅然として余が初志を貫徹することを得たり。思はざりき、身命を全うして再び故國の地を踏まんとは、嗚呼測るべからざるは人生の運命なる哉。余は過去を追懷して無限の感なくんばあらず。思ふに今日の事余が如き薄志弱行のもの、よく爲し得る所ならむや。偏に佛陀冥々の加護の然らしむる所、於是乎益々靈界の威神力の昭々たるに驚き、且つ深く中心より溢れ來る感謝の念を捧ぐる所以也。

曩に余が譯して本國に送致したる、ボンポ教の經典も亦無事余が手に落ちぬ。本書即ち是也。譯本晦澁難解にして恰と意をなさざる所あり。これ余が藏語の未熟の致す所なりと雖、もと斯の經典は系統を追ひ、秩序を正して記述せるものならざれば、聊か平易を欠くの點なしとせず。要するに譯者の意は西藏喇嘛教以前既にかゝる大乘的宗教の行はれたるを紹介すれば足れりとす。今本書を公にするに當りて、更に原本と對照し訂正を加へ、稍々難解の句を平易に改めんとするの志、切なるにも拘らず、歸朝匆々塵事蝟集し來りて、之を顧みるに違なし。遺憾ながら、其の儘上梓する事としぬ。一はボンポ教の何物たるやを紹介し、一は余が入藏の紀念に充つるのみ。杜撰の罪は豫め讀者諸君に謝せんと欲す。再び序して所感を述べと云爾。

凡例

- 一 同一ボンポ教の名稱も、地方種族に従て其發音を異にす。唐古^{シグ}忒^ト人種はオンポ或はボンポと稱し、西藏拉薩人はボンポと稱す。今は拉薩音に従ふ。
- 一 此原本は二百三十八枚より成れる寫本にして、卷末に此原版はガル、ゲン、ブン、ク、リン廟にある由記すれども、同名異廟のもの多ければ、ガル、ゲンとは果して西藏拉薩中の黃派に屬する、ガル、ゲン大廟なるや。又ボンポ教派に屬する廟名なるや明白ならず。多數の喇嘛の説に依れば、此經典は同教徒間に非ざれば容易に得る能はずとぞ。
- 一 西藏語研究は泰西には夙に開始せられ、そが一定の譯語あらんも、我國に於ては未だ適當の譯語あるなし。従て本書譯語中奇怪なる諸種龍名の如き、讚稱梵語呪文の如きは適當に譯すべくも非ざれば、原語名稱の其の儘羅馬字を以て寫すに二法を以てしたりき。一は一連より成れる一語中、發音を要する字母は冠字を以てし、其餘は小字を以て寫す。二は合重より成れる一語中、其合重せる頭上

と欲し、赫耀たるユン、チュン、清淨天の日月光明殿に來現して、十方を覩見し、世界閻浮提の地、百千萬に應して、彼の化現の身も、亦百千萬に變し、一切道を成就し、一切事を成就して、全身普く全說妙辯、全心平等にして、功德廣大に、一切教化を完成し、衆生煩惱を救濟せん、此不思議なる眞理のボン(法)を説き、清淨心に因て思惟し、廣島の舌相を以て演暢し、無智愚暗の諸衆生に、全く無差別平等に説き給ふ。一般衆生の行動、無數にして、不可思議不可量なり。衆生に等しく世界亦無數にして、不可思議不可量なり。此の如き世界を教へ導く、トンバ、センラブの慈仁亦無數にして、不可思議不可量なり。世界一切衆生の害惡破壊の大なる中に、多くの不思議を有するものは、ニヤン(猛烈者 s'nyan)と、サブダク(地主 Sa-dag)と、ルー(龍 klu)となり。彼等を濟度化益し、諸衆生を利益せん、此神聖十萬白龍經を説きしなり。

センラブ、エン、チュン、大菩薩は、一切智を有するか故に、罪惡の衆生は如何に存在するかを觀る。猶鏡を磨けば垢去りて明存するか如く、諸衆生を教化し、不思議の龍王國を化益せんを思惟しぬ。先づ龍と名けらるる因縁は奈何。諸衆生よ、信不動に住して聽くべし。龍は世界六趣衆生の住する地と、無色天色處天とに住せず。

尙餓鬼と地獄との二界にも住せず、福德力に因て普く他界に住す。其ニヤンと名けらるるものは、天界に住し、サブダクと名けらるるものは、地に住し、龍と名けらるるものは水中に住す。

夫れ世界開闢の原始は、天は空間を有し、明亮は光明を有し、闇黒は光線を有す。此三元の集合に依て、此世界を成す。天の空間を有するは、天あるか故に、表象を適宜に現はし得べく、空間を有するか故に、包括にして過境的なり、明亮の光明を有するは、明亮を有するか故に、衆生諸の心門を開き得べく、光明を有するか故に、奈何なる變化をも顯はし得。闇黒に光照を有するは、闇黒あるか故に、愚蔽の諸根を生し、光照を有するか故に、種々の害惡を顯はす。此の如き三種は、相互に形成して、不合理にも、猛惡界を生ずるに至るなり。

ニヤンは天と光明と光線とに住し、種々不思議を十方に散布し、一切總へてに於て、猛惡なるか故に、ニヤンと名く、ニヤンの王を、バル、フ、ドン、ゴ、ユー、トル、ツク、チャ(高白頭藍玉髻持者 pBar—Pa—Dui—mGo—gYul—Thor—Tsnugs—Chan)と名け、神通不思議なり。サブダクは、地底に住し、草木、花華、巖石、地穀の主たり。サブダクの主を

セルドク、セルチー、ブムバ、チャン(黄金瓶持地主 gSer-mDog-gSer-Gi-Bum-Pa-Ch
 び)と名け、一切地を管す。ニヤンと、ツブダクとは變化自在の靈力を有し、上下二方
 に化現轉生す。龍族は、四面四隅、八方上下に不思議にして、其が根元に五族あり。
 王族(Gyal-Rigs)は、黄金椅座に、貴族(Je-Rigs)は、藍玉椅座に、婆羅門族 (Bram-rje-Ri
 び)は、鐵椅座に、平民族(dMans-Rigs)は、銅椅座に、賤民族(gDal-Pahi-Rigs)は、青銅椅座に
 座す。

トンバ、セン、ラブ曰、天上のニヤン、バルツ、トツン、ゴ、ユー、トル、ツク、チャン、は、妙雲虹
 光殿に住し、下界のツブダクは、黄金地層上、大蘇迷盧山上の美麗なる花林殿中、五寶
 蓮華臺に座し、化現の諸兒四方八方に散布し、大海、江河、湖、池、井、泉等に棲息す。

一切王族は、龍の、エン、チュン、剛豪心(Klun-ig-Yun-Dra-Sems-dPa)を有し、人類を
 利益す、此地と欲界天とに住す。一切貴族は、幸福の場處に住し、普く一切衆生を化
 益す。其罪科に在りては、苦惱病、吐血、仙癩、狂氣等の諸病を衆生に加へ、此地と、阿脩
 羅天とに住す。一切平民族は、惡魔の眷屬を有し、諸衆生に與ふる害惡猛烈にして
 諸種不同あり。交通力を以て不時に死を致し、世界に患難を増長し、以て諸衆生を

絶滅せんとす。又膨腫、疥毒、潰瘍、惡疫等を加へ、永久衆生を苦しむ。此地と人界と
 須彌四州八界と、水とに住し、夏起ち、冬、寝ね、秋、休み、春、繁殖す。一切婆羅門族は、諸衆
 生に惡疫を加へ、若衆生にして他に害惡を及ぼさば、彼等は聾、盲目、吃者、缺鼻、啞、無覺
 痘瘡、四支潰腐、沮汗、癩疾、跛、駝背、疾病等の惡病、刑害を加ふ。此地と人界、石、地、水、温暖
 潤氣とに住し、夏起ち、冬、寝ね、秋、休み、春、繁殖す。諸衆生の他に害を及さずば、彼等は
 亦之に害を加へざるべし。一切賤民族は、愚蔽なるか故に、害惡大にして、腫、痒、疱、癩
 病、足疾、筋骨肉、血、腦髓、筋力等の諸力に、惡病を集聚し、五體四支をして、日々刺痛し、脈
 血管を亂惱し、頭髮體毛を剝脱し、皮膚は、腐癩の血汁を以て充たす。夏起ち、冬、寝ね
 秋、休み、春、繁殖す、若諸衆生の他の國土を強奪せば、屢害惡を及して惱ます、其賤民族
 黑龍は、害毒猛烈にして、衆生一度黑龍に惱まざるれば、更に痊癒の期なかるべし。
 只常に教説に歸依せば、難治の惡病と雖、恢復するを得べし。

トンバ、セン、ラブは、衆生教化の爲め、彼等の諸條件を摧破して、願義を成就せしめ
 んに、此神聖十萬白龍のボン(法)を説いて、十四節の分段となす。

第二章

六

全智の主、セン、ラブは、天空に於て一切衆生を利益せんと欲し、日月光虹、白雲妙團、群星等莊嚴神殿内に在て、ニヤン王國を化し、一切慈悲を以て衆生憂惱を攝取す。彼が言説は、明亮なる、如意寶珠の如し。體より光明を放ち、遍ねく三千界を照す。畢常の説を演出して、一切衆生中に有名なり。又彼は、多くのユン、チユン菩薩を化現して、一切衆生中、猛烈なるニヤンの地を了會せしめ、或多くの不思議を現し、毒箭を雲間に射し、雲霧を天上に降らし、黒雲を起して、闇黒ならしめ、畏惡の音聲を無念に發す。圍繞の大衆は、彼が衆生を教化せんに、龍、ニヤン、サブダク、の王國に於て、神聖なるルー、ブム、カルボ、を説きしとき、如此不快なる運命現象の來現する緣因を知らされは、如此因果に會するは何に由て然るやと、世界の一切事に於て明知なるト、ンバ、センラブに、其か説明を願ひぬ。曰く、ユン、チユン菩薩の大衆よ、身口意三業を不動堅持して、聽くべし。蓋其か運命の因果は外ならざるなり。

世界の一切衆生中、大不思議を有するものは、ニヤンと、サブダクと、龍となり、現に彼等は、衆生を害傷すること激烈なり。今其か群生の憂惱を消滅し、猛惡の地に大神通奇蹟を化現して、ニヤン地を摧伏平定する者は、心印なる我なりと。仍ち呪文を念して曰へらく。唵、宇宙の實體は、赫々として明朗なり。唵、宇宙の實體は、廣大なり、其か總へてを汝に聞かんことを願ふ。唵、宇宙の實體は、廣大にして、ザハの生する光明に同じ。唵、宇宙の實體は、廣大にして、ター、ハー、ハ、(Taha—Haha—Pa)の光明に等きなりと。

彼は、普邊救濟の慈悲と、呪力の無限なる恩恵と、呪文の靈驗とに依て、天上のニヤン地を平定し、或猛烈醜惡の體面を有せし者は、其教化に由て、美麗光澤の面容と化し、雲間に反射せし毒箭も、亦燦爛たる光明と化し、絶えず降る雹雪は、煌々たる花雨と化し、闇黒に蔽ふ黒雲、亦紅緑の虹霓に變じて、害惡猛烈なる天上のニヤン國の諸者は、彼の前に伏しぬ。於此、一切ニヤン地を支配する、ニヤン王バルフ、トロン、ゴリ、ニヤ、トル、ツク、チャン、は、敬虔に合掌敬禮し、快語を以て彼名を稱讃し、精意専心を以て問ひけらく、彼の無限救濟の慈悲は一切に普く、適調諧好の福音は、三界に信仰を

生せしめ、耿々美佳の體は、異常の光輝を放ち、一切功德を生ずる如意珠を以て莊嚴し、其か行動は善行目的を生ずる因縁たるなり。不知此の如き因縁は何に由て然るや。曰、天上のニャン王國の諸者よ、身口意三業を清淨し、一心專念に住して聽くべし。往昔我、因地にありしとき、甘露の水に等しき、エン、チュン、不思議真理のボン、を思惟し、歡喜を以て修せしかば、如此一切智を成就するを得たりき。今汝等も、亦斯の如く、此不思議なるエン、チュン、真理のボンを持して、其か實體の原因を修行せば、我と同じく亦眞實に一切智果を成ずるに至るべし。

バルワ、トゥン、ゴ、ユー、イ、トル、ツク、チャン、問ひけらく。吾等天上の一切ニャン國の者は、多くの不思議を現し、而かも悪心を有す。諸衆生中、嗔悲の火熾大にして、智心小なれば、不思議なるエン、チュン、真理のボン、を此身に修持せば、眞實に一切智果を成すべしと云へる、其かボン、と名けらるゝ實體、本性と名(特徴)とは、奈何にして思惟し得べきか。實行は、奈何に修せば、其實行を得べきや。一般の分類及其數は如何、中心より實義を吐露して、吾等に説明せんことを願ふ。曰、天上のニャン國の諸者よ、敬虔なる方法と、眞實心とを以て修せば、其を了解するを得べきなり。

夫ボン、と名けらる實體と、名とは、眞理の實義を了解實行することに因て、ボン、の實體と、名との根原を識り得べく、無常と、常住との、二義を理會して、不動不着ならば、ボン、を悞らす修し得べき實行方法を得へし。

一般の分類は、輪廻(世界成立の法 Takhor)の一切ボン、より、煩惱と、涅槃(解脱) (Mya—Ni—Las—had)のボンとの、二法なりとす。其差別分類の數は、輪廻の一切ボン、より、煩惱を分ちて、五十九位とし、涅槃、解脱のボン、を分ちて、八十三位とす。即此二法分類の數を合して、一百四十二位なりとす。

ニャン國の諸者は、問ひけらく。各其數と位とは、奈何、曰、天上のニャン國の諸者と、サ、ブダクと、龍との諸族よ、敬虔專心に聽くべし。若眞理のボンを識り、實行せんと欲せば、身口意三業を不動に堅持して、トンバの命令を聞き、無常と常住との二義を識りて、不着不動に修すべし。

輪廻のボン(法)の分類の數、及其位は左の如し

色

szugs

受

Tshor—Ba.

想 行 識

haDu—Shes.

haDu—Byed.

rNam—Par—Shes—Pa.

五蘊は輪廻(haKhor)のボんなり

Mig.

rNa—Ba

sNa.

eChe.

Lus

Yid.

此六根は輪廻のボんなり

gZugs.

sGr.

Dri.

色 聲 香

味 觸 法

Ro.

Reg.

Bon.

六境は輪廻のボんなり

Mig—Gi—rNam—Par—Shes—Pa.

rNa—Phi

sNahi

eChehi

Lus—kyi

Yid—hyi

六識は輪廻のボんなり

Mig—Gi—hDus—Te—Reg—Par—Shes—Phi—rKyen—Gyis—Tshor—Ba.

rNa—Phi

sNahi

眼 識 耳 識 鼻 識 舌 識 身 識 意 識

眼 觸 受 耳 觸 受 鼻 觸 受

舌觸受 eChehi " " " " " " " " " " " "

身觸受 Lus-kyi " " " " " " " " " " " "

意觸受 Yid-kyi " " " " " " " " " " " "

六結果の觸受は輪廻のボンなり

rLun-Gi-Khams,

Mehi-Khams

Chuhni-Khams.

Sahi-Khams

Nam-mkhali-Khams

rNam-Par-Shes-Phi-Khams.

六生處は輪廻のボンなり

Ma-Rig-Pa

hDu-Byed

rNam-Par-Shes-Pa.

風處 火處 水處 地處 空處 識處 無明 行 識

名色

Min

gZugs.

六入(知覺) slye-mched

六内持は輪廻のボンなり

Reg-Pa

Tshor-Ba

Sred-Pa

Len-Pa

Sid-Pa

skye-rGa-Na-hChhi.

六外縛は輪廻のボンなり。

gTi-Mug.

Zhe-sDan.

hDod-Chags

愚癡 嗔恚 貪慾

十萬白龍上卷

我慢
嫉妬

Na-rGyal.
Phrg-Tog.

五因は輪廻のボツなり。

生因

rGyu-kun-haByun-Ba.

生果

Rab-Tu-skye-Ba

果類

rKyen-Gyi-rNam-Pa.

無常

Mi-rTag-Pa

苦

sDug-bsNal-Ba.

空

sTon-Ba.

無我

bdDag-Med-Pa.

七因果は輪廻のボツなり。

次に解脱のボツ(Thar-Phu-Bon)の分類八十三位は次の如し。

布施慈善成就

sByin-Pahi-mThar-Phyin-Pa.

持戒(道德)成就

Ishul-Khrims-mTar-Phyin-Pa.

忍辱(忍耐)成就

bZod-phi-mThar-Phyin-Pa.

精進(勉勵)成就

bRtson-haGrus-kyi-mThar-Phyin-Pa.

禪定(默想)成就

bsam-gTan-gyis-mThar-Phyin-Pa

自願成就の五は解脱のボツなり。

力成就

sTobs-Kyi-mThar-Phyin-Pa.

慈仁成就

sNyin-rJehi-mThar-Phyin-Pa.

祈願成就

sMon-lam-gyi-mThar-Phyin-Pa.

方便成就

Thams-kyi-mThar-Phyin-Pa

智慈成就

Shes-Rab-kyi-mThar-Phyin-Pa.

他願成就の五は解脱のボツなり。

外空

Phyi-sTon-Pa-Nyid.

内空

Non-sTon-Pa-Nyid

内外空

Phyi-Nan-sTon-Pa-Nyid.

積聚空

haDus-Byas-sTon-Pa-Nyid.

十萬白龍上卷

不積聚空

haDus—Ma—Byas—sTon—Pa—Nyid

過境空

mIhah—Las—haDs—Pa—sTon—Pa—Nyid.

不願空

Mi—dMigs—Pa—sTon—Pa—Nyid.

大空

Chhen—Po—sTon—Pa—Nyid.

實義空

Don—Dam—Pa—sTon—Pa—Nyid.

一般の名を區別せんとするも能はざるの九は解脱のボンなり。

自然空

Ran—bZhin—sThon—Pa—Nyid.

無自然空

Ran—bZhin—Med—Pa—sTon—Pa—Nyid.

各名空

Rain—Gi—nTshan—Nyid—sTon—Pa—Nyid.

無始無終空

Thog—Ma—Dan—Tha—Ma—Med—Pa—sTon—Pa—Nyid.

無壞空

Dor—Ba—Med—Pa—sTon—Pa—Nyid.

無自性空

dNos—Po—Med—Pa—sTon—Pa.

無自性之實在空

dNos—Po—Med—Pohi—No—Bo—Nyid—sTon—Pa—Nyid.

一切ボン空

Bon—Thams—Chad—sTon—Pa—Nyid.

空即空

sTon—Pa—Nyid—sTon—Pa—Nyid.

各名を合成してその合成不能なるの九は解脱のボンなり。

四道想

Dran—Pa—Nye—Bar—gZhang—Pa—bghi

四清淨滅

Yan—Dag—Par—sPoi—Pa—bgi

四不思議

rDsu—haPhrul—gyi—rKan—Pa—bghi.

諸力

dBan—Bo—rNams,

諸禪定

Tiā—Ne—haDsin—rNams.

セ、ン、ラ、ブ、の、四、道

gShen—Rab—Kyi—Lam—hZhi.

無畏の諸力

Ma—gZigs—Pahi—sTobs—rNams.

解脱の八道

Thar—Pahi—Lam—bRgyad.

不還果(阿那含)

Phyir—Mi—sDog—Pahi—bBrs—Bu.

一來果(斯陀洹)

Lam—Chi—Phyir—hon—Bahi—haBrs—Bu.

入流果(須陀洹)

rGyun—Tu—Zhugs—Pahi—haBrs—Bu.

无量信

Tshad—Med—Pahi—Dad—Pa.

十萬白龍上卷

菩提の十二道は解脱のボクなり。

不可分、不可合的エン、チュン、ボク(法)の九 gYun—Drun—Gi—Bon—Phyc—Ba—
Med—Pa—Las—Ma—hadRe—Pa—dGu.

清淨智

Yan—Dag—Pahi—Rig—Pa—Nyid.

エン、チュン、の九支

gYun—Drun—Gi—Yan—Lag—dGu.

セン、ラブ、の眞理

gShen—Rabs—kyi—bDen—Pa.

各清淨の四智

So—So—Yan—Dag—Pa—Rig—Pa—bZhi.

不忘の能力

Mi—bSnyel—Bahi—gZuis.

解脱住の九平等

mThar—Gyis—gNs—Pahi—sNyoms—Par—hajug—Pa—dGu.

無名の四平等

mTshan—Ma—Med—Pa—La—sNyoms—Par—hajug—Pa—hZhi.

エン、チュン、ボク、の一印鑿

Bon—gYun—Drun—Gi—dByiñs—Thams—Chad.

常住の四慈

rGyun—Tu—gNs—Pahi—Thugs—sJe—bZhi.

エン、チュン、十地は解脱のボクなり。

大解の見

rTogs—Chhen—Pohi—cTa—Ba.

無護の聖語

bSruñ—Du—Med—Pahi—Dam—tshig.

不斷成就の職務

rGyun—Du—Grub—Pahi—haphrin—Las.

圓滿清淨の實行

rNam—Par—Dag—Pahi—sPyud—Pa.

善生の功德

Legs—Par—haByuñ—Bahi—Yon—Ton.

平等住の本性(自我)

sNyoms—Par—gNs—Pahi—ñ—Nyid.

不變の身

haGyur—Ba—Med—Pahi—sKu.

無我の命令

Ran—bZhin—Med—Pahi—gSun.

平等無過の心

mNyam—Nyid—haKhrul—Ba—Med—Pahi—Thugs.

一切智識

rNam—Ba—Thams—Chad—mkhyen—Pahi—Ye—Shes.

無上清淨完全果

bla—Na—Med—Pa—Yan—Dar—Par—rDsoqs—Pahi—haBrs—Bu

十一果は解脱のボクなり。

顯然の信

dMigs—Pahi—Dad—Pa.

不顯然の慧

Mi—dMigs—Pahi—Shes—Rab.

不貪の強力

Mi—Chags—Pahi—rTobs—mChog.

- 不心の行爲 Mi—Nyās—Pahi—bRtul—Zhugs.
 - 不試の智 Mi—rTog—Pahi—Ye—Shes.
 - 不壞の王幢 Mi—Nub—Pahi—rGyal—mTsham.
 - 不壞の密城 Mi—Sigs—Pahi—gSs—inKhar.
 - 不忘の咒(眞語) Mi—hRjed—rahi—gZuns.
 - 不轉の心 Mi—haPrul—Pahi—blo.
 - 不動の教賊 Mi—Yens—Pahi—Man—Nag.
 - 不變のユンチュン Mi—haGyur—Pahi—gYun—Drun.
 - 不等の等 Mi—mNyam—Pahi—mNyam—Pa.
 - 不光の光 Mi—Nai—Pahi—Nai—Ba.
- 大解脱タハバシツの十三位は解脱トクのボボなり。
- 明鏡智 Me—Lon—eTa—Bahi—Ye—Shes.
 - 成所作智 Bya—Ba—Nan—Tam—Gyi—Ye—Shes.
 - 觀察智 So—Sor—rTog—Pahi—Ye—Shes.

- 平等智 mNyam—Pa—Nyid—kyi—Ye—shes.
 - 空性智 sTon—Pa—Nyid—kyi—Ye—Shes.
- 全勝五智クンチヨムゴクは解脱トクのボボなり。
- 哀愍無量 sNyin—rJe—Tshad—Med—Pa.
 - 慈悲無量 Byans—Pa—Tshad—Med—Pa.
 - 歡喜無量 dGaha—Pa—Tshad—Med—Pa.
 - 不徧無量 bTan—sNyoms—Tshad—Med—Pa.
- 全周四無量ボンチヤンチヤンは解脱トクのボボなり。

如此一百四十二位は衆生各自に其か原因を集聚するものなり。ニヤン、サブダク、龍の王國の諸者よ。斯の如き二大分類を明かに知らは、一切事を識るを得べし。専心威力を以て修行せば、全き智慧を得、惡心を棄て、眞實に了解すへき也。

バルワ、トツン、ゴ、ユーイ、トルツク、チャン、問ひけらく。輪廻のボンに於て、輪廻は何の罪過より生ずるや。解脱のボンに於て、智は何の原因より生ずるや。センラ、曰。バルワ、トツン、ゴ、ユーイ、トルツク、チャンよ、汝の質義は善哉。今彼の罪過と

過失とを説明せん。眞實心に住して諦聽すへし。諸衆生は無量劫より色に愛着せるか故に、色に輪廻して斯る實體と名とを形成するに至りしなり。現に亦色を受くると雖、即是幻影に等しくして無常なり。若し幻影なる一切色を離れずんば、色に輪廻して、又後に此の如き愛慾を生すべし。其故奈何となれば、一切色は輪廻すへき原因を有すればなり。故に之を離れざるへからず。一切色は愛慾の境を有するか故に、又之を離れざるへからず。一切色は苦の因を有するか故に、又之を離れざるへからず。

斯の如く、色受、想行識の五蘊も、輪廻のボンなり。眼耳鼻舌身意の六根も、輪廻のボンなり。色聲香味觸法の六境も、輪廻のボンなり。眼識耳識鼻識舌識身識意識の六識も、輪廻のボンなり。眼觸受耳觸受鼻觸受舌觸受身觸受意觸受の六觸受も、輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六出處も、輪廻のボンなり。無明行識、名色、六入の六内持も、輪廻のボンなり。觸受、愛、取、有、生、老、死の六外縛も、輪廻のボンなり。愚癡、嗔、恚、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因も、輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七因果も、輪廻のボンなり。

諸の衆生は無始より輪廻のボンに愛着せるか故に、輪廻のボンに輪廻して、又他に於て彼に愛着を起すべし。如此實體と名とを形成して、今此輪廻のボンを受くも、即是幻影に等しき無常なり。若し幻影なる一切輪廻のボン、其の若を離れずは、輪廻のボンに輪廻して、又他に於て彼に愛着を生すべし。其故は、輪廻のボンは、輪廻の原因を存するか故に、之を離れざるへからず。一切輪廻のボンは、愛慾の境を有するか故に、又之を離れざるへからず。一切輪廻のボンは、苦の因を有するか故に、之を離れざるへからざるなり。

第三章

爾時、ニヤン、バルワ、トゥン、ゴ、エーイ、トル、ツク、チャンよ。水の流に等しき苦惱の一切之れを絶えす、離脱して、完全清淨のボン、即ち大涅槃解脱の原由を證すへし。布施成就、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五は、解脱のボンなり。力成就、慈悲成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五は、解脱のボンなり。

り。外空、内空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、の一般の名を區別せんも爲し能はさるの九は、解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空、此等は皆解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は、解脱のボンなり。不可分不可合的、エン、チ、エン、ボンの九清淨智、エン、チュンの九支、セン、ラブの真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、エン、チュン、ボンの一切體常住の四慈のエン、チュン、十地は解脱のボンなり。顯明の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のエン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智、全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量の、全周四無量は、解脱のボンなり。

彼諸衆生は永却より愛慾に依て輪廻沈淪せしも、今其を超越して一切苦惱を滅し、如此諸解脱のボンに因て全く愛執せさらしむるの衆生は輪廻のボンなる愛慾

と、水流に等しき絶えざる苦しみを常住に解脱せば、速かに圓滿清淨のボン、即大涅槃の因を證せん。

第四章

爾時、ニヤン、バルワ、トゥン、ゴ、ユーイ、トル、ツク、チャン、願問すらく、大慈仁普く、布化廣大なる恩人、セン、ラブ、喇嘛よ。衆生を利樂に導き、令名三千界に普き主よ。中心より智慧の光明を放ち、無明の闇を破して、三千大千世界に歡喜の福音を宣布し、殊勝の妙音を發して、愛苦に惱める一切衆生を照輝する功德は、最善を生し、大智を以て諸罪惡過失を消滅し、害惡なるニヤン地を去りて、一切衆生をして毀變化滅を顯はさらしめ、全く利樂有情の願義を成就せしむるのボンを、ニヤン國の諸族に説明せんを願ふ。曰く。バルワ、トゥン、ゴ、ユーイ、トル、ツク、チャン、及天上の諸ニヤン等よ。眞實の信仰を以て願ふは善哉。身口意三業を不動に堅持して、信心、願意を以て、單一虛零に集めしボンの説明を聴くべし。トンバの説きし貴き命令教誡は

神靈なるル、ブム、カルボ、中に顯はれつゝあり。眞實の實義を修する方法は蓋し他ならず。彼の色なるものは、輪廻の原因を離るべきものにも非ず。色は解脱の果を受くべきものにも非ず。色は、無始より、離脱と受得との二境を越超せる、大虚零其者にして、其體周遍法界に等しきなり。

斯の如く、受、想、行、識、の五蘊は、輪廻のボンなり。眼、耳、鼻、舌、身、意、の六根も、輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸、法、の六境は、輪廻のボンなり。眼、識、耳、識、鼻、識、舌、識、身、識、意、識、の六識は、輪廻のボンなり。眼、觸、受、耳、觸、受、鼻、觸、受、舌、觸、受、身、觸、受、意、觸、受、の六觸受は、輪廻のボンなり。風、處、火、處、水、處、地、處、空、處、識、處、の六生處は、輪廻のボンなり。無明、行、識、名、色、六入、の六内持は、輪廻のボンなり。觸、受、愛、取、有、生、老、死、の六外縛は、輪廻のボンなり。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我慢、嫉、妬、の五惡因は、輪廻のボンなり。生、因、生、果、果、類、無、常、苦、空、無、我、の七因果は、輪廻のボンなり。

如此、輪廻の一切ボンは、決して輪廻の因を離るべきものにも非ず。一切輪廻の諸ボンは、我解脱の果を受くべきものにも非ず。輪廻の諸ボンは、無始より、離脱と受得との二境を越超するか故に、輪廻の諸ボンは、即大虚零其者にして、其體周遍

充實の天體に等しきなり。

第五章

布施の成就は、我輪廻の原因を離るべきものにも非ず。布施の成就は、亦解脱の果を得べきものにも非ず。布施の成就は、離脱と受得との二境を、無始より、越超せるか故に、布施の成就は、大虚零其者にして、其體遍滿なる天體に同じ。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、の自願成就の五は、解脱のボンなり。力成就、慈悲成就、祈願成就、方便成就、の他願成就の五は、解脱のボンなり。外空、内空、内外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、此等は、皆解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空、の各名を合成せんも、能はざるの九は、解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は、解脱のボンなり。ユン、チュン、不可分、不可合法ガの九、清淨の智、ユン、チ

ユンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、
ユン、チユン、ボンは一切體、常住の四慈、のユン、チユン十地は解脱のボンなり。顯然
の信不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不
動の教誡、不變のユン、チユン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は、解脱のボンな
り。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無
量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量の全周四無量は、解脱のボンなり。

斯の如き解脱の諸ボンは、我輪廻の原因を離るべきものにも非ず。解脱の諸ボ
ンは、亦解脱の果を受くべきものに非ず。解脱の諸ボンは、無始より、離脱と、受得と
の二境を超過せるか故に、解脱の一切ボンは、即大虛零其自身にして、其か法體は周
遍充實の空間に等しきなり。

慈仁セン、ラブは、斯く不思議のボンを説て、天上の一切ニヤン國の者を平定せし
かば、諸衆生は兇惡變化を現はさず、寂靜心に住して歸依降伏せり。且つ時不順の
恒寒水劫の絶えざる降雪火劫の乾燒時の疫病等は之れか爲めに平定せり。神聖
十萬白龍シヤク、カシゴの宣傳は、一切不順の時候を平定し、人をして再び善根果徳を得せしむ命

壽と、福德とを賦與するのみならず、一切本性成就過境の佛界の證果、不思議及現世
界に於ける奇蹟不思議の化現を悟證せしめ、以て、三界の祥福善性を生し明かに無
上正覺を證せしむるなり。

以上は、天上のニヤン、バルワ、トゥン、ゴ、ユーイ、トル、ツク、チャンか、龍の生する根原
と、及輪廻解脱とに就て、トンバに願問せし第一節なりとす。

第六章

爾時、センラブは、天國より地上に降り、黄金地層上、蘇迷盧山頂の花林中、五種寶華
座に、一千五百のユン、チユン、菩薩と共に來現せしとき、蘇迷盧山震動し、大海顛覆し
全國土動搖して、一切衆生驚駭しぬ。一切衆生中、多くの變化不思議を有するもの
はニヤン、サブダクと龍となり、センラブは、大奇蹟を現し、颯風を旋轉し、荆棘、岩石を
飛ばし、毒箭を射、蛇蛙を變現しぬ、圍繞のユン、チユン菩薩等は、斯る奇蹟を見て、恐懼
畏念して問ひけらく、トンバよ、一切群生を濟度し、幸福善導ならしめんに、神聖十萬

白龍を演出せしとき、吾等は斯の如き不思議奇蹟の示現は、奈何にして來るかを知らず。世界一切事に明知なる大主よ、斯る不思議の原因は、奈何にして來るや、又其を降伏する方法の、左手と右手とを如何様に合掌思念して可なるや。曰く、ユン、チユン菩薩の大衆よ、身口意三業を清淨にし、不動の根に住して聽くへし。眞實の實義を解するは甚だ困難にして、諸衆生の知れるもの稀なり。此故に彼の原因は、不解より生し、彼の果は、我の輪廻の蘇迷盧山頂に達するより起るなり。又其恢復降伏する兩手合掌の方法は、蓮華狀形の如く合掌し、眞實の語を以て、咒文を念すべし。圍繞大衆と、不動の我ある所以は、ニヤン、サブ、ダク、及龍は、惡心變化を有せるか爲めなり。斯く告げ終りて、自から、兩手を胸間に付し、蓮華狀に合掌し、ニヤン、龍、サブ、ダクとの惡心變化を降伏すべき咒文を誦し、讚嘆して曰く。普く運命を維持する、庵、アー、ン、タ、ム、(Aum—A—Dun—Ta)。ア、ト、ラ、ム、(Ya—Tra—Mu)を得たりし、庵風を變する、カイ、ロ、山頂の、特殊明亮なる、ザ、レ、ー、ジ、ー、(Tsa—Re—Zhi)の跡よ。アー、ハー、ヨム、(Aha—Haha—Yom)を、平和清淨にせし多くの蘇迷盧の如き宮殿よ。

恐怖戰慄せる一切衆生は、光明心印の慈悲、恩惠力に依て、トンバを識るを得て、心

歡喜を生しぬ。彼のニヤン、龍、サブ、ダク(地主)の王國のもの等を教化降伏せんに、颯風を旋らして闇黒ならしめ、無量虹霓を下界に照耀し、砂石荆木を散し、毒箭を雨下し、蛇鱗を無量に撒布したり。衆生亦之を見て歡喜し、天の龍、人の阿脩羅、は共にトンバに穀類、華枝、菜類、蘇油、藥、燈、明香、綉、紬等廣大の供物を、吼獅、嘯虎の如き音樂を奏しつゝ、正心敬禮して捧げぬ。此の時、地の司管者、サブ、ダク、トンバ、セル、トク、セル、チ、ー、ブ、ム、バ、チャ、ンは、大蘇迷盧山より來現して、敬虔に合掌三拜し、甘露水の黄金寶瓶を捧げて、且問ひけらく、吾亦因地の福德力に由て、總ての地を支配し、圍繞の衆も亦地に住する諸衆生を以てし、食物亦地生の物果を用ひ、財寶、黄金等の寶物を管す。然りと雖、諸衆生中、害惡なるもの多くある中に、最猛惡にして、最害傷大なる者は吾より、他に大なる者なかるべし。故に名に等しき教師、トンバ、セン、ラブよ。教主は往昔何を清淨修行して、斯く圓滿成就するを得たりしや。吾等地主と、龍國の諸等は、雙盲目、不具吃者、等多し。是れ奈何なる惡業に因て然るや。天體に等しき平等なる大聖、主明鏡の如き清明なる大主。日月光明の如き慈仁平等宣布の群生の父、教訓を甘露水に集め、諸病を治療する仁醫よ。中心より、勸教實義を顯はし、無明

煩惱の衆生と、草木國土の支配者たる吾等龍、地主國の諸王に、眞實到達の眞實義を説明せんことを願ふ。曰く、サブダク、トンバ、セルドク、セルヂ、ブムバ、チャン、及下界の地主、龍國の諸養屬よ、身口意三業の不動の信に住して聞くへし。我前生に於てユン、チュン不思議眞理のボンを修するに智を以てし、輪廻の道を轉して福徳を成し、心に愛慾の苦惱を生せず、遂に大涅槃解解を證得せしかは、今一切群生の憂惱を展開釋融するを得る所以なり。汝等地主、龍の諸族は、七生より我教訓を修せず、智不明にして巧妙成效ならず、不定の心過誤の智に依て、色を常住不變なりとする過慮生するか故に、現に輪廻の牢獄に入りて憂愁の持因を除く能はずして苦海に沈淪す。若亦色を常住不變なりと思考する過失の智生せば、再び他に於て輪廻の堅き牢獄に入り、憂悲の因を滅する能はず、苦海に沈淪するに至るへし。

斯の如く色、受、想、行、識の五蘊も、輪廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸、法の六觸は輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識は輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意識受の六觸受は輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六出處は輪廻のボ

ンなり。光明、行、識、名、色、六入の六内持は輪廻のボンなり。觸受、愛、取、有、生、老、死の六外縛は輪廻のボンなり。愚癡、嗔、悲、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因は輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七迷因果は輪廻のボンなり。

汝等、地主、龍國の諸眷屬は七生より、トンバの命令、ボン、の諸範疇を修せず。智は不明にして巧妙なる慧を成せず。不定の心過失の智を以て輪廻の諸ボンを常住不變なりと執するの過失の智生して、現に如此輪廻の牢獄に入り、苦惱憂悲の因を脱する能はず、苦海に吟呻するなり。若亦輪廻の諸ボンを解して常住不變なりと執着する過慮の智生せば、再び他に於て輪廻して苦海に沈淪するに至るへし。

第七章

サブダク、トンバ、セルヂ、ブムバ、チャン、問へらく、六趣衆生の導師、明朗なる燈明の主、慈悲の恩人、衆生の父、身體より赫々たる光輝を放つ尊者よ。吾等害悪なる地主國の諸者は、トンバの教誡ユン、チュン、ボンの範疇を、智の修練、銳意の心を以て行し、奈何にせば、不著不執の心智を生ずるに至るや。一切事に於ける全智の主よ、中心より、眞理の法門を思惟し、無明煩惱に苦めるニヤン、地主、龍國の諸者に、ユン、チュン、甘露の一ポンを説明せんことを。曰く。汝等は不動堅持の根を以て聽くべし。サブダク、及眷屬の害悪罪業の衆生は、トンバの命令を聞き、ユン、チュン、ボンを修し、智の巧妙なる修練に依て、彼岸解脱を得べき道と、其方法とは、即博愛布施の完成を修し、信仰力に依て、明かに、ユン、チュン、ボンを實行せば、心性自から、智慧生ずるに至るべし。

斯の如く、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、の自願成就の五は、解脱のボンな

り。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就、の他願成就の五は、解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を分解せんも能はさるの九は、解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壊空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の九空は、解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の、菩提の十二道は、解脱のボンなり。ユン、チュンの不可分不可合、ボンの九清淨の智、ユン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈、のユン、チュン、十地は、解脱のボンなり。大解の見、無護の聖語、不斷成就の義務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果、此十一果は、解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の呪文、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は、解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は、解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量の全周四無量

は解脱のボンなり。

地主と、其眷屬なる罪惡の一切衆生は、トンバの命令を聞き、ユン、チュン、ポンを行し、智の修練實行に由て、解脱を證せんと欲せば、解脱の諸ポンを信仰力を以て不動に行すべし。去らはユン、チュンのボンに明かに住し、其を實行するを得て、心性自から智慧を發輝するに至るへし。

第八章

ザブダク、トンバ、セル、ドク、セル、ヂ、ブム、バ、チャン願問すらく。最高の賢者トンバセンラブよ。愚暈なるサブダクは、五惡を以て束縛せらるゝか故に、中心より真理の實義を思惟し、輪廻は、趣往と還來との、無二なる解脱平等の道を、妙音宣布を以て一切吾等に説かんことを。曰く、下界の地主と、龍との王國の者等よ、崇敬眞實信を以て敬禮して聽くべし。下界に於ける害惡なる地主と、龍との王國の眷屬は、若治癒の甘露水、ルー、ブム、カルボの教誡を不動に信じて修せば、解脱の正果を獲得せん

即色は輪廻に趣かしむる原因にも非されは、亦輪廻より還來せしむる果にも非ず。色は輪廻に趣往と、輪廻より還來との、二境を超越し、趣往還來因果無二の解脱道の樂果なるを證知すべし。

斯の如く、受、想、行、識。眼、耳、鼻、舌、身、意。色、聲、香、味、觸、ポ。眼、識、耳、識、鼻、識、舌、識、身、識、意識。眼、觸、受、耳、觸、受、鼻、觸、受、舌、觸、受、身、觸、受、意、觸、受。風、處、火、處、水、處、地、處、空、處、識、處。無明、行、識、名、色、六、入。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我、慢、嫉、妬。生、因、生、果、果、類、無、常、苦、空、無、我、等、は、輪廻のボンなり。

輪廻の諸ポンは、輪廻に趣かしむる原因にも非ず。亦輪廻より還來せしむる果にも非ざるなり。輪廻の一切ポンは、輪廻に趣往と、輪廻より還來との、二境を超越して、趣往還來因果無二の解脱道を幸福にするなり。

第九章

布施の成就是、輪廻に趣かせしむる原因にも非ず。亦輪廻より還來せしむる結果にも非ず。布施の成就是、輪廻に趣往と、還來との二の過境的にして、因果無二の解脱の樂道なり。

斯の如く、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性の實在空、一切ボン空、空即空。四、追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。ユン、チュンの不可分不可合のボンの九清淨智、ユン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、圓滿清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上

清淨完全の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量等は、解脱のボンなり。

斯る解脱の一切ボンは、輪廻に趣往と、輪廻より還來との二境を超越せるか故に、解脱の諸ボンは、因果無二の解脱道を幸するなり。

慈仁、トンバ、セン、ラブは、斯の如く、ルー、ブム、カルボを説きて、下界の龍と、サブダクとの王國の諸者を降伏し、有害なる毒箭、疾病等を治し得しかば、以後諸衆生は、信心を起し、神聖ルー、ブム、カルボの宣傳に因て、害悪なるサブダク、獐猛なる天龍を化度し、龍病、ニャン病を降伏、濟度せん、或は藥草、五穀等、年次收穫を豐饌にし、一切衆生の繁殖と、明亮の智根とを増長して、書字、讀誦の才智ある子孫、種族を繁殖せしめ、國土の河水、草木の繁茂、蟲吃者、六根不具者、跛、癩、癩瘡等を永久に絶滅し、以て一切國土をして純潔清淨ならしむるを得る而已ならず、善く解脱證得の集道を完成し、苦道の本體を解して、無上證覺を證するに至るへし。

以上は輪廻に於ける趣往と還來とのボンに就て、下界のサブグク、クンマ、セルドク、セルヂ、ブムバ、チャンの質義の第二節なり。

四〇

第十章

爾時、セン、ラブは、圍繞のエン、チュン菩薩一千五百人と共に、蘇迷山頂に於て、東西南北四方に於ける、六趣群生の憂惱を思惟しぬ。此時、世界國土震動し、響音動搖甚大にして、天の光明の色明亮に、地上に、大花林生しぬ。從て世界衆生は、其行動善に趣き明かに一切を成就するに至らん、衆生中、惡心大にして多くの不思議を有せる五族龍の宮城あり。彼等龍族は、セン、ラブに向て神通變化を現示し、或は他の一切衆生に龍病を加へて惱ましむ。彼の龍王族は、人身馬頭にして、鷄冠を載き、蛇の係蹄を以て、セン、ラブの頭に投げ、一切衆生を繫縛す。其貴族は、人身鶴頭にして、藍玉の鷄冠を載き、蛙狀石を持て、セン、ラブの體に投げ、又他の衆生を撃ちぬ。龍の一切平民族は、人身牛頭、鐵鷄冠を載き、毒水を持て、セン、ラブ、及其圍繞の衆と、餘の衆生

に向ひて灌きぬ。其一切婆羅門族は、人身鼠頭、銅鷄冠を載き、紅綠繩を環持して、セン、ラブ圍繞衆を縛し、又諸衆生を縛る。龍の一切賤民族は、四支渾身人間に同じく、蜚蜚頭にして、青銅鷄冠を載き、黑白の毒箭を射て、其圍繞衆と、衆生とを苦めぬ。斯る龍の變化を目撃せしエン、チュン、圍繞の大衆は、恐懼し、他の衆生亦怒り且慄きしなり。於此、エン、チュン、圍繞の大衆は、顧問すらく、慈仁の恩人、セン、ラブよ、一切群生を小兒の如く慈愛するの主よ。龍族の害は、賊に恐しく、其與ふる龍病は、永久に亘て惡毒なれば、斯る猛烈なる變現は、他界に追散せしめよ。曰く、汝等はエン、チュン、ポンを智を以て熟練實行すへし。圍繞大衆と、諸衆生は、善惡差別心を以て一切事物を思慮するの過誤を除かざるか故に、變化等に畏怖心を生すと雖、我は衆生を視るに差別心を以てせざるか故に、龍の變化害惡等をも降伏し得るなり。圍繞衆よ、龍の變化を視るも、畏怖心を以て見る勿れ、さらば、從て龍は慈仁とならんなり。苦忠を以て惱めるの諸龍は、我國土にも住するなりと。説き終りて、合掌心胸に當て呪を誦して曰く、唵、ア、ラム、ト、ン、ア、リン、マ、マ、(Ahe—Ram—Dun—A—Lin—Zhi—A)に出づ、強く起る輪廻を修せよ。啊、愚闇なる者よ、咄。メー、ダ、ラ、マ、カ、ガ、ザ、メー、ムー、(Me—

Dr—Ma—Ka—Kha—Tsha—Me—Me) を布傳せよ。不具者の悲むときは、セーゼドツア
 × (Tshe—Tsed—Tsa—Ta) を平治す。唵、カル、ナ。 ナ、ガ、ラ、マ、シ、ヤ、ツ、マ、レ、ジ、ル、ト、ム、
 Ka—Ru—Na—Naha—Ga—Raha—Dsa—Tsu—Le—Tsal—Hahum) ボー、ヤ、ツ、マ、ヘー。 ノー、ヤ、ン
 ー、ヤ(苦しきことよ)。 ナ、ガ、ラ、マ、シ、ヤ。 チ、ン、バ、ヤ。 カ、ル、ナ、ト、バ、ト(勇者)蘇婆訶。(三)
 Ya—Tsa—Ye; Hu—Ya—Hu; Naha—Ga—Raha—Dsa; sDrim—Pa—Ya; (Ga—Ru—Na—Hohum—
 Phat—Swaha—Haha) .

斯く呪を念せしかは其蓮花状形の合掌祈願と呪文の恩恵力とに由て、自己の身
 體より白色の金翅鳥キチユウ梵言ガルダー、Bya—Khyu)を變現し、羽翼を以て恐怖せる圍繞
 の大衆を擁護せし故に、害惡變化を現示せし五種龍は、金翅鳥を視て戰慄恐懼せり。
 此に於て彼等龍族は願問を起しぬ。始め一切王族を管せる白龍王、オッド、ダン、トゥン
 チョン(光持螺護者)(hod—eDan—Dun—sKhyon)は、體色白飾、頭飾白蛇一千、牛に優、蓋羅華
 を持し、黄金拵に坐し、眷屬白者十萬、仍合掌敬禮して云く、三界の罪惡の諸衆生は、眞
 理の意旨を了會せざるか故に、衆生相互に、害傷殺戮して歇まざるなり。吾等猛惡
 なる諸龍に、幸福の道を選賦する金翅鳥よ。斯る變化を識れる、尊者よ、恐怖戰慄す

る一切龍族を幸福に導くの慈仁トンバよ。吾等か爲めに不思議なる眞理のボ
 を説明せよ。吾等が多くの変化寄蹟を現して圍繞大衆に及せしとき、不思議なる
 金翅鳥の變現は奈何にして顯はれし歟。慈悲方便と不思議の智慧とを以て、諸病
 の苦患を除滅せんことを。曰く、白龍王族、オッド、ダン、トゥン、チョン、及十萬眷屬よ、汝等
 は王族なれば一切衆生を害する勿れと、斯く告げて白金翅鳥を消滅せしめ、自己の
 本身に復歸し、眼前に龍國の諸者を視て微笑し且告て曰く。大變化あるか故に害
 惡を滅する能はず、罪苦あるか故に諸病無量なり。斯る王族諸龍よ、不思議眞理の
 ポンの教訓を聞くへしと、仍ち、ユン、チュン、菩薩の圍繞衆は、歡喜悅樂し、諸香水、藥草
 液、七種檀香、九種淨水を捧げぬ、一切龍王國の者等は、其か命令を聞きて歡喜し、種々
 不思議を現せし諸龍族は、有害なる變化を消滅して慈仁平等の心を生ずるに至り
 き。

セン、ラブは、白龍王族、黃龍貴族、青龍平民族、紅龍婆羅門族、黑龍賤民族を降伏平定
 せしかは、王族諸龍は眞實心を發し、牛乳酥、蘇油、優蓋羅華、沙金、種々財寶、海泡、麴製骨
 形食物等を供捧す。王族オッド、ダン、トゥン、チョン問て云く、尊者、燈明の教主よ。吾等

龍王族を調定し、害心少からしめ、亦衆生を無害利樂に導き、解脫を證せざる苦患の生死海を不變常住たらしめ、生死無二なる清淨因果は何に由て獲得し得べき歟。心の奥底より眞理の意義を吐露して吾等に教へ給へ。曰く、汝等一切龍王族の者よ、眞實無二の心に住して聽くへし。生死無二なる清淨因果を證せんと欲せば、ユン、チュン、剛毅心の實行を修し、眞實心に教誡に歸順し、清淨なる諸修行を起さるへからさるなり。彼色は輪廻に住せしめさると共に、輪廻に愛着せしめさるなり。色は輪廻を行はしめさるのみならず、亦輪廻の起願を轉するの因生するなり。受、想、行、識の五蘊は輪廻のボンなり。眼、耳、鼻、舌、身、意の六根は輪廻のボンなり。色、聲、香味、觸、法の六境は輪廻のボンなり。眼、識、耳、識、鼻、識、舌、識、身、識、意識の六識は輪廻のボンなり。眼、觸、受、耳、觸、受、鼻、觸、受、舌、觸、受、身、觸、受、意、觸、受の六觸、受は輪廻のボンなり。風、處、火、處、水、處、地、處、空、處、識、處の六生處は輪廻のボンなり。無明、行、識、名、色、觸、六入の六内持は輪廻のボンなり。觸、受、愛、取、有、生、老、死の六外縛は輪廻のボンなり。愚癡、嗔、恚、貪、慾、我、慢、嫉、妬の五惡因は輪廻のボンなり。生、因、生、果、果、類、無、常、苦、空、無、我の輪廻の七因果は輪廻のボンなり。

此故に輪廻の諸ボンは輪廻に住せしめさる而已ならず、亦輪廻に愛着せしめさるなり。輪廻の諸ボンは輪廻を實行せしめさると共に、輪廻の起願を轉する因生すなり。

第十一章

王族白龍、オッド、ゲン、トゥン、チュン、問て云く、愛慾の根元を離れ、不變の心に住すへき其か修行道は如何なる方法に因て入るを得べきや。曰く、汝等龍王族の諸者よ、往昔我布、施成就を修するに、ユン、チュン、心を以て行ひしかば、此の如き、大解脫を證得しぬ。無邊衆生は眞實心に由て一切諸佛の如く布施の完成をユン、チュン、心を以て不斷に修せば、苦惱の火宅を出て、大解脫道を證するを得ん。

持戒成就、精進成就、禪定成就、忍辱成就の、自願成就の五因は解脫のボンなり。力成就、祈願成就、慈仁成就、方便成就、智慧成就の、他願成就の五因は解脫のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の九空は解脫のボンな

り。自然空無自然空各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空、此各名を合成せんも能はさるの九は解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は解脱のボンなり。ユン、チュン不可分不可合的ボンの九、清淨智ユン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈、此ユン、チュン十地は解脱のボンなり。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、圓滿清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨圓滿の果、此十一果は解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、此の大解脱の十三位は解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝の五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量、の全周四無量は解脱のボンなり。

此の故に、龍王、オッド、ゲン、トゥン、チュンよ。往昔我亦解脱の諸ボンを、ユン、チュン、心

を以て不斷に修せしかは如此大解脱果を證得せしなり。我に同しく、無邊の衆生は諸德眞實心に由て、前一切諸佛の如くに解脱の諸ボンを、ユン、チュン、心を以て不絶行せは、遂に苦惱の火宅を出て、大解脱果を證せん。

第十二章

王族白龍オッド、ゲン、トゥン、チュン問ひけらく、今ユン、チュン、心を以て解脱のボンを修し、輪廻より自由平等を證せんと欲するに、其解脱の境と實體とは、奈何なるものなりや。曰く、オッド、ゲン、トゥン、チュン、及一切王族の者等よ、眞實心を以て諦聽せよ。汝龍、オッド、ゲン、トゥン、チュン、の稱せる解脱の境と名くるものは、即ボンと、心とは一義にして、彼の名は顯明なるも、其實體は、解すへからさるなり。此故に色は、亦名くへく明白ならず。従て亦其實體は、解すへからさるなり。色は空其者なりと悟りて、色に不着不迷ならは、即解脱道の樂果なり。

受、想、行、識。眼、耳、鼻、舌、身、意。色、聲、香、味、觸、法。眼、識、耳、識、鼻、識、舌、識、身、識、意識。眼、觸

受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明、行、識、名色、六入。觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、瞋、恚、貪、慾、驕、慢、嫉、妬。生、因、生、果、果、類、無、常、苦、空、無我等は輪廻のボンなり。

是れに依て解脱の境と名くるものは、即ボンと、心とは、一義にして、其名は明了なるも、其實體は解すへからざるが故に、輪廻の諸ボンは、我名くへく顯然ならず。從て輪廻の諸ボンは、亦其實體を解すへからざるなり。輪廻の諸ボンは、空其者なりと識りて、輪廻の諸ボンに不着不迷ならば、解脱道を幸す。

第十三章

王族龍、トッソ、チヨソの稱して、解脱境と云へるものは、即ボンと、心とは一義なり。彼名は顯明なるも、其實體は解すへくも非ざるが故に、布施の成就は、亦名へく明白ならず、從て亦、其實體は解すへからざるなり。布施の完全は、空其者なりと識りて、布施成就に不着不動ならば、解脱道の樂果なり。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就、內空、外空、內外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨、滅四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、尤畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。ユソ、チユソの不可分不可合ボソの九、清淨智、ユソ、チユソの九支、セン、ラブノ真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユソ、チユソ、ボソの一切體常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨圓滿の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユソ、チユソ、不平等の等、不光の光。明鏡智、成所作知、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量等は、解脱のボンなり。

此の故に龍王、トッソ、チヨソの稱する、解脱境と名くるものは、即ボンと、心とは一義にして、彼の名は顯明なるも、其か實體は解すへからざるなり。之れに依て、解脱の諸ボソは、亦名くへく明かならず、從て亦、其實體は解すへからざるなり。解脱の一

切ポンは、即空其者なりと識りて、解脱の一切ポんに不着不迷ならば、解脱道を幸にすへし。

慈仁セン、ラブは、斯く、ルー、ブムを説きしに依りて、一切龍王族は、ユン、チュン菩薩を成して、無明闇愚の心は、清淨に、口月光明に等しき智慧生して解脱を獲得せり。以上は解脱道の教説に就て、王族白龍、オッゲン、トゥン、テヨンの願問の第三節なり。

第十四章

爾特、一切貴族を管する貴族黃龍、セル、テョー、トブ、テヨク(光照力主、Zer-IhPhro-sTo
bs-mChhog)は、黃身輝面、頭飾黃蛇一千、手に優曇盞羅華を持し、藍玉の寶椅に座し、眷屬亦黃者十萬、彼等は跪座合掌、敬禮して問云、吾等一切貴族龍は慈仁と、忿怒との二心を以て束縛せられ、善は一切衆生を利益し、惡は一切衆生を損害す、斯る因果は何に由て然るや、一切智を眼前に説き、中心より真理の意旨を發して、吾等一切貴族龍に教へんことを願ふ。セン、ラブ曰く、汝等は專心に住して聽くべし。大龍力主よ

神心、寂靜を以て利益すると、惡心を以て損害する所以は、生の無量劫より今に至る迄、我(Dag)と他(Zim)との執着心を生じ、其か罪惡過慮を去らざるに基くなり。然れども彼色は、私の如きものもなく、亦他の如き執すべきものなし。色は亦私の利すべきなく、亦他の害すべきものなし。色は、寂靜の本性を成せざると共に、亦惡業をも教へざるなり。

受想、行識の五蘊は、轉廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は、輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸法の六境は、輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識は、輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受は、輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處は、輪廻のボンなり。無明、行、識、名、色、六入の六内持は、輪廻のボンなり。觸、受、愛、取、有、生、老、死の六外縛は、輪廻のボンなり。愚癡、瞋、恚、貧、慳、我慢、嫉妬の五惡因は、輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七因果は、輪廻のボンなり。

大龍力主よ、神心、寂靜を以て利益すると、害惡心を以て毀損する所以は、生の無量より、今に至る迄、他の執着心に由れる、罪惡過失を去らざるに座する而已。然れ

とも輪廻の諸ボンは、我の存するものなく、亦離るべき他もなし。輪廻の諸ボンは、我の利すべきものもなく、亦他の害すべきものもなし。輪廻の諸ボンは、溫和寂靜の本性を成就せざると共に、亦惡業をも教へざるなり。

第十五章

黃龍貴族ゼル、チヨ一、トブ、チヨク、問云、前生無量より今に至る迄、我、他、彼、是、執着心の起る此過慮は、若奈何なるボンの因果を修せは、其を離脱し得べき歟。曰、黃龍王族、ゼル、チヨ一、トブ、チヨク、及一切貴族の者等よ、眞實心を以て聽くへし、大龍力主よ、往昔、吾も亦我、他、執着心を起せしかど、其が過慮の罪惡をボンの因果、布施成就を修し、意義の完全を守行せしに因て、離脱するを得たりき。若今汝等貴族龍の者等も、布施成就の意義を識らば、寂靜と、忿怒との無二平等心を生し、ボン即無方、大平等の周遍なるを悟らん。

布施成就、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五は、解脫のボンな

り。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五は、解脫のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、此一般の名を區別せんもなし、能はざるの九は、解脫のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空は、各名を合成せんもなし、能はざるの九は、解脫のボンなり。四追想、四清淨、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、八解脫、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は、解脫のボンなり。ユン、チユンの不可分不可合のボンの九、清淨智、ユン、チユンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脫の九平等、無名の四平等、ユン、チユン、ボンの一切體、常住の四慈、此のユン、チユン、十地は、解脫のボンなり。大解見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果の十一果は、解脫のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教、誠、不變のユン、チユン、不等の等、不光の光、此大解脫の十三位は、解脫のボンなり。明銳智成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は、解脫のボンなり。哀愍無量、慈悲

無量歡喜無量、不徧無量との、全周四無量は、解脫のボンなり。

大龍力主よ、往昔我亦、我他、執着の罪惡過失を、ボンの因果、解脫の一切ボンに住して、意義の完全を守修せしに因て離脱するを得たりき、今汝等貴族龍の諸者も若又解脫の一切ボンの意義を識らば、寂靜と、忿怒との無二平等なる心生して、ボン即無方大平等の思考たるを證せん。

第十六章

貴族黃龍、ゼル、チヨ、トブ、チヨク問云、トンバよ、我他、無二大平等の其實體と、名とは、如何、曰く。ゼル、チヨ、トブ、チヨク、及一切貴族龍等よ、眞實心を以て聽へし。大龍力主よ、我他、無二平等は、即其實體の如きものも不顯明なるのみならず、名も不可得なり。若し彼を顯明なりと執せは、其は過失にして輪廻の原因なり。此故に色は亦無始より實體を成せざるなり。

受、想、行、識。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根。色、聲、香味、觸、法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身

識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明行、識、名、色、六入。觸受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我慢、嫉妬。生因、生果、果類無常、苦、空、無我等は輪廻のボンなり。

大龍力主よ、我他、無二大平等は、即其實體の如きものも不顯然にして、名も亦不可得なり。若又彼を顯明なりと執せは、其は過失にして輪廻の原因なり。此故に輪廻の一切ボンは、亦無始より實體を成せざるなり。

第十七章

大龍力主よ、我他、無二大平等は、即其實體不顯明にして、名も亦不可得なり、若彼を顯明なりと執せは、其は過失にして輪廻の原因なり。此故に布施の成就は、亦無始より實體を成せざるなり。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。內空、外空、內外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空。自然空、無自然空

各名空、無始無終空、無垠空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、八解脱、不還果、一來果、入流果、無量心。ユン、チュン不可分不可合的ボンの九、清淨智、ユン、チュンの九支、センラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切休、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量等は解脱のボンなり。

大龍力主よ、我他無二大平等は、即其實體の如きものも不顯明にして、名亦不可得なり。若彼を執して顯明なりとせば、其は過失にして輪廻の原因たるなり。此故に解脱の諸ボンは、亦無始より、實體を成せざるなり。

慈仁セン、ラブは、斯の如くルー、ブムを説きしかば、一切貴族龍は、ユン、チュン菩薩を成して、無明闇黒を去りて明亮に、日月光明の如き智慧を發して、解脱を證せしなクの願問の第四節なりとす。

第十八章

爾時、一切龍平民族を統御せる、青龍、バルフ、チャブ、ダン(煥光滿遍者、InBar-Ba-K
Hyab-e-Dan)は、體色暗紅藍、頭飾藍蛇一千、手に蓮華を持し、銅椅に座す。眷屬藍者十萬、彼等は、セン、ラブに合掌敬禮して、願問すらく、吾等一切平民族龍は、心、害惡にして、眞慧を有し、身は害毒の物質より形成す。一切衆生を毀傷、破害する猛烈なり。不知、斯る因果は何より生ずるや。一切智を面前に示し、中心より眞理の實義を顯はして、吾等に教へ給へ。曰く、平民族、青龍、バルフ、チャブ、ダン、及一切民族等よ、眞實信を發して聽くべし。大龍、チャブ、ダンよ、心に害惡眞慧有りて、一切衆生を害傷する所以は、前生無量より、今に至る迄、ユン、チュンのボンを悟らざるの罪過に歸す、此故に色は、ユン、チュンの、ボンを識らざるへからず。色は、ユン、チュンの、ボンを明か

にせざるへからず。色は、ユン、チュンの、ポンを解せざるへからず。色は、ユン、チュンの、ポンを尊重せざるへからず。

受、想、行、識の五蘊は、輪廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は、輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸の六境は、輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識は、輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受は、輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處は、輪廻のボンなり。無明行、識、名、色、六入の内持六因は、輪廻のボンなり。觸、受、愛、取、有、生、老、死の六外縛は、輪廻のボンなり。愚癡、嗔、恚、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因は、輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七迷因果は、輪廻のボンなり。

是れに由て、大龍、チャブ、ダンよ、心は害惡にして、嗔恚を有し、諸衆生を毀損する所。以は、前生、無量より今に至る迄、ユン、チュンの、ポンを證せざるの過失に坐す。故に、輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを識らざる可からず。輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを明かにせざる可からず。輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを尊重せざる可からず。輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを尊重せざる可からず。輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを尊重せざる可からず。輪廻の諸、ポンは、ユン、チュンの、ポンを尊重せざる可からず。

第十九章

青龍平民族バルワ、チャブ、ダン、問云、前生、無量より現在に至る迄、苦惱絶えざる斯る愚蔽の罪過を、今、ユン、チュン、ポんに由て、清淨に成就せんと欲するに、彼の諸位法の何れを以て修行せは可なるや。セン、ラブ、告げて曰く、汝の質義は善哉。大龍、バルワ、チャブ、ダン、及一切龍の平民族は、眞實心を以て聽くへし。布施の成就は、ボン即ユン、チュンの原因なり。然れば彼のボン即ユン、チュンに住して修せは、善惡の生ずる煩惱を調定するを得へきなり。此故に布施の成就に入らざるへからず。布施の成就を勵まざる可らず。布施の成就を信せざる可らず。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、自願成就は、解脱のボンなり。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智惠成就の他願成就の五は、解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を區別せんも成し能はざるの九は、解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無

自性之實在空、一切ボン空、空即空、此各名を合成せんも成し能はさるの九は解脱のボンなり。四追想、四清淨識、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信、菩提の十二道は、解脱のボンなり。エン、チュン不可分不可合のボンの九、清淨智、エン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、エン、チュン、ボンの一切体、常住の四慈、此エン、チュン十地は解脱のボンなり。大解見無護の聖語、不斷成就の職務完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果の十一果は解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒文、不轉の心、不動の教誡、不變のエン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は、解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量の全周四無量は解脱のボンなり。

是に依て、大龍王、チャブ、ゲンよ、解脱の諸ボンは、ボン即エン、チュンの原因なり。故に若彼の、ボン即エン、チュンの原因に住して修せは、善惡の心より生ずる煩惱を

調伏するを得へければ、解脱のボンに入りて、其を明かにせさるへからず、解脱のボンを識りて、其を觸み信せさるへからさるなり。

第二十章

青龍、バルワ、チャブ、ゲン問云、トン、バよ、エン、チュンのボンの諸門を識修するに就て、其を奈何に思考せは可能なるや。曰く、青龍平民族、バルワ、チャブ、ゲン及龍平民族一切者等よ、眞實心に住して聽くへし。ボンの諸門に依て奈何に行ふと雖、其が行ひは亦心量と一ならずや。言語は奈何に絶慮的に稱讃すると雖、其が意義に於ては眞に心體と一ならずや。此の故に色は實義不顯明なる空、其者にして、亦空間に於ける光明よりも思考的絶慮なり。

受、想、行、識。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根。色、聲、香、味、觸、法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明行、識、名、色、六入。觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、瞋恚、貪慾、我慢、嫉妬。生因、生果、果類、無常

苦、空、無我等は輪廻のボンなり。

此故に大龍、チャブ、ダンよ、ボンの諸門に依て奈何に修するも、其は心量と一なり。言語は奈何に絶慮的に稱讚すると雖、其は亦真に心體と一なり。故に輪廻のボンは實義を顯はさる、空の自然なるのみならず、亦實義不成の空の虚零なり。輪廻の諸ボンは、實義不成の唯量其者にして、亦空間に於ける光明よりも思考的絶慮なり。

第二十一章

大龍、チャブ、ダンよ、ボンの諸門に依て奈何に行するも、其は心量と一にして、言語は奈何に絶慮的に稱讚すると雖、其の意義に在ては、實に心體と等しかるへし。此故に布施の成就是、實義不成の空其者なる而已ならず、亦實義不成の空なる虚零なり。布施の成就是、實義不成の唯量其者にして、亦空間に於ける光明よりも思考的絶慮なり。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成

就。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四道想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果一來果、入流果、無量信。不可分不可合のユン、チュン、ボンの九、清淨智、ユン、チュンの九支セン、ラブの真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュンボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光。明鏡智成所作智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量等は解脱のボンなり。

大龍、チャブ、ダンよ、諸門位を以て、奈何に實行するも、其は心量と一なり。言語は奈何に絶慮的に稱讚せんも、其は亦真に心體と一なり。此故に、解脱の諸ボンは、實義不成の空其者にして、實義不成の空の虚零なり。解脱の諸ボンは、實義不變の

唯量にして、亦空間に於ける光明よりも思考的絶慮なり。

セン、ラブは、如此、ルーブムを演説せしかは、是に依て一切龍平民族はユン、チュン剛毅心を成し、一切衆生亦害心を滅して利樂を生し、無明闇愚を清淨にして日月光明に等しき智生し、自由解脱を證す。

以上は害悪なる心と、忿怒心とを消滅完成するに就ての教説を、青龍平民族バルフ、チャ、ダ、グンの質義の第五節なり。

第二十二章

爾時一切婆羅門族を統御せる、紅龍、ラル、セン、ハラ、大劍有毒者、Ral-Chen-Ha-Lは、身體紅色、火焰を有し、頭飾銅蛇一千、手にハロ華を持し、鐵椅に座す。眷屬紅者十萬、彼等は歸依合掌して問て云く、吾等、婆羅門龍族は、諸根明亮なるも、嗔、悲、烈、猛、食に肉あり、血あり、一切衆生の生命を管す、不知、斯る因果は何に由て生するや。一切事の全智を眼前に示し、心の奥底より真理の實義を思惟して、吾等一切婆羅門族に

教へ給へ。白く、汝等の願問は善哉。大龍、ラル、セン、ハラよ心に嗔、悲の火焰を有し手に惡毒を持つ故に、猛惡なる地獄を造り、命壽長からざるなり。此の故に、色に由て慈を教へ、悲を行ふて、色は、ユン、チュンのボンに住せざるへからす。

受、想、行、識の五蘊は、輪廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は、輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸、法の五境は、輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識は、輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受は、輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處は、解脱のボンなり。無明、行、識、名、色、六入は、輪廻のボンなり。愚癡、嗔、悲、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因は、輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七迷果は、輪廻のボンなり。

大龍、ラル、セン、ハラよ、心に、嗔、悲の火焰を有し、手に、害毒を用ふるか故に、命終に長からざるべし。此の故に、輪廻の諸ボンに由て、慈を行ひ、悲を教ゆへし。若輪廻の諸ボンに就て、斯く行は、輪廻の諸ボンは、ユン、チュン、ボンに住せざるへからざるなり。

第二十三章

又貴族紅龍、ラルゼン、ハラ、問て云く、トンバよ、若慈と、悲とを、有せは、奈何なる原理意義と結果とを有すへきや。曰くラルゼン、ハラ、及一切龍婆羅門よ、真心を以て聞くへし。若布施成就を實行せは、其は真に善なり。布施の成就に入らば其は善なり。布施成就に住せは其は徳なり。布施成就に不動ならば其は徳なり。若或彼の意義原理を有せは、其はボン即ユン、チュンなり。彼の意義原理を有せは、其はボン即智たるなり。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五因は、解脱のボンなり。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智恵成就の他願成就の五因は解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を分解せんも能はさるの九は解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はさるの九空は

解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の十二道は、解脱のボンなり。不可分不可合のユン、チュンボンの九、清淨智、ユンチュンの九支、センラブの真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユンチュンボン的一切體、常住の四慈、ユンチュン十地は、解脱のボンなり。大解見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等信の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智識、無上清淨完全の果、此十一果は解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不忘の咒、不壞の住城、不轉の心、不動の教誡、不變のユンチュン、不等の等、不光の光、等の十三位は、解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の、全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量、の全周四無量は、解脱のボンなり。

大龍ラルゼン、ハラよ、解脱の諸ボンを行せは其は善なり。解脱の諸ボンに入らば其は徳なり。解脱の諸ボンに住せは、其は善なり、解脱の諸ボンに不動ならば、其は徳なり。若或彼の意義原理を成せは、其はボンなる天、即真空にして、亦ボン即ユ

ンチユンなり。彼の意義原理を有せは、其はボン即智にして、亦ボン即慧たるなり。

第二十四章

又紅龍ラル、ゼン、ハラ問云く、トンバよ、斯く諸門位に由て、實行せは、即ボンは大善徳なりと云へる、其がボンの善徳は、或は永遠に亘りて不變常住のものなりや。曰く、ラル、ゼン、ハラ及一切龍婆羅門族よ、真心不動に住して聴く可し。大龍ラル、ゼンハラよ、見よ、天空に於ける虹霓は、奈何に其數多からんも、其が意義思考に至りては常住なる天體と一ならずや。言語は奈何に其數、千萬無量あらんも、其が意義に在りては、一虚空に等しからずや。トンバの命令は、奈何に多く諸法門を説くと雖亦其か意義に在りては、不變なる大勝幢に等しきなり。此の故に色は、千中、百をもき能はざるなり。色は千中、奈何なる實體をも成せざるなり。(附言例せは、一千なる數を成せんに、其中より、一百を滅除せば、即一千なる數を成せざるか如し。色は生の因を轉せざるなり。色は普遍中實體を成せざるなり。

受、想、行、識。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根。色、聲、香、味、觸法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明、行、識、名、色、六入。觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我慢、嫉、妬。生因、生果、果類無常、苦、空、無我、等は輪廻のボンなり。

大龍ラル、ゼン、ハラよ、天空に於ける虹霓は、奈何に、其數多からんも、其か意義思考に於ては、天體と一ツならずや。言語の數は、奈何に千萬無量あらんも、其か意義の目的に至りては、一虚空に等しからずや。トンバの命令は、奈何に法門を放くと雖其か意義に在りては、亦不變なる勝幢なり。此の故に輪廻の諸ボンは、千中、百をも除く可からざるなり。輪廻の諸ボンは、亦光明中、何等をも成せざるか如く、輪廻の諸ボンは、普遍中、實體を成せざるなり。

第二十五章

七〇

大龍ヲル、ゼン、ハラよ見よ、天空の虹霓は、奈何に其か數多からんも、其か意義思考せは、常住なる天體と一つならずや。言語の數は、如何に千萬無量ならんも、亦其か意義の存在は、一虛零に等しかるへし。トンバの命令は、奈何に法門を教くも、其か意義に在りては不變大勝幢に等しきなり。此の故に、布施成就は、千中、一百をも除き能はず。布施成就は、光明中、實體を成せるか如し。布施成就は、生の因を轉せざるなり。布施の成就は、普遍中、實體を成せるなり。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。內空、外空、內外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、ゼン、ラブの四道、無畏之諸力、解脫の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。不可分不可合、ユン、チュン、ボンの九、清淨の智、ユン、チュンの九支、

ゼン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脫の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性。不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智識、無上清淨完全の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等は、解脫のボンなり。

大龍ハラよ、天空の虹霓は、奈何に其數多からんも、其か意義思考は、常住の天體と一つなり。言語の數は、千萬無量あらんも、其か意義の存在は、一虛零に等しからずや。トンバの命令は、奈何に法門を説くも、其か實義は不變なる大勝幢なり。故に、解脫の諸ボンは、千中、百をも除く能はさるか如く、解脫の諸ボンは、普遍中、實體を成せざるなり。

斯の如く慈仁ゼン、ラブは、ループム、カル、ボを説きしかは、是に由て婆羅門龍族は、ユン、チュン、菩薩を成し、一切衆生亦無害利樂を得て、無明闇愚を清淨にし、日月光明

の如き智生して解脱を證しぬ。

以上は婆羅門族紅龍、ラルゼン、ハラが不變なる實義のポンの教説に關して、の質義の第六節なりとす。

第二十六章

爾時、一切賤民龍族を司管する賤民族黒龍チンバ、ラクマン(多手持者 In-Dsin-Pa—Lag-Man)は、體色藍黒、火焰を有し、頭飾黒蛇一千、手に荊毒花を持し、青銅椅に座す。眷屬黒者十萬、敬禮合掌、向云、吾等賤民龍族は癡鈍、闇愚にして、身體多手、毒を持して衆生に苦痛を加ふるも敢て闘せざるなり。斯る因果は何に由て生するや。一切智を面前に示し、中心より眞義を顯はして、吾等一切龍賤民族に説明せんことを。曰く、賤民族黒龍チンバ、ラクマン及諸眷屬よ、專心に住して聽くべし。心は大愚癡にして、手支多く、惡毒を衆生に加ふるも無感覺なる所以は、前生無量より現在に至る迄、害惡に反對する智なきに由る。此故に色は愚蔽なるか故に智識を形成せさ

るへからず。色は昏闇なるか故に、明亮を擴布せざるへからず。色は覆蓋なるか故に、知覺を思考せざる可らず。斯くして色を識らば、其は寂靜智慧たるなり。

受、想、行、識の五蘊は輪廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は、輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸、法の六境は、輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識は、輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受は、輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六出處は、輪廻のボンなり。無明行、識、名、色、六入の内持六因は、輪廻のボンなり。觸受、愛、取、有、生、老、死、の外縛の六因は、輪廻のボンなり。愚癡、嗔、悲、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因は、輪廻のボンなり。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七迷果は、輪廻のボンなり。

大龍チンバ、ラクマンよ、心に大愚癡を有し、手支多くして、何處にも達し、一切に害毒を加へて、敢て闘せざる所以は、生の無量より現在に至る迄、害惡に親しみて智を有せざるに由るなり。故に輪廻の一切ポンは、愚蔽なるか故に、智を形成せざるへからず。輪廻の一切ポンは、闇愚なるか故に、明瞭を擴布せざるへからず。輪廻の一切ポンは、覆蓋なるか故に、知覺を思考せざるへからず。輪廻の諸ポンを、斯の如

く識らは、其は即寂靜の智慧たるなり。

第二十七章

又賤民族黒龍チンバ、ラクマン問云、心闇愚なるに依りて、無感覺に苦惱し、一切衆生に苦害を加へて敢て關せざるは、不幸にも智なければなり。然れば、其か智生せは何をか成せん、センラブ曰く、賤民族黒龍チンバ、ラクマン及一切眷屬よ、眞心を以て聽くへし。大龍チンバ、ラクマンよ、布施の成就是、智起りて害惡を滅し、愚蔽を明朗にして、慈悲生すへし、布施の成就是、智生するが故に、明かに衆生をして多支を有せさらしむ。此故に布施の成就に於て愚蒙なる諸龍は、智を形成し、聰明の諸龍は、理性を明亮にし、害惡の諸龍は、慈悲を憶念せざるへからず。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の五は、解脱のボンなり。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五因は、解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を區別せんも

成し能はさるの九は、解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はさるの九空は、解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は、解脱のボンなり。不可分不可合、エン、チュン、ボンの九、清淨智、エン、チュンの九支、センラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、エン、チュンボンの一切體、常住の四慈、此エン、チュン十地は、解脱のボンなり。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智慧、無上清淨完全の果等、の十一果は、解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不動の教誡、不變のエン、チュン、不平等の等、不光の光、等の十三位は、解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は、解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量の全周四無量は、解脱のボンなり。

大龍、チンバ、ラクマンよ、解脱の諸ボンは、智慧生し、害惡滅し、愚闇を明亮ならしめ

て慈悲生すべし、解脱の諸ボンに於て、智起りて明瞭ならば、衆生をして多支を以て匍伏せしめず、甘露の水流を以て潤すべし。此故に解脱の諸ボンに於て、愚暗の諸龍も智慧生し、聰明の諸龍も悟性を清淨にし、害惡の諸龍も慈悲を追想す。

第二十八章

又賤民族黒龍チンバ、ラクマン問云、智に由て悟性を明瞭ならしめ、害惡なるに由て靜地を得ざるへからざる適度温淳の教誡を説かんとを。セン、ラブ曰、チンバ、ラクマン、及一切賤民族よ、汝の願問は善哉。大龍、ラクマンよ、若ループム、カルボの實義を了會せは色は常住にも非されは、亦滅にも非すして、色は常と滅との二義の過境的なるを識らん。斯く色の二義を解せは、其は即大智慧たるなり。斯く色を解せは、即寂靜の地を得へく、斯く色を識るの一切人類は、即セン、ラブたれば、心中常に此適度温淳の教誡に住して善根を願ふへし。

受、想、行、識。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根。色、聲、香、味、觸、法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身

識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明、行、識、名、色、六入。觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、嗔、恚、貪、慾、我慢、嫉妬。生、因、生、果、果、類、無常、苦、空、無我等、は輪廻のボンなり。

大龍、チンバ、ラクマンよ、若ループム、カルボの意義を了會せは、輪廻のボンは、亦常住にも非ず、滅にも非ざる、常滅二義の過境的なるを悟らん。斯の如く、輪廻の一切ボンを解せは、即大智慧なり。輪廻の諸ボンを斯く解せは、即寂靜を得ん、斯くの如く、輪廻の一切ボンを了會する人類は、即セン、ラブにして、心中常に此温厚適調の教誡に順し、善根を願ふべし。

第二十九章

大龍、チンバ、ラク、マンよ、ルー、ブム、カルボの意義を了會せは、布施の成就是、常住にも非ず、滅にも非ざる、常滅二義の過境的なるを悟らん。此の如く、布施の成就を解せは、其は即大智慧にして、亦寂滅の地を證せん。此の如く、布施の成就を識り得るの一切人類は、即セン、ラブ、たるなり。此故に、心中常に温厚適調の教誡に達して善根を願ふべし。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信、不可分不可合のユン、チュン、ボンの九、清淨智、ユン、チュンの九支、セン、ラブの真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボ

ンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智識、無上清淨完全の果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等は解脱のボンなり。

大龍、チンバ、ラク、マンよ、ルー、ブム、カルボの意義を了解せは、解脱の一切ボンは、常住にも非ず、亦滅にも非ざる、常滅二義の過境的なるを悟らん。斯く解脱の一切ボンを解せは、其は即大智慧にして、寂滅の地を證せん。斯く解脱の一切ボンを識るの一切人類は、即セン、ラブに等しければ、常に心中温厚適度の教訓に達して、善根を願ふ可し。

此の如く、慈仁セン、ラブは、ルー、ブム、カルボを説きしかは、一切龍賤民族は、ユン、チュン、菩薩を成し、無明闇黒を明亮ならしめ、日月光明の如き智慧生して、解脱を證せしなり。

以上は智慧光明の擴布に於けるボンに就て、黒龍賤民族、チンバ、ラク、マンの質義の第七節なり。

ループム、カルボの慈恵に依て、五種大龍、及ニヤンとサブダク、龍との總ての王國の者等は、最高完全の功德を得て、永久無上の悟達を證し、毒箭を射す、寂靜心を復しぬ若世界國土の住民は、セン、ラブを信し、其餘の一切衆生亦信心を起し、神聖十万白龍を或書寫、或宣傳せは、害惡なるサブダクと、犇猛なる天龍との害を消滅し得て、龍病、ニヤン病を恢復す。或藥草、五穀を豐饒ならしめ、衆生を繁殖して、智根を明瞭ならしめ、國土に草木花莽を繁茂し、聾聵者、不具者、癩疾、癩病等を永久絶し、國土を清淨ならしめ、遂に善生の集道を完成し、苦の本體を解して、速に最高功德を獲得し、常住無上の悟達を得て、明かに正覺果證を證せんなり。

第三十章

爾時、王族白龍、オグダン、トゥン、チヨンは、身體白色、頭飾白蛇一千、手に優盜羅華(青蓮華)を持す、眷屬亦白者十萬、黃者十萬、青者十萬、紅者十萬、黒者十萬、黃白者十萬、青黒者十萬、紅黒者十萬、綠紅者十萬、雜色者十萬、及千萬無量を以て圍繞せらる、彼等は、トンバに合掌敬禮し、優盜羅華を捧げ、敬虔に願求して云く、一切智のトンバ、善生、功德持者よ、吾等龍、ニヤン及サブダクの諸者は、天地、水に、棲息して、又他處に住せざる有りや、或五種龍族、及王族は、中央に住して他方に住せざる有りや、或貴族は、東方に住して他方に住せざる有りや、或平民族は、南方に住して他方に住せざる有りや、或婆羅門族は、西方に住して他方に住せざる有りや、或は賤民族は、北方に住して他方に住せざる有りや、難陀龍(歡喜龍) eLuhī—dGaha—Pa(欣龍) (ha)Jog—Pa(無邊龍) (m)Thaha—Ys(大輝龍) (gZi—Chen) 寶冠龍 (gTshug—Na—Rin—Chen) は、中央に住して他方に住せざる有りや。セン、ラブ曰く、王族白龍、オグダン、トゥン、チヨンは、其圍繞者の願問は善哉。龍、ニヤン、サブ

ブダクの三者は、天地、水に住し亦他處に住せざるにも非ず、江河、大海、噴泉、湖に住する龍あり。是等潤地に棲息するものは不可思議なり。又石に、巖石に、地に、溝渠に住する者あり。此の如き旱地に住する龍は、不可思議なり。青馬蹄龍の領地五百あり、王族は中央に住して、亦他處に住せざるにも非ず。其王族中の王族、王族中の貴族、平民族中の平民族、王族中の婆羅門族、王族中の賤民族は、四方中央の五處に住す。貴族は東方に住して、他方に住せざるにも非ず、其貴族中の王族、貴族中の貴族、貴族中の平民族、貴族中の婆羅門族、貴族中の賤民族は、四方中央の五處に住す。平民族は南方に住して、亦他方に住せざるにもあらず。其平民族中の王族、平民族中の貴族、平民族中の平民族、平民族中の婆羅門族、平民族中の賤民族は、四方中央の五處に住す。婆羅門族は、西方に住せざるにも非ず。其婆羅門族中の王族、婆羅門族中の貴族、婆羅門族中の平民族、婆羅門族中の婆羅門族、婆羅門族中の賤民族は、四方中央の五處に住す。賤民族は、北方に住して、他方に住せざるにも非ず。其賤民族中の王族、賤民族中の貴族、賤民族中の平民族、賤民族中の婆羅門族、賤民族中の賤民族は、四方中央の五處に住するなり。難陀龍、砍龍、無邊龍、大輝龍、唵ラ、ナグボ、龍、唵、黑角龍

?)寶冠龍は、中央に住して、他方に住せざるにも非ず、四面八方に住す。

天上に於ける、ニヤン主、バルワ、トゥン、ユー、ユイー、トル、ツク、チャン、高白頭藍玉鬘持者は、天に住して、他方に住せざるに非ず。其ニヤン、カルボ(白猛烈者、gNyan-dkar-po)ニ、ニヤン(日猛烈者、nyi-gngan)ダ、ニヤン(月猛烈者、ol-gngan)カル、ニヤ(星猛烈者、skar-gngan)ザ、ニヤン(行星猛烈者、gzaha-gnyan)ツ、ニヤン(虹猛烈者、zhaha-gnyan)リン、ニヤン(雲猛烈者、sprin-gnyan)チ、ニヤン(暴風猛烈者、rei-gnyan)マン、ニヤン(風猛烈者、lum-gan)等は、不可思議にして、天に等しく、煌々たる大氣中に住す。草木、深林地、水に住するニヤンは、亦不可思議に存す。

サ、ブダクは、地に住して、亦他處に住せざるにもあらず。其サ、ブダク、タン、マ、セル、ドク(黃教地主、Sa-bdag-bsTan-ma-gser-mdog)、タン、モ、タン、マ(教天女、cha-mo-hstam-ma)と、ジャン、ジャン、コルツ(根底生存者、tsan-tsan-haKhor-ba)と、大千に遍滿せるもの等は、綠草茂ける黃土山、大蘇山、廬山、閻浮提四州及五色の土地に棲息す。サ、ブダク、セル、チ、レ、バル(黃龜地主、Sa-bdag-gser-gyi Rus-sbal)ロー、ン、ター、セ(白老海豹神、Lo-sHa-The-Se)ン、ル、チ、ナ、グ、ボ(暴黑犬、Hal-Khyi-Nag-Po)ン、モ、チ、ウ、トゥン

(尖箭女) Brshun—Mo—mDhu—Thna)等は、四面八方に住して遍満す、サブダクは、石、水に住し、暴龍(Klu—habog) 姪龍(Klu—sin) 颯龍(Klu—sTod) 保龍(Klu—sZed)等は、四面四隅に普く住す。龍と、ニヤンと、サブダクとは、世界の陥落の地にも住し、亦平坦の地にも住す。

爾時、王族白龍、オッド、ダント、トン、チヨン、と共に、龍貴族、平民龍族、婆羅門龍族、賤民龍族、及千萬無量の眷屬等は、問云、トンバよ、吾等の諸族は、世界開闢の時、テン、ゲー、王国(Thin—Ges)を開きて、始識王を撰興せしとき、吾等、龍とニヤンと、サブダクとの諸族は、奈何なる害を有せしや、或は利益龍、害惡龍、無利害龍ありや、今彼の恐怖保護に諸供物を捧げんとす、其四季に應じて如何なる品質物を供して可なるや、トンバ、センラブは、眼前に諸龍を見て、微笑を漏らし告て曰く、汝等は眞實敬虔に住して聽くべし。往昔世界王国、テン、ゲー、地を取り、始識王を興へしときよりの害惡と、忿怒とは、石主たる石猛烈者(Do—sNyan—Po)は、石を以て家屋を建築するか故に忿怒し、樹木の主たる樹猛烈者(Shi—sNyan—Po)は、斧にて材木を砍り、家屋を建築するか故に忿怒し、草莽の主たる草猛烈者(Sshi—sNyan—Po)は、鎌にて草を蒞り、小舎を構ふか故に忿怒

し、土地と木材の主たる地猛烈者(Sa—sNyan—Pa)は、地を鑿き家舎を造營するか故に忿怒し、地の守護者たる地主は、黒毛の牛の毛を以て幕房を造るに依り忿怒す。或は地より鑛物を掘取するか故に害傷し、或地に法塔、壁城を建て、寫經を地中に埋み、惡魔を拂ひ、呪咀をなすか故に、龍、ニヤン、サブダクは、害毀を加ふ。或は地層を開掘して水を出し、溝渠を地に引き、土沙を採り、毀穴を造る等地を消滅するに由て、害し、猛烈なる龍宮の存する所に、屍骸を埋葬するか故に忿害す。水の主たる、噴水猛烈者(Chub—Mig—sNyan—Po)は、不淨の鈎を以て水を吸むに依て忿害し、龍の住せる地層の表面に土砂を作り、屍を焼くか故に忿害す。或念經の際、白菜の實及麵製血紅三角立方形の供物等を投げて、惡魔を拂ふか故に忿害す。如此龍と、ニヤンと、サブダクとは、諸害を興ふるなり。

白龍王族及千萬圍繞眷屬は聽くべし、前に述べし利益龍とは、即龍王、トン、チヨンと、世界四大州の水中に棲息せる龍と、貴族中の貴族龍と、天龍と、白鬘龍と、菩薩龍と、(Klu—Ryan—Chhub—Sems—dPaha)なり。彼等は眞に不可思議に一切衆生を害す。故に彼等に供養を捧げんとを要す。又害惡龍と名けらる者は、即龍平民龍、婆羅門龍

賤民族、難陀龍、砍龍、無邊龍、大輝龍、地神(Sa—Srin)、龍神(Klu—Srin)、龍魔(Klu—bDud)、不具龍、盲龍、見有毒龍、八神、天女等は、龍毒を以て一切衆生を害する不思議なり。彼等の其害病に在りては、龍の王族中の平民龍族は、兩眼を傷害し、腐癩汁血を充たしむ、貴族龍中、平民龍族は、頸看に傷害を加へ、痴鈍、痘瘡の諸病を加ふ。龍婆羅門族中、平民族等は、兩手の關節を害し、皮膚腫潰し、腐癩の汁血を聚め、不具、下痢、結腸、疥癩、動悸、中風等の諸病を興ふ、龍平民族中の平民族は、兩足關節を害し、足病、癩疾、不具、跛、肋骨、瘦衰等の諸病を加へて、龍の平民族は、惡魔の眷屬を有して、一切衆生を惱害、毀傷する猛烈なり。

サブダクの病害に在りては、四支を瘦瘠し、龍の病害に在りては、四支を膨脹腫脹す。ニヤンの病害に在りては、筋力を漸衰せしむ。賦龍、保龍の病害は、人をして痘者たらしむ、彼の利益のニヤンは、善利を興ふる真に不可思議なれば、彼等には供物を捧げさるへからざるに反して、害惡のニヤンは、害毒を加ふる不思議なれば、彼等を撲滅せんことを要す。利益のサブダクは、善を興ふる不思議なれば、供物を捧げ害惡のサブダクは、害毒を加ふる不思議なれば、彼等を絶滅せざるへからず。斯の

如く利害なき龍族、ニヤン族、サブダク族、善惡、無義者の諸者は、無量に存在す。

王族白龍、オッゲン、トゥン、チョン、及無量眷屬等は、諦聽すへし。夏の第一の月(七月)十五日(ナム、ソー星(Nam—So))の午後の半日は、龍の晨起の時にして、四面八方に遍滿す。彼時、五族龍のチン、コル(壇城輪即龍の宮城)を書ける曼陀羅を開きて、彼等の現相を自己心内に觀し、供物を捧げ清淨の行爲を勤むへし。冬の第一の月十五日(ミン、ルク星(金牛宮の頸邊の星簇))の午後の半日より、龍は睡眠に就くの時期にして、四面八方に遍滿睡著す。彼時、強猛の行爲事業を成し、土産を供し、五族龍の壇城輪を作らざるへからず。秋第一の月、春第一の月の十五日、ダ、チュン、及、ジャ、ポー星(Chun—Dai—Bya—sBo)に於て、龍は繁殖するの時期にして、四面八方に周く繁殖す。彼時、五族龍の壇城輪を開きて、彼等同族の現相を觀し、甘露水流に等しき、ルー、ブム、カルボを讀誦し、各自心内に尊明崇嚴なる彼等の表現を觀想せんことを要す。又金翅鳥(Bya—Kiyun)の呪文を誦し、諸供物を供して、護念を願ふへし、又守護輪の八幅に其眷屬と諸材物とを書き、輪邊に猛烈なる陀羅尼を書き、然る后、夥許の供物を供へ、心垢を洗清して、加被力を願求し、自他及同族を守護せん爲めに、其か設備成就の完

成を得んと欲せば、身業に廻禮を行ひ、合掌敬禮し、口業に呪文を誦し、意業に博愛慈善を行ふへし。此の如く、身、口、意、三業に善根を行ひ、三業の諸病を清淨にせば、愚癡龍の諸病を平定し、嗔恚の王なるニヤンの諸魔を降伏し、我慢の阿脩羅、八部衆、惡魔、天女の諸害、嫉妬の人非人の諸魔を摧破し得る而已ならず、天魔龍魔、惡魔等の一千八十屬、四百四病、不意に起る諸病三百六十種、惡夢、惡方角、惡兆、二運命、秘密修法を以て地中に埋壓する惡魔族、年次の衰變、月次の損害、天の配合、地の閑靜、國家の刑法、人病、家畜病等の一切不順の諸病を恢復するを得ん。

セン、ラブ、曰く、王龍、トッ、ン、チヨ、ン、及無量眷屬、善徳と罪惡との二は、共に我自から是を招集し、人類の生れより、右肩に神、左肩に魔を宿有するの二つをも、是亦我自から集むるなり。輪廻と、解脱の二つをも、亦我自から、是を聚め、離脱と生起との二つをも、亦我自から聚むるなり。利害の二をも、亦我自から聚め、一切ポンの原理と其第一原因との二つをも、亦我自から之を集むるなり。

王族白龍、オ、ッ、ゲン、ト、ッ、ン、チ、ヨ、ン、及無量眷屬は問ふて云く、ト、ン、バ、よ、一切ポンの原理及其第一原因、輪廻のボンと、解脱のボン、離脱と生起との境を、如何にせば過き得へ

き歟、曰く、汝等の質義は誠に善哉。龍、ニヤン、サブ、ダ、ク、の諸者よ、真心不動に住して聽くべし。一切ポンの原理、及其第一原因は我自から集め、輪廻のボンに由て罪惡生し、涅槃解脱のボンに由て正しく覺を得るの二つをも、亦我自から聚むるなり。

此の故に、色、受、想、行、識の五蘊は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過すべし。眼、耳、鼻、舌、身、意の六根は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の過境的なり。色、聲、香味、觸は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の過境的なり。眼、識、耳、識、鼻、識、舌、識、身、識、意識の六識は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過すべし。眼、觸、受、耳、觸、受、鼻、觸、受、舌、觸、受、身、觸、受、意、觸、受の六觸受は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過すべし。風、處、火、處、水、處、地、處、空、處、識、處の六生處は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過す。無明、行、識、名、色、六入の内持六因は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過す。觸、受、愛、取、有、生、老、死の外縛の六因は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境より超過す。愚癡、嗔、恚、貪、慾、我、慢、嫉、妬の五惡因は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境を超越す。生、因、生、果、果、類、無、常、苦、空、無、我の七迷因果は、輪廻のボンなりと識らば、即離脱の境を超越す。

又斯の如くに布施成就、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五因は、解脱のボンなりと識らば、即生起の過境的なり。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五因は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境より超過す。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を分解除せんも能はざるの九空は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過す。自然空、無自然空、各名空、無始、無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はざるの九空は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過す。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道。不還果、一來果、入流果、無量信の十二道は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過す。不可分不可合のユン、チュン、ポンの九清淨智、ユン、チュンの九支セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュンポンの一切體常住の四慈、此ユン、チュン十地は、解脱のボンなるを識らば、即生起の平等を超越す。大解の見無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、全生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智議、無上清淨完全の果、此

十一果は解脱のボンなるを知らば、即生起の諸境を超過す。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過す。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過す。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量の全周四無量は、解脱のボンなるを識らば、即生起の諸境を超過するなり。龍、ニヤン、サブダク、の諸族よ。輪廻の一切ボンに由て、罪惡生し、清淨完全の解脱のボンに由て、正果を得るの二つをも、全く我自から之を聚むるなり。大寶法不思議眞理神聖十萬白龍大乘經の要畧教誡を、白龍王族、オウダマン、トウ、ン、チュオン、及其無量眷屬の願問せしによりて、ルー、チュプ、エー、セン、ニン、ボ (Ye—g—Shen—s—Nyin—Po) に其が教理を授けしなり。

セン、ラブは如此、ルー、ブム、カルボを説きし故に、賤民族、黒龍、チン、バ、ラク、マン、及龍サブダクの諸族は、ユン、チュン菩薩を成し、無明煩惱を去りて、清淨ならしめ、日月光明の如き智慧生し、以て解脱の果得を證せしなり。五大龍及ニヤン、サブダク、及龍

の諸族は、此ルー、ブム、カルボの恩恵に由て、一般に完全功德を獲得して明かに無上正果を證す。若世界に於ける人類は、セン、ラブを信じ、其餘の衆生亦信を起して、此神聖なる、ルー、ブム、カルボを、或書寫、或讀誦なさは惡毒なるサブダクと、ニヤン、と、龍との傷害を調伏するを得るのみならず、龍病、ニヤン病を恢復し、總てに於ける、能力を傳布宏大ならしめて、子孫繼嗣を繁殖し、衆生の生命を増長して、智根を明亮ならしめ、聾、吃者、六根、不具者、跛、癱疾、癩病等を絶滅せん、尙且、藥草、五穀、草木等を豊饒にし、國土を清淨にし、遂に亦善生の集道を完成し、苦道の實體を明かにし、最高完全の功德を獲て常住不滅の正果を證するに至るべし。

第三十一章

龍に由て成就せる、エー、セン、ニンボ (Klu—Is—gRnb—Pahi—Bo—Po—Ye—gShen—sNy
E—Ph) は龍、ニヤン、サブダク、賦龍、保龍、及千萬無量眷屬に依て圍繞せられ、美麗なる衣裝を着け、清淨心を以て廻禮叩頭し、諸華を捧げ、敬虔合掌して問云。智源の主、六趣群生の父、化義完全の人主、教主尊者トンバよ。昔世界王國テンゲー地を開き、始識王を選附せしときより龍、ニヤン、サブダクに於ける害惡と忿怒、住地と其種族、利益龍と破害龍、無利害龍族と其階級、又一切ボンの原理と其第一原因、因果的諸義の離脱と其生起との諸境を超過すべく教ふる、大恩主よ。天女、龍女、醫女、醫龍、暴女、暴龍女、魔女、龍魔女、地神、龍神、諸惡魔龍、八部神等は、富財能力を害し、生命を損し、身體を衰弱せしめ、皮膚病、血病、骨病を生せしむ。如此因縁は何に由て生ずるや。センラ
ブ曰。ルー、ボン、エー、セン、ニン、ボ、の質義は善哉、今其を説明せん。人類が各自に烈しき諸業活動をなすのとき、某々神靈は時と諸方とを守護し、利益を興へさるか故

に、其を打拂はん爲めに月の十五日、三十日及六時に於て猛烈なる咒文を誦誦しつゝ諸種清淨なる供物を以て天空に投げて、彼の悪魔を打撃するか故に、八部神は之を悦はす必ず忿怒せん、其か罪過として、猛烈なる中風病を加へ、雷、暴風の不快なる音聲を發し、成就を得へき諸業をも完全ならしめざるなり。噴水を壓し荒地を開き、處々に住居を掃ふか故に八龍女は忿怒す。其罪刑として美膚を壞爛し、膿瘡、疥癩等を與へて惱ましむ。ニヤンの住する地、噴水等を知らずしてニヤンの住する許多の宮城の所在地に墳塋を建つに由て八醫女は忿怒し其罪過として人類を害す。不確の推理に任せ、處々山野の藥草を刈り、以て爐邊に不淨の食物を煮焼し、臭氣を發するか故に八醫藥龍は噴息を起し、人類をして富財の能力なからしむ智を有せざるに依て、神聖懸崖の淨地をも不淨ならしむるか故に、八暴女は忿怒して足疾、疝瘋等の罪過を加ふ。清潔なる噴水に塵埃を投して阻礙し、彼等の住する地に不淨の土沙を以て窟爐を築き、芒荊雜木を投して肉汁を煮焼するか故に、八暴龍女は忿怒し人をして癩者たらしむ。石を投し水中の魚類を損するか故に、八魔龍女は忿怒し、兇猛なる風癩病の罪過を與ふ。黒蛇の如き、蚤虫類を衰滅せしむれば、一

切地神は、噴りて小國の統治權を衰退せしむ。地中のニヤンの居城の存する處に屍骸を埋め、堪能なる龍神を壓すれば、一切龍神は、噴りて製産力を害し人をして短命ならしむ。黃魚、藍魚、黃蛇、藍蛇、黃龜、藍龜を捕捉し殺せば、一切魔龍は忿怒し、得するに龍魔を以て死滅し、夢中惑惱し、或龍病を以て害傷し、龍を見れば、恐怖戰慄せん。

斯の如く空間に住せる衆生にして龍、ニヤン、サブダクの管するものあり。地上に住せる衆生にして龍、ニヤン、サブダクの支配せるものあり。彼等の管せる衆生を或捕捉、或殺戮せば、必害惡不善を生ぜん。黒鸚鵡の鼻口中にも龍住し、豚鼻の如き面貌に龍住し、眠れる壯牛の臍中にも、鼈驢の鼻中にも、毛牛の肝腎にも、吼ゆる獅子、嘯く虎の猛口にも、ニヤン、は住す。法塔の角端には、サブダク住す。斷崖絶壁に地魔住し、爬ける黒蛇、黒龜、猛熊に龍住し、樹木に、ニヤン住し、險峻なる山嶺、深林に龍ニヤン、サブダク住す。各色を有せる江河、湖水、海洋に魔龍女住し、紅色の牝牝牛の眠れる如き山岳に龍住し、巖石、娑羅樹、樺、森、根、攪、幹木、雙岳、氷、深澤、清泉、及紅綠魚類、鹿、翅鳥等に龍族棲息す。水滴、溪流に魔神住し、心臟、腎臟、發聲の根源、斷崖、巖山、沙漠、砂

礫、荒樹、荊草、壞井、池澤、骸骨及魔龍女の開くへき神殿、三角塔に龍は住す。斯く住せる地なるにも拘はらず、ニヤンの管せる地を掘り、石を壓し、樹木を伐り、草莽を茹り或地を焼き、陥落、穴口、峻坂、墜道を造り或は氷海藻を採り、處々城廓を顛覆する等の害悪なる行動に依りて破壊し、生産の能力、生命を徐奪す。噫、往昔如此不善をなせしも讚誦念經の力に由て、何等の罪過をも被らざりしも今是が酬報として害悪を受けざるへからず。故に諸善を勵み、有力なる善行、活動に由て善徳を成し、過去に滅失せし徳を現世に積善の力に由て恢復せざるへからず。又現世を去れば、他界に於て苦惱を受けざるへからざれば、悪しき行動を避け善根を勵まんことを要す。於是、ルー、ボンボ、エー、セン、ニンボ、ば、天女龍女、醫女、醫龍、暴女、暴龍女、卜占女、惡魔女、龍神(龍靈)石住魔邪神龍、小龍、八部神等と共に上方に惡魔と變し、下方に惡魔妻と化し大鵠と現し、或暴烈邪神、強害魔神、醫藥神、暴神、天魔等の溫和なるもの、猛惡なるものに變化して、富財能力を損害す。東方に八大龍は同居し、北方に八大龍、東北に八暴龍女、東南に八魔龍女、西南に八天女、西北に八龍女、中央に八大龍住す。ザー(遊星、Naha) チュ、カル(宿星、Gyu—skar) 八大神、惡魔(sGags) 害惡幽魂(sNod—sByin) 幽靈(香食者

Dhi—Za)夜魔(死神sShin—je)等は一切衆生を害す。

エー、セン、ニンボ問云。斯く一切衆生を害し、毀傷する所以は、奈何なる業成就に由て然かるや曰。王族、白龍オッゲン、トゥン、チヨン、及無量眷屬は前生無量劫より現世に至る迄、憫れにも五惡因を行ひしかは惡道の龍族に生れしなり。道德律の強弱力に由て或者は龍のウン、チュン剛毅心(菩薩)を成し、或者は大龍族となり、或者は眷屬のウン、チュン剛毅心を成し、或者は四足龍に生れ、或者は身尺五百由旬を得、或者は身に道德律を勵まさりしに由て身の尺量確定せざるものあり。大は蘇迷盧山の如く、小は微塵の八一にも及はざるものありて、壽は三大劫に住し、身色確定ならざるなり。然れば現世に於て身口意三業を以て、誠實に道德律を守り、甘露の水に等しき神聖ループム、カルボを丁會修精せは、眞實に解脱の正果を獲得せるなり。爾時、トンバ、センラフは、龍ニヤン、サブダク、保龍賦龍及無量身の一切衆生を保護せん爲めに、八大龍の壇城輪、輪中九地あるもの、即八十四種蓮花、四天門、四地、及蘇迷盧山等を有する溫和と猛烈なる壇城輪を造りて之に色、聲、香、味、觸の供物を供へ、又慈悲恩恵を生せん爲めに三世諸佛を招喚し、諸施主の情慾苦罪を消滅せしめん

九種香料、九種草芥、麵粉を以て製せる八十一種の供物、箭上に縛結せる明鏡、藥種、穀粒、財寶、牛乳、酥、蘇油、砂糖、諸花等を捧けて、一切衆生中の父母なきもの、子孫なきもの、短命なるもの、財産なきもの、苦惱に呻吟せる者等の諸惱苦源の消滅を八大龍に願求し、罪障を脱し、富財能力の増進を願ひぬ。然後壇城輪の中央に黄金にて蘇迷盧を築き、四方に四段層砌を、外圍に黄金の段砌を書き、四隅に白、紅、綠、青の半月を中心とし、白、紅、黃、黑、青の五種を書き、四方に白、青、紅、綠の各色を、四面八方に黃、綠、白、青の蓮華を書き、四隅を白、綠の四天門を書き、四州四陸は鐵山に依て圍み、諸財寶、天體、地色を施し、樹地に龍ニヤンの面像を現はし、寶地に九溪九水を書き終りぬ。斯くして水藥、蘇油、酥、牛乳、砂糖、蜂蜜、財寶、菓物、海產物、脂肪物、五種穀類を入れし寶瓶、寶箱、麵製諸種供物等を捧げ、呪文千八遍誦し、愆情の指導誘引を乞ひ、阿伽を多く供するに由て心垢を洗滌し、能力賦力の教訓に由て苦惱を清淨にし、自由の境界を證すべし。

然時、セン、ラブは體色青藍、右手に慈悲の鐵鈎を執り、左手に歡喜の印を結び、頭に寶冠を戴き、つ、蘇迷山の中央に座し、眼前に龍王國の諸者を視て微笑し、六趣衆生の憂惱を安樂ならしめんことを思惟しぬ。於是、ルー、ボン、エー、ゼン、ニン、ボは、敬禮讚

嘆を行ひぬ。トン、バは身より光明を放ち、衆生の病苦を焼き、五毒を消滅し、蘇迷盧山より五智の光明を輝かし、其周圍の十八山より圓光を放ち、爲めに天空赫々炳耀す。或金翅鳥は高く翔けて禪定樹の頂に舞ひ、噴吐の火蛇を攫取し、甘露の雨降り木葉、美花飛ひて光明赫耀たり。是に於て七金山、明亮に七海深く七龍王は幸福を得て住し、五穀豐饒に各々歡喜悅樂せり。

東方の白半月に座せる化現のエー、セン、ニン、ボは、歌々たる光明を發し、頭に寶冠を戴き、手に美麗なる孔雀王幢を持して敬禮供物を捧く。南方青半月座にルー、ボン、ナル、ニヤン、ゲー、ブー、(烈夏護法龍) Lu—Bon—dByar—gnYan—Gyu—Bu)は、龍鼓を擊ち、體藍色炳然、光明を放ち、頭藍玉髻髮、眼前に龍害に由て呻吟せる衆生の苦惱を恢復し、つ、敬禮供物を捧く。西方、紅半月座にニヤン、ボン、ダン、チェル、チー (gnYan—Bon—Thañ—Thañ—Gyer—mkhs)は、體白色、透光を放ち、頭に清淨品冠を戴き、手に猛鷲の王幢を持ち、ニヤン地の諸龍に依て惱まざる、一切惡病を切斷し、つ、敬禮供物を捧く。北方、綠半月座にサブダク、デー、ボン、ボ、チー、タク、(Sa—bDag—Gi—Bon—Po—Khin—sTag)は、體黃色、赫々光明を發し、頭、黃金髻髮にして、手に癡呆、狂氣諸族を治する甘露

水を持ちて座し、敬禮供物を捧く。東方白蓮花上に王族白龍、オッゲン、トゥン、チョンは體色磨ける白螺の如く、頭飾白蛇、一千手に美花を持して座し、敬禮供物を捧く。南方青蓮華座に座せる、ルー、マン、デー、チャルモ、ゼー、ミー、オッ、チヨーマ、(美光照隣龍女 eLu-sMan-Gyi-rGyol-Mo-mDres-Mahi-Hod-haPhro-Ma)は手に燦爛虹霓を持し、敬禮供物を捧く。西方紅蓮華座にニャン王、バルソ、トゥン、ゴ、ユーイ、トル、ツク、チャンは手に鶴王幟を持し、敬禮供物を捧く。北方綠蓮花座にサブダク、タンマ、セル、ドクセル、デー、ブム、バ、チャンは一切サブダクの主王として座し、敬禮供物を捧く。東北黃蓮華上に保龍王、ラン、ザ、テン、クグ (Lan-Tsha-Din-King)は、鐵鼓を撃ちつ敬禮供献す。西南、綠蓮華上に天上のハ、モー、サルゼ、マ、タン、ゲン(明作光持天女 eHa-Mo-Sai Byed-Ma-mDais-eDan)は天旗を持して座し敬禮供献す。四隅に教天女根底生存地主、全三千界遍滿地主は寂靜に座し、敬禮供献す。四坊層砌に内外事務を判するニャン、サブダク、龍及醫龍の四大臣座す。彼等敬禮供献す。

東方大陸の中央黃台に黃龍貴族、光照力主ゼン、チョト、チヨクは頭飾黃蛇一千、手に黄金笏を持して座し敬禮供捧す。東方白蓮華上に座せる龍王、體白色、頭鬚、敬禮供捧す。南方青蓮

華上に體青色藍玉二鬚の龍王座し、敬禮供捧す。西方紅蓮華上に體紅色、頭飾銅三鬚の龍王座し、敬禮供捧す。北方綠蓮華上に體綠色頭に紅綠寶の四鬚ある龍王座し、敬禮供捧す。東北美麗蓮花上に體珊瑚色、頭飾珊瑚五鬚の龍王座し、敬禮供呈す。東南美麗蓮臺に體鐵色なる龍王は頭飾鐵五鬚、敬禮供呈す。西南藍蓮臺に座せる藍色體の龍王は頭に眞珠の五鬚を有し、敬禮供呈す。西北美麗蓮臺に體色五種寶の如く、頭に寶玉の八鬚を有す敬禮供呈す。

南方大陸の中央青臺に平民族青龍、バルフ、チャブ、ダン(輝爛遍滿者)は頭飾青蛇一千、手に藍玉笏を持しつ座し敬禮供献す。東方白蓮台に座せる龍王は白色人身、白蛇頭なり。敬禮供献す。南方青蓮花台に座せる龍王は、藍色人身、青蛇頭なり。敬禮供献す。西方紅蓮台に銅色人身、紅蛇頭の龍王座し、敬禮供献す。東北美麗蓮台に人身、光輝紋蛇頭の龍王座し、敬禮供献す。東南美麗蓮台に人身、灰紅色蛇頭を有する龍王座し敬禮供献す。西南藍蓮台に人身、藍色、八蛇頭の龍王座し、敬禮供献す。西北美麗蓮台に人身、八蛇頭の龍王座し敬禮供献す。

西方大陸の中央紅台に婆羅門族紅龍、ラル、ゼン、ハ、ラは、頭飾紅蛇一千、手に銅色木

笏を持って敬禮供捧す。東方白蓮台に體白色、人身馬頭の龍王座して敬禮供捧す。西方紅蓮台に人身紅色、孔雀頭の龍王座して敬禮供捧す。北方綠蓮台に人身綠色獅子頭の龍王座し、敬禮供捧す。東北美麗蓮台に人身蛇頭の龍王座し、敬禮供捧す。東南美麗蓮台に人身熊頭の龍王座し、敬禮供捧す。西北美麗蓮台に人身鬚狗頭の龍王座して敬禮供捧す。

北方大陸の中央黒台に賤民族黒龍チンバ、ラク、マンは各支に青銅銀刀を持ち、頭飾黒蛇一千手に青銅如意を持って座し、敬禮供呈す。東方白蓮台に人身辰頭の龍王座し、敬禮供呈す。南方青蓮台に人身虎頭の龍王座し、敬禮供呈す。西方紅蓮台に人身兎頭の龍王座し、敬禮供呈す。北方綠蓮臺に人身(此間一字脱す)頭の龍王座し、敬禮供呈す。東北美麗蓮臺に人身豚頭の龍王座し、敬禮供呈す。東南美麗蓮臺に人身豺頭の龍王座し、敬禮供呈す。西南美麗蓮臺に人身海豚の龍王座し、敬禮供呈す。西北美麗蓮臺に人身雜種牛頭の龍王座して、敬禮供呈す。

西北大陸の中央白臺に龍王ツク、ナ、リン、ゼン(寶冠龍)は頭飾寶髻なり敬禮供獻す。東方白蓮臺上の乳母龍(Klu-Mo-Ma-Ma)は敬禮供捧す。南方青蓮華座に光輝龍

女(Klu-Mo-mDans-edan-Ma)あり。體に白絹衣を着け、手に黄金魚を持ち敬禮供獻す。西方紅蓮華座に喜悅龍女(Klu-Mo-Yeb-Hon-Ma)は紅絹衣を着け、手に藍玉魚を持ち、敬禮供獻す。北方綠蓮華座に現歡喜光澤龍女(Klu-Mo-dGaha-Pahi-gZi-mDans-ton)は手に紅綠旗を持って敬禮供獻す。東北美麗蓮華座に降雨龍女(Klu-Mo-Chhar-haBabs-Ma)は甘露雨衣を着し、手に黒雲旗を持って敬禮供獻す。東南美麗蓮臺に全治龍女(Klu-Mo-Km-gSo-Ma)は口中より實を吐くの鼠を持って敬禮供獻す。西南美麗蓮華座に快音龍女は手に琵琶王幢を持って敬禮供獻す。西北美麗蓮華座に喜德龍女(Klu-Mo-Yid-Hon-gGe-Ma)は體色青紅、手に孔雀團扇を持って敬禮供獻す。

東北大陸の中央白臺に歡喜龍王(Klu-Gyal-dGaha-Bo-haJog-Bo)は體色白、綠手に藍玉魚を持ち、體に黒蛇を纏ひて座し、敬禮供呈す。東方白蓮臺に白暴龍女王(Klu-haBrog-rGyal-Mo-dKar-Mo)は人身牛頭にして座し、敬禮供呈す。南方青蓮花臺に青暴龍女王(Klu-haBrog-rGyal-Mo-sNon-Mo)は人身鬚狗頭敬禮供呈す。西南紅蓮華臺に座せる紅暴龍女王(Klu-Mo-haBrog-rGyal-Mo-dMar-Mo)は人身牡鹿

頭なり。敬禮供呈す。北方綠蓮臺に座せる綠暴龍女王 (KLu—Mh—haBrog—rGyal—Mo—Jha—Ni) は人身猛獸頭なり。敬禮供呈す。東北美麗蓮臺に座せる暴龍女王 (KLu—haBrog—rGyal—Mo) は人身黃胸頭なり。敬禮供呈す。東南美麗蓮臺に座せる暴龍女王は人身鷓鴣頭なり。敬禮供呈す。西南美麗蓮臺に座せる暴龍女王は人身豹頭なり。敬禮供呈す。西北美麗蓮臺に座せる暴龍女王は人身麝頭なり。敬禮供呈す。

東南大陸の中央白台に大輝龍王 (KLu—rGyal—gZin—Chen) は體色黃白手に海鱧を
持して座し敬禮供捧す。東方白蓮台に迷龍龍妻女 (KLu—bDud—Bu—Mo—Khyo—sTo—Ma) は體色藍黒青鯉の模様衣を着し山羊角ある藍色甲冑を被り藍色雜種の毛
牛車に乗り手に青紅の線毬を持して座し敬禮供捧す。南方青蓮華台に蓮珠魔龍
女 (KLu—bDud—Bu—Mo—Padma—haPhen) は口中より病める青紅の氣を吐き青魚模様
衣裳を着け手に病幢を持して座し敬禮供捧す。西方紅蓮台に美觀魔龍女 (KLu—bD
up—Bu—Mo—Shel—Mig—Ma) は牡鹿の甲冑を被り手に甘蔗髓を持して口中より病め
る氣を吐きつゝ敬禮供捧す。北方綠蓮台に血眼魔龍女 (KLu—bDud—Mo—Kings—Mig—

Ma) は山羊毛青紅衣を着け手に彫刻魔像を持して座し敬禮供捧す。東北美麗蓮
台には(此處原本に龍名を脱せり)敬禮供捧す。東南美麗蓮台に大黃暖瓶持魔龍女
(KLu—bDud—Bum—Chen—Mo—Drod—haPsin—Ma) は手に黃老米を持して敬禮供捧す。
西南美麗蓮台に命持大魔龍女 (KLu—bDud—Chen—Mo—Tshen—haPsin—Ma) は手に生物
を持して座し敬禮供捧す。西北美麗蓮台に最大魔龍女 (KLu—bDud—Chen—Mo—rGy
s—haDebs—Ma) は手に水杓を持して敬禮供捧す。

西南大陸の中央白台に啞黒角龍王は體色紅黒手に蜘蛛を持して座し敬禮供捧
す。東方白蓮台に天上帝女 (Nam—mKhali—cHa—Mo—dKar—Mo) は白冠髻頭手にミ
ンルク星を持して敬禮供養す。南方青蓮台に天上の青天女 (cHa—Mo—sNon—Mo)
は頭に藍玉冠髻を戴き手に閃繩を持して座し敬禮供養す。西方白蓮台に天上の
紅天女は頭に珊瑚冠髻を戴き手に黄金王帽を持して座し敬禮供養す。北方綠蓮
台に天上の綠天女は頭に紅雲冠髻を戴き手に虹霓を持して座し敬禮供養す。東
北美麗蓮台に天上の群雲天女 (cHa—Mo—sMin—Tshogs—sDud) は手に風旗を持して座
し敬禮供養す。東方美麗蓮台に天上の量持天女 (cHa—Mo—Tshod—haDsin) は手に火

第三十二章

ル、ボン、ボ、エー、セン、ニンボよ、布施の成就を清淨完全にし、身口意三業に善行を修して、無量の供物を捧げなば、諸病罪障を消滅し、自由解脱を證得せん。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五因は解脱のボンなり。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五因は解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を區別せんもなし能はさるの九空は解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はさるの九空は解脱のボンなり。四追想、四清淨滅、四不思議、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の十二道は解脱のボンなり。不可分、不可合、ユン、チュン、ボンの九、清淨智、ユン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四

慈、此のユン、チュン十地は解脱のボンなり。大解見無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果、此十一果は、解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脱の十三位は解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不徧無量の全周四無量は解脱のボンなり。

此の如き一切解脱の諸ボンを清淨完成して、身口意三業に善根を修し、種々不同不一の供物を捧げば、諸病、罪苦を清淨ならしめ、遂に解脱正果を獲得するに至るべし。

上來は神聖大寶法不思議眞理十萬白龍の實義に因て、五種龍族の壇城輪を建設せし第一因縁なりとす、

西 藏 十萬白龍 上卷 終
古代神話

西 藏 十萬白龍 下卷
古代神話

此經名はザン、ズン、語にダル、リン、アー、ヘー、グー、ケー、ジャ、と名け、西藏語に神聖十萬白龍大寶法不思議眞理大乘經と名くるなり。

第一章

五種龍族の壇城輪曼茶羅建設の願求に由て、初に七因縁を以て説明せん。一に彼の國土を定め、二に罪過の教三に功德の教、四に命令の成就、五に彼地に住するの主、六に目的の意義、七に五種龍族の壇城輪排列の概要の説明是れなり。
先づ彼國土を定むるとは、即南閩浮提の中央、綠草生ひ茂ける地に、美麗なる龍の住地是なり。其地に住するトンバ、セン、ラブは一切智を有するか故に、烈夏護法龍ニヤン、ボン、タン、タン(gNyam—Bon—Tham—Tham—Khol—Ba)サンダク、チー、ボン、ボ、チー、タク(Sa—bDag—Gi—Bon—Po—Khris—Tag)を教化す。其罪過の教には、時不順に依て、發す

る傳染病癩病腫、痔、癩疾、足病、瘤瘰、水腫、胞疥、膽汁、疥癩、黑白痘瘡、瘦疥、跛蹙、肋瘦、霜雹、火劫、水劫、風劫等なり。若此清淨十萬白龍の教誡を宣揚せずんば、第一種、第二種、第三種、及猛烈なる諸病を起さん。其功德の教には此神聖なる十萬白龍の教説を宣傳せしは、時不順に由て發する有害なる諸病不時發生の惡果を恢復し得て、家畜の滅滅を防ぎ、國土を清淨ならしむるを得ん。其命令の成就とは、神聖なる十萬白龍の教説に由て諸件を適當にし一切國土をして平和便益ならしむ。其目的の意義とは一切群生の願意を成就し、或は龍病に依て衆生を滅するもの、或は霜雹の害、或は諸龍の降雨せるの難、龍の供物を絶つもの、其絶滅を保たんとするもの、或はセン、ラブの命令を宣傳せんとするもの、其の命令を聞かず、反抗するものに向て此教誡を宣布せしは、是等の諸害を滅して遂に命令を聞き、業務を行ひ、願意を成就するに至るべし。

爾時、龍に由て成就せるルー、ボンボ、エー、セン、ニンボは、トンバを圍繞し敬禮水花を捧げ、願問して云。一切全智六十四種の智慧三十七種の善根功德とを有せる尊者よ。吾等及餘種族をして願意成就の爲めに要すへき五種龍族の壇城輪製作の

排列方法は如何。曰。汝の質義は善哉。今壇城輪製作の方法と極めて簡易に集めし我命令教訓とを説明せんとす。身口意三業を堅持して眞實心を以て聞くべし。彼の龍の住する國土は燦爛たる花卉生し莊嚴福樂の幽棲地にして、此に龍王オッゲン、トウン、ジョン、住す。整飾に慣れし善人施主等は、龍、ニヤン、サブダクに五種の白粒、沙糖、藥、花等の供物を呈すべし。然る后、建設の地を相し念して曰。善徳を興へ、害惡を爲す勿れ、總てに於て最高完全なる本性成就を興へ、ユン、チュン、ボンの教訓を守り、六趣衆生の苦源を消滅せしめよと誦し、終りに方九尋の壇城輪を作り壇面に馨香を散布して潔め、五色絲にて撚れる線を打ち、寸尺位置を定め又念して曰。唵、實體と不思議の智慧とを以て、左右堅横に線を引くと依て、五種龍族の壇城輪を精工完成せしめよと誦し終りて、仍ち壇城輪上に線を打ち、五色繪具を壇城輪の中央に散布し、地、水、火、風、空、五素の恩恵を乞ひて更に此語を念して曰。唵、自生智の光明によりて濟度し、愛慾の念を去りて善徳を樂しみ、五種色料を鮮明ならしめ、五智の果に由て五惡を救ひ、五族の色繪と地、水、火、風、空の五素を完全竣効せしめよと。然る後壇城輪の中央白色の中心に三個の半月を其外周に寶蓮華八葉を

書き、四隅を黄色に塗布し、天の護る四大門を四方に描き、大海噴泉、江河を書き終り而して黄金の蓮華八葉に八大龍王座し、五寶椅上に王族、貴族、平民、族、婆羅門族、賤民族座し、見るへからさる天空虹霓殿にニヤン、バルワ、トゥン、ゴ、ユー、イ、トル、ツク、チャン座すへく觀す。黄金地層上大蘇迷盧の花林殿中にサブダク、タンマ、セル、ドク、セル、デ、ブム、バ、チャン、中央白半月に龍王族、オ、ダン、トゥン、チョン、は體色白螺の如く、頭飾白蛇一千、手に青蓮華を持ちて座すへく觀す。若又、猛烈を要するときは、其中央の三角形臺に座せる、トンバ、セン、ラブは體より、光明を放ち足を伸はし、頭に天の五神を載き、五神の各冠に五種の金翅鳥翔ひ、眼前に諸龍を見て、忿怒し、啼鳴千回、爲めに惡魔の害、龍害、八部魔神の恐怖戰慄せるの狀態を觀すへし。白紅緑の三色半月に龍ニヤン、及サブダクの座すへく觀すへし。

東方白蓮華上に貴族龍光照力王は體色黃輝、頭飾黃蛇一千、手に蓮華を持ちて座す

へく觀し。南方青蓮華上に龍平民族、バルワ、チャブ、タンは體色闇紅、頭飾藍蛇一千、手に蓮華を持ちて座すへく觀すへし。西方紅蓮華上に龍婆羅門族、ラル、セン、ハ、ラ體色、紅輝、頭飾銅蛇一千、手にハ、ロー華を持ちて座すへく觀す。北方綠蓮華上に龍賤民族、チンバ、ラク、マンは體色黑輝、頭飾黑蛇一千、手に毒花を持ちて座すへく觀し。四隅に難陀龍、砍龍、無邊龍、大輝龍、唵黑角龍、大寶冠龍座すへく觀すへし、四隅の黃處には根底生存地主、地神、龍神、賦保兩龍の座すへく觀し。四層砌に無量眷屬龍變化の諸兒座すへく觀し、壇城の東門にサブダク、タク、チャボ、カ、チ、^{サブダク、タク、チャボ、カ、チ} (Sa—bDag—sTi—Kya—Bo) 灰色虎地主、南門に藍青辰地主 (Sa—bDag—gYa—haBrug—sNon—Po) 西門に黑毛牛地主 (Sa—bDag—haBroi—Nag—Po) 北門に紅鳥地主 (Sa—bDag—Bya—dMar—Po) 住すへく觀せよ。而して燈明、香水、馨香、淨水、蘇油、旃檀香二十七種藥品、美華を龍、及餘族の諸願と衆生の願意との爲めに、善惡の龍國の諸者と惡魔とに又壇城輪の四方に色、聲、香、味、觸、麵、製、龍形供物、五香、五穀等を吼獅、嘯虎の音樂を奏しつゝ見るへからさる天空のセン、ラブ、喇嘛と龍、ニヤン、サブダク、賦保兩龍に捧くへく觀せよ。其觀念の三方法は、若し靜慮のときには、我、トンバ、セン、ラブを觀し、體青色、頭に寶

冠を戴き右に金瓶を左に慈悲の鐵鈎を持して蓮華日月寶臺に座し、眼前に龍族を見て微笑し群生に對して說法しつゝあるを觀せよ。若し猛烈のときには、セン、ラヅを觀し、體色藍黒、光を放ち、右に慧劍を、左に孔雀團を握り、五智神を飾せる寶冠を戴き五神は各五寶冠を被り、其冠飾に猛き青羽の金翅鳥は種々武器を掴みつ飛び藍色金翅鳥は天空に翔け、十字鉈と鐵鈎とを持し掌中に青蛇を掴み、口に蛇頭を食へ鱷、龍兒、蜘蛛、蛙、魚類等を以て飾裝し、剛慢の態度にて八幅の輪座に座しつゝあるを大音揚げて口に金翅鳥の呪文を念しつゝ觀すへし、然る後、三世諸佛、龍、ニヤン、ツグダク、地神、龍神、賦龍、保龍等を見るへからさる天空に召喚して觀し以て清淨完全に祈願し傳布稱讚すへし。

以上は大寶法不思議眞理神聖十萬白龍の内より、一般龍の要畧と、五種龍族との壇城輪製作に於ける方法説明を龍ボンボ、エー、セン、ニンボの願問せし第八節なりとす。

第二章

此神聖十萬白龍は三世諸佛及龍王變化の父母、其變化眷屬等を諸呪と諸結印と默想との方法に由て召喚し、功德の集聚と輪廻解脱の教説と自願成就に由て證得すへき因果集聚とを教ゆるなり。龍ボンボ、エー、セン、ニンボは大寶の如き美麗なる體を有し、頭に五神冠を戴き、五神の各冠上に五種の金翅鳥翔けぬ。頭に白紋蛇を頸に、黄紋蛇を、四支に、青紋蛇を纏ひ、兩手に紅紋蛇を掴み、腰に黒紋蛇を捲き、右手に孔雀王幢を左手に鱷を握り剛慢の状態にて座し、五族龍及無量眷屬に依て圍繞せらる。彼等はトンバを廻周し合掌敬禮、敬虔に願問して云。不思議の實義を解せるセン、ラブ喇嘛よ。功德の集聚と輪廻解脱の意義及び自願成就と、因果集聚との諸義の教説は如何一切智を目前に顯はし、心の奥底より、不思議の眞理を説きて信すへき、因果の諸法を説明せよ。曰。エーセン、ニンボ及ニヤン、サブダク賦保兩龍其眷屬等よ。其功德の集聚に依て輪廻を解脱すへき教説と、因果の諸法義とを

奈何に把住すへき歟は、彼の色體を離脱し、色を清淨完成するに由て、功德因を集聚し得るなり。又壇城輪に於ける諸神屬に供奉し、六趣衆生と龍、ニャン、サブダク共眷屬等を無量慈悲を以て攝取し、全勝五智の慈仁を傳布せば、即自願成就を獲得するのみならず、他願成就を満足して解脱の眞實義を成するに至るべし。

ル、ボンボ、エーセン、ニンボよ。完全清淨に千萬無量色を修し、三世諸佛に敬禮し、彼佛名を稱し、罪惡を懺悔し、以て功德因の道を聚合せば、智慧功德果の集聚を完成し無上解脱を證せん。斯の如く集道に由りて輪廻を離るへき教義と因果との諸義を了會すへし。

受、想、行、識等の五蘊は輪廻のボンなり。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根は輪廻のボンなり。色、聲、香、味、觸、法の六境は輪廻のボンなり。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識意識の六識は輪廻のボンなり。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受は輪廻のボンなり。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處は輪廻のボンなり。無明、行、識、名、色、六入の内持六因は輪廻のボンなり。觸受、愛、取、有、生、老、死の外縛の六因は、輪廻のボンなり。愚癡、瞋恚、貪慾、我慢、嫉妬の五惡因は輪廻のボンなり。生因、

生果、果類、無常、苦空、無我の七因果は輪廻のボンなり。

如此輪廻の諸法を脱し、完全に輪廻の諸法を清淨し、功德因を集聚して、龍、ニャンサブダク及眷屬を無量の慈悲を以て攝取し、全勝五智の慈仁を傳布せば、自願成就より他願成就を得て解脱の目的を成すべし。

ル、ボンボ、エーセン、ニンボよ。無量輪廻の法を完全に修し、三世諸佛に敬禮し、名を稱し、罪業を懺悔するに因て、功德因を集聚せば、智慧功德果を集聚し、無上正果を證得せん。

第三章

龍ボン、エーセン、ニンボよ。如此因果の諸義を會得し、布施の成就を清淨完全に修し三世諸佛に敬禮し、稱名懺悔して功德因を累さね、智慧功德果を獲得し無上解脱を證するに至るべし。エーセン、ニンボよ、因果の諸義を如此了會すへし。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、自願成就の五因は解脱のボンなり。力成

就慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五因は解脱のボンなり。内空、外空、内外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空の一般の名を區別せんも能はさるの九は解脱のボンなり。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんとも能はさるの九空は解脱のボンなり。四道、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道は解脱のボンなり。不可分不可合、ユン、チュン、ボンの九、清淨の智、ユン、チュン九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等無名の四平等、ユン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈、此ユン、チュン、解脱の十地は、解脱のボンなり。大解見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果、此解脱の十一果は解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光、此十三位は解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝の五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、

不偏無量の全周四無量は解脱のボンなり。

是等の解脱の一切ボンを清淨完全、不同不一、千萬無量に修し、三世諸佛に敬禮し稱名懺悔に因て、功德因を集聚せし、功德果の集聚を完成し、無上解脱を證するを得ん。

第四章

爾時、ボンボ、エーセン、ニンボ、問云。不迷樂善に導く、セン、ラブ、トンバよ。清淨完全無垢心と全周無量の慈悲とを以て龍、ニヤン、サブダク、及賦保兩龍の諸族を攝取せし、奈何なる智慧、功德の完成をも得、或は全勝五智の慈仁を傳布せし、奈何なる智慧、功德果の集聚を成して無上解脱を證するを得るや。セン、ラブ曰。龍、ニヤン、サブダク等の輪廻に住する諸屬よ。完全清淨心を以て罪苦を懺悔し、呪文を誦し、父母なきもの、子孫なきもの、珍寶衣食なきもの、諸病に依て惱み、短命なるもの等は信仰を以て能力方法と、衆生の願意とを成し、博愛心を起し、諸佛に清淨莊嚴の供物を

捧け、五種龍族の壇城輪を巡禮し、ルー、プム、カルボの教誡を宣傳し、或は五種供物、藥蘇油、財寶等の種々を備へて諸佛に誓願せし、一百十六種の罪苦を消滅して解脱を得べし。

ニンボよ、色を完全清淨にし、大寶品の如き、無垢の心を以て衆生及龍、ニャン、サブダク、賦保兩龍の諸屬に父の如き哀愍無量の趣旨を成就すへし、不一不等千万無量に全周無量の哀愍を行せし、奈何なる功德因の集聚をも獲得して願義を完成す。母の如き慈悲無量の趣旨を成就すべし、不一不等千万無量に全周無量の慈仁を行せし、奈何なる功德因の集聚をも獲得して願義を完成せん。大珍寶を得し如き、歡喜無量の趣旨を完成すへし。不同不等千万無量に修し、全周無量の歡喜を行せしは功德因の集聚をも獲得して願義を成す。永久絶えざる水源の如き、不偏無量平等の趣旨を完成すへし。不同不等千万無量に修し、全周無量の不偏を行せしは、功德因の集聚を得て願義を成せん。

ボンボ、エー、セン、ニンボよ。斯の如く受、想、行、識の五蘊。眼、耳、鼻、舌、身、意の六根、色、聲、香、味、觸、法の六境。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識、眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸

受、身觸受、意觸受の六觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處。無明、行、識、名、色六入の内持六因、觸、受、愛、取、有、生、老、死の外縛の六因。愚癡、瞋恚、我慢、嫉妬の五惡因。生因、生果、果類、無常、苦空、無我等は輪廻のボンなり。

是等の一切輪廻のボンを清淨完全にし、大寶品の如き、無垢の心を以て六趣衆生と龍、ニャン、サブダク、賦保兩龍の諸屬に、父の如き哀愍無量の旨趣を完成すへし、不同不一千万無量に修し、全周無量の哀愍を行せし、奈何なる功德因の集聚をも獲得して願義を證す。母の如き慈悲無量の趣旨を完成すへし、不同不一千万無量に全周無量の慈悲を行せし、奈何なる功德因の集聚をも得て願義を成せん。大珍寶を得し如き、歡喜無量の趣旨を成すへし、不同不一千万無量に全周無量の歡喜を行せしは、功德因を集聚して願義を成す。永久絶えざる水源の如き、平等無量の趣旨を成すへし、不同不一千万無量に全周無量の不偏平等を修せしは、功德因を集聚して願義を成するに至るべし。

第五章

一四

龍ボンボ、エーセン、ニンボよ。六趣衆生及龍ニヤン、サブダク、賦保兩龍の百十六苦に依て苦惱せる諸衆生は清淨完全の心の精力と歡教、恩寵感化との完成獲得を以て病苦に呻吟し愛慾に沈淪せるものを利益し、或幸福を成せんに一切衆生、及龍ニヤン、サブダク等の諸族は、慈善の成就を修し、心を清淨完成して明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智の慈善を宣布せざるへからず。

愚痴に由て惱める衆生は、智慧の布施を不同一千万無量に撒布せざるへからず。貪慾に由て苦めるものは慈悲の布施を不同一千万無量に撒布し、驕慢に惱めるものは靜慮の布施を修し、嫉妬に惱めるものは寛大の布施を行はざるへからず。斯く布施をは不同一千万無量に修せは、六趣衆生及龍ニヤン、サブダク、賦保龍の苦惱に呻吟せる諸者、或は父母なきもの、或は子孫なきもの、珍寶衣食なきもの、富財能力なきもの、或は病に煩ひ、短命なるものは、其等の障害を脱し、智慧、功德果

の集聚を得て、無上正覺を證せん。エーセン、ニンボよ。如此自願成就の集合を會得せは、眞實に諸罪果を恢復せんなり。

龍ボンボ、エーセン、ニンボよ。六趣衆生及龍ニヤン、サブダク、賦保龍の百十六種の害毒に依て惱める諸族は、完全清淨なる心に由て得たる勢力と勸教の了解、及恩寵感化の完成を以て諸病に苦しむもの、或愛慾に沈淪せるものを利益し、或幸福を成せんに、龍ニヤン、サブダク等の諸族は如此持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五、因、内空、外空、内外空、積聚空、無積聚空、過境空、不顯空、實義空の一般の名を區別せんとするも能はざるの九、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空等の各名を合成せんも能はざるの九空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブ四道。無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道等の解脱のボンを修せざるへからず。

第六章

一六

又、不可分、不可合的、ユン、チュン、ボン、の九、清淨の智、ユン、チュン、の九支、セン、ラブ、の眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱の九平等、無名の四平等、ユン、チュン、ボン、の一切體、常住の四慈、ユン、チュン、の十地は、解脱のボンなり。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切の智識、無上清淨完全の果、此十一果は解脱のボンなり。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユン、チュン、不等の等、不光の光の十三位は解脱のボンなり。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智は解脱のボンなり。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量の全周四無量は解脱のボンなり。

是等の一切解脱のボンを清淨完全の心を以て、大圓鏡智、成所作智、觀察智、平等性智、空性智の全勝五智の布施を宣布せざるべからず。愚癡に惱める衆生は、智慧の

布施を不同一、不一、千万無量に宣布し、貪慾に苦めるものは布施を行し、瞋恚に惱めるものは、慈悲の布施を修し、驕慢に誇るものは、靜慮の布施を行し、嫉妬に病めるものは、寛大の布施をなさるべからず。

如此布施を不同一、不一、千万無量に行せし、六趣衆生及龍ニヤン、サブダク等の四害惡に呻吟せる諸族、或は父母子孫なきもの、珍寶、富財、能力なきもの、或病を煩ひ、短命なるもの等の罪苦を脱し、智慧功德果の集聚を得て無上の正果を證せん。龍、ボン、ボ、エー、セン、ニン、ボよ。如此自願成就の功德の集聚を會得せし、眞實に罪果を離脱すべきなり。

第七章

セン、ラブ曰。龍、ボンボ、エーセン、ニン、ボよ。汝が職務の意義を了解し、諸根をして不動堅持に聽くべし。此神聖十萬白龍不變大乘經に因て、龍病、ニヤン病、サブダク害、或黒白瘡、腫疥癩、疱、黄水、水腫、足疾、惡疾、或霜雹、水劫の雹雨颶風の害、火劫の乾燥、時不順より、發生する疫病、不順の一切龍害、不安の罰刑、不意生の狂氣等を恢復し、外はセン、ラブを信仰敬禮し、甘露水流に等しき、神聖ル、ブム、カルボを尊重信念を以て畫描し、或讀持、或口誦、或常住解讀、或時々讀誦し、以て六趣衆生の理性意思を完全ならしめんに、神聖ル、ブム、カルボに由て三世諸佛、及龍、ニヤン、サブダク等を召喚し、最重の職務を賢心明朗、大信を以て清淨し、種々纏絡を著け、東方に向て護念を乞ひ、各方法の五印を結び、大音を揚げて金翅鳥の呪文を誦し、三禪定の意思に住しつゝ、觀想すへし。斯くして三世諸佛、及龍、ニヤン、サブダク等の眷屬を心に明亮に觀し、禪定に依て召喚願求し、清淨、完全に五種供物を捧げ、靜心に讚嘆して憐心哀愍を起す

べし。

爾時、勤行、精進に召喚念して曰。唵、不變ボンの實體中より、慈仁トンバ、セン、ラブ及一切三世諸佛を六趣衆生の罪障を消滅せん目的に壇城輪の中央白半月の寶座に來現あらんとを願求す。見るへからざる幽冥天體の中より迷闇を明朗ならしむる光明變現のニヤン、バルワ、トッソ、ゴ、エトイ、トル、ツク、チャン及其眷屬を壇城輪の中央紅半月座に召喚の圍繞衆と共に來現あらんことを願求す。無涯迷闇なる下界の地境、黄金層上大蘇迷盧山頂花林殿中五種寶華座より、サブダク、タンマ、セル、チー、ブム、バ、チャン、及眷屬を壇城輪の中央綠半月座に召喚來現せんことを願求す。上下二方より、ニヤン。サブダクを四面四隅の八方上下より、變化の諸屬を大海の深底より、不思議の根元龍の五族を無限の龍宮白城中より。白龍王族 オ、ゲン、ト、ン、チ、オン、及其諸眷屬を壇城輪の中央、白半月座に召喚來現せんことを願求す。

東方瑠璃城より、黃龍貴族セル、チ、ヨ、ド、ブ、チ、ヨクは、體色黃輝、眷屬黃者十萬、藍玉寶座より、壇城輪の東方白蓮華上に召喚來現を願ひ、南方青瑠璃城より、平民族黒龍バルワ、チャブ、ダンは、體色青闇飾、眷屬青者十萬、銅椅寶座より、東方青蓮願上に來現を

願求し。西方紅ラーカ玉城より、紅龍婆羅門族ラルゼンハ、ラは體色紅輝、眷族紅者十萬、鐵拵座より壇城輪の西方紅蓮華座に來現を願求し。北方綠翡翠玉城より平民族黑龍チンバ、ラク、マンは、體色藍輝、眷屬黑者十萬、大青銅椅座より、北方綠蓮華座に來現を願求す。

東北龍宮より、難陀龍は體色綠白飾、眷族綠白者十萬、壇城輪東北蓮華座に召喚來現を願求し。東南蓮華龍宮より無邊龍は體色青綠飾、眷屬灰青者十萬、東南蓮華座に來現を願求し。西南龍宮より唵黑角龍王は、體色黑紅飾、眷屬黑紅者十萬、西南蓮華座に來現を願求し。西北龍宮より、大寶冠龍王は、體色紅綠飾、眷屬紅綠者十萬、西北蓮華座に來現を願求す。蘇迷盧山及層砌の黄金周界より、根底生存地主、地神龍神賦保兩龍を四隅の黃座に來現を願求し。四面四隅の八方住地より、大海湖河、噴泉、氷山、隙石地、森林沼澤より、無量の眷屬龍及變化龍を壇城輪の四層砌上に來現を願求す。

南方空間の住所より、藍青辰地主サシダ、ユイ、ケ、コシガを壇城輪の東門に召喚來現を願求し。西方住地の空間より、サブダク、ロン、ナグボ、黒毛牛地主を西門に來現を願求し。北方住地

の空間より、サブダク、シヤ、マルモ(紅鳥地主)を北門に來現を願求し終りて、讚嘆して曰。ナ、ガ、ラ、マ、ジヤ、サ、マ、ヤ、シヤ、シヤ(Aom—Naha—Ga—Raha—Dsa—Sa—Ma—Ya—Dsa—Dsa)と清淨一語を誦しま。

以上は、大寶法不思議眞理神聖十萬白龍エン、チエン大乘經に由て、三世諸佛及龍ニヤン、サブダク、其眷屬等を召喚し、功德の集聚と因果の諸法とを願問せし第九節なり。

爾時、神聖十萬白龍大寶法不思議眞理エン、チエン大乘經に由て、五族龍の壇城輪に三世諸佛及龍ニヤン等の來現を乞ひし龍ボンボ、エーセン、ニンボは莊嚴なる神盤供物を捧げ、諸恩賞の受得を願求し、洗清心口を以て勸教を稱し、慈仁恩惠に因て壇城輪の日月蓮華の三角形座に來現を祈願召喚し讚嘆して曰。唵、三世諸佛及龍王變化父母其眷屬變化等を清淨なる蓮華八葉と周方樓廓と四天門とにて無量莊嚴せる此壇城輪の各座に無二の慈仁恩惠に依て來現せんことを。唵、ナ、ガ、ラ、マ、ジ

ヤ、シヤ、サ、マ、ヤ、シヤ、シヤ、シヤ(Aom—Naha—Ga—Raha—Dsa—Dsa—Sa—Ma—Ya—Si—Ti—SJa—eHan—eHan)

龍ボンボ、エーセン、ニンボは龍。ニヤン。サブダク及其無量眷屬と人、非人等に依て圍繞せられ、美麗なる纓絡を纏ひぬ。其諸龍は大蓮華形供盤を、ニヤン族は大半月形供盤を、サブダク族は猛烈なる大法輪を、龍ボンボ、エーセン、ニンボは、許多の財寶を盛れる供盤を捧げ、周廻敬禮願問して云。吾等施主及三界無邊衆生の罪障欲情を消滅し、心、法、身、と功德と教化との五力及勸教とを獲得せんに、身口意三業の眞實を以て、不迷樂善に誘導するセン、ラブと諸喇嘛とに供物を捧げ、以て慈仁恩恵の受得と其が成就とを與へんことを、又罪障慾情を除滅し、無生寂靜の大思考を有し、不生寂滅の恩寵を受けんに、種々無量の供物を捧げ、セン、ラブに問ひけらく、トンバよ、種々なる莊嚴供盤の排列、尺量、形態、供物、供呈の方法等の思考條件は奈何、吾等及眷屬に眞實の緣由を説明せんことを曰。エーセン、ニンボと龍。ニヤン。サブダク、其眷屬、無邊身の一切衆生は根不動に住して聽くべし。身、口、意三業の罪惡を去り、清淨三業を以て功德を永久に集聚せんと欲し、種々なる莊嚴神盤に關する趣旨は蓋し外ならず。即一般の排列と特殊の排列との二種にして其尺量は尋尺、弓尺、肘骨尺の三種なり。其形態は圓形、三角形、四角形、半形、三月形、鏡形、玻璃球形等の形

狀なりと知れ。如此諸件を知らずんば天稟の罪障、欲情を消滅する能はず。功德力と世界的本性成就及過境的本性成就を悟りて衆生を清淨無垢たらしめんに、若阿字に其が力と方法とを表し、或はイーダム神に供捧せは、彼本性成就を證するを得べし。或師主に布施をなさは、教訓を得べし。是等の諸條件を誤らず勉め、恒に神聖十萬白龍を宣傳し時々供獻しつゝ、五種龍屬の壇城輪を觀念し、大音を揚げて金翅鳥の呪文を念せは、諸病罪障を消滅するを得べし。

又トンバ曰。ボンボ、エーセン、ニンボ及龍、ニヤン、サブダクよ。根不動に住して聽くべし、彼寂靜圓形の供盤を捧げば、不變身の正果を得べく、猛烈なる三角形壇輪を捧げは、音聲格を阻遮せざる言語音聲根を得べく、半月形供盤を捧げは、心不變なる虚空の根力を得べく、大蓮華の供盤を捧げは、大蓮華のごとき眞實功德根を得べく、不變莊嚴聚輪の供盤を捧げは、不動不變の力を得て、即得成就の業力を得べく、燦然たる錦繡の供盤を捧げは、財寶富力を得べく、美麗なる花朵の供盤を捧げは、艷色佳體の根を得へし。照映明鏡の供盤を捧げは、六根明亮を得。金銀財寶及三百六十種の穀類を捧げは、富源不滅、慈善廣施の力を得。蘇明美麗なる五色土料の供盤

を捧げば、地、水、火、風、空、五素根を得。諸種莊嚴の神盤を捧げば、貧窮困苦を脱れ、一切苦惱なき可能力を得るのみならず。心、法、身、功德、行動の五力と勸教とを得るに至るべし。

爾時龍ボンボ、エーセン、ニンボ、及眷屬は問云。種々莊嚴神盤の本性(品質)と眞實語(眞理)とは如何。セン、ラブ曰。汝等の質義は善哉。彼の種々莊嚴神盤の本性即品質は、愛慾の境を離れ、實語は、無生思考なり。此故に色は愛慾の境を離れ、無生思考の意義の觀念なり。種々莊嚴神盤の本性と實語とに常恒到達せは、從て色を清淨完全ならしむるを得べく、色を清淨完全ならしむるに因て、莊嚴神盤の趣旨を會得し、衆生の覺性を成せん。

受、想、行、識の五蘊。眼根、耳根、鼻根、舌根、身根、意根の六根。色、聲、香、味、觸、法の六境。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處。無明、行、識、名、色、六入の内持六因。觸受、愛、取、有生老死の外縛の六因。愚癡、瞋、悲、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七因果等は輪廻のボンなり。

如此輪廻の諸ボンの愛慾の境を離れ、無生思考の意義を觀念せは、莊嚴神盤の本性、必ず永久到達して輪廻の一切ボンを清淨完全す。輪廻の一切ボンを清淨完全せば、種々莊嚴神盤の趣旨を了解して六趣衆生の覺性を成せん。

第八章

龍ボンボ、エーセン、ニンボは歸依合掌して問云。若輪廻の一切ボンに於ける愛慾の境を脱し、無生思考の意義の觀念に由て、莊嚴神盤の常恒に達し、輪廻の一切ボンを清淨完成して衆生の覺性を成せは、涅槃のボンを證し、富豊自在の解脱を獲得すべきや否。セン、ラブ曰。五族龍の壇城輪を開き、神聖十萬白龍の教訓を宣傳し、三世諸佛及龍ニヤン、ツブダク等に莊嚴神盤を供し、清淨心を以て願求祈念せば、富豊自在力を増長して自由を證得せん。故に布施の成就は、不同不一千萬無量あらんも、其か實義思考に由て心性清淨、善行を成し、遂に解脱の正果を得るに至るべし。持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成

就。外空、内空、内外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏、諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。不可分不可合的、エン、チュン、ボンの九、清淨智、エン、チュンの九支、セン、ラブの真理、不忘の能力、解脱住の九平等、無名の四平等、エン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教、誠、不變のエン、チュン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等は解脱のボンなり。

此等の解脱の諸ボンは、不同不一千萬無量ならんも、其が意義思考に由て、心性清淨善行を成し自由解脱を證得せんなり。

第九章

爾時、龍、ボン、ポ、エー、セン、ニン、ボ問云。意奔と迷漂(附言諸病、狐狸等に由て惑され突然家出する如きも亦迷漂の一種なり)とを守護すべき方法及金翅鳥の咒文を誦して、龍病、ニャン病、サブダクの害及獯猛なる惡魔の諸害を摧伏すべき方法は奈何。曰。ニン、ボよ、根不動を以て聽く可し。意奔と迷漂との起るとき、淨心を以て護るべき方法は日出と晩景とに意奔を知り、午前と夜半とに迷漂を知るの二方法は是れなり。彼の時に於ける護念の方法は即色を清淨完成し、日出に莊嚴神盤を捧げ、願望の何たるを問はず、神聖十萬白龍の教訓を宣布して沈思默想の寂定に入らざるへからず。害惡を消滅せんに晩景に於て莊嚴神盤を捧げ願求禪定に入らざるからず。意奔及迷漂の護るべき方法を斯く了解せば、富豐自在力を増長し眞實に自由解脱を證し得るのみならず尙諸病、罪苦を消滅するに至るべし。

受、想、行、識の輪廻の五蘊。眼、耳、鼻、舌、身、意の六根。色、聲、香味、觸、法の六境。眼識、耳

識、鼻識、舌識、身識、意識の六識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處。無明、行、識、名、色、六入の六內持。觸受、愛、取、有、生、老、死の六外縛。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我慢、嫉妬の五惡因。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我の七因果等は輪廻のボンなり。

此等の輪廻の諸のボンを完全清淨ならしめ、日出のときに莊嚴神盤を捧げ、神聖十萬白龍教説を宣揚して禪定に入らざるへからず。輪廻の諸のボンを完全清淨して晩景に莊嚴神盤を供し、奈何なる誓願をもなして、沈思默想の境に住せざるへからず。意奔のときに要すへき護念の方法を斯の如く把住せは、富豊自在力を増長し、眞實に解脱を得て、諸病罪障を消滅すへし。

第十章

龍ボンボ、エーセン、ニンボよ。不動の根に住して聽くへし。布施の成就を清淨完成し、午前に五族龍の壇城輪を製し、五族神を觀して平等の意思に住せざるへからず。夜半に五種龍族の壇城輪に供して五族神を觀し、平等の意思に住せざるへからず。迷漂護念の方法を斯く把住せは、眞實に病苦害障を清淨ならしめ、富財名聲の根力を増加して眞實に善徳を獲得せん。

持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五。外空、內空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はさるの九。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脱の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道。不可分可合的エンチュン、ボンの九、清淨智、エンチュンの九支、セン、ラブ

の眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脫住の九平等、無名の四平等、エンチエン、ボンの一切體、常住の四慈等のエンチエンの十地。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果の十一果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のエンチエン、不等の等、不光の光の大解脫の十三位。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量の全周四無量等は解脫のボンなり。

若是等解脫の諸ボンを清淨完全し、午前に五族龍の壇城輪を製設し、五族神を觀想して、平等の意思に住し、夜半に五族龍の壇城輪に供養し、五族神を觀想し、平等心に入らざるへからず。迷漂護念の方法を斯く把住せしは、病苦罪障を消滅して解脫の境に達するのみならず、富貴自在力を増長し、善住幸福を得べし。

エーセン、ニンボよ。金翅鳥の呪文を誦して、龍、ニヤン、サブダク等の諸病を摧伏平定に要すへき護念の方法を斯く把住し、黑白砂糖、蜂蜜の三種、諸食品、龍の嗜好物を供して護念し、晝夜の睡眠、煩悶を護り、呪文に依て身刑を護り、淨心を以て咒文を

誦せしは、諸病罪苦を清淨にし、眞實に解脫の自由を證せん。

以上は神聖十萬白龍内部の法門に付て、龍王變化父母及其眷屬等の願問を説明し、莊嚴神盤捧供に關する教説の第拾節なりとす。

第十一章

神聖十萬白龍の法門に因て三世諸佛に願求す。吾等無邊身の衆生は、諸の罪惡と、龍、ニヤン、サブダクの害惡あり。是等の害毒を清淨ならしめ、慾情迷闇を明明清快ならしめんに、淨水を以て灌洗し、開門賦力を授け給へ。仍ち一寶瓶に淨水を盛り、羊乳、五寶、五穀、五核、牛乳、酸乳、蘇油の三種、黑白砂糖、蜂蜜の三種、樟櫛、肉荳蔻、アルラ樹脂、梅檀等を混し、青絹を瓶口に垂れ、木葉を飾り、五色絲を以て綁り、瓶を隔て、塵せる誦讀人は、其糸端を持して手を胸間に當て、念しつゝ、三禪定に入りて寶瓶の蘇迷盧山に充滿すへく觀想し、或白杯に淨水を盛り、杜松葉を撒し、一切靜念活動の熟練ならんを念し、手に白杯を取りて讚嘆して曰。唵、一切の濁惡過失を清淨滅盡

する灌洗の水よ。諸罪過を轉して功德たらしめ、甘露の海水を以て灌醒せは何ものか清淨ならさる。其が清淨ならんを敬禮し亦清淨に護念あれ。寶瓶其者は實に一切に於ける母にして、寶瓶の口飾は思念慮の樹木なり。其が縛結の線糸は即秘密の咒なり。如此寶瓶の飾纓に由て佛身に淨灌洗滌を願ふ。吾等無量衆生の惡業煩惱を洗滌し、受慾迷闇を晴らす淨水に依て、龍ニヤン、サブダクの惡毒を洗滌せよ。唵、ナ、ガ、ラ、ジャ、チ、ヨ、グ、ー、ン、ト、ー、サ、レ、ー、サン、ゲ、蘇婆訶 (Aom—Naha—Ga—Raha—Dsa skyo—Gu—Shum—To—Sa—Le—Sai—Ne—Swaha—Haha) 誦し了りて、寶瓶を先づ自己の頭に載き、次にセンラブと弟子施主との頭に載き、斯る灌水に由て諸力の賦與を乞ひ、其の灌水の頸部より流下して陰門に至り以て慾情迷智を清淨すべく觀し、然る後ち六根と面像とを灌洗して罪惡の迷闇を晴すべく觀す。即是神聖十萬白龍の法門に由て、愛慾迷闇を明亮ならしめ、諸佛身に灌水を願求し以て龍ニヤン、サブダク三族に洗灌撒布を教ふ。

龍ボンボ、エーセン、ニンボ及龍ボン。ニヤンボン。サブダク、ボン賦龍保龍、マンボン。チンタン等七族、無量眷屬は美麗なる櫻絡衣裳を着け、廻禮叩頭、八寶を捧げ、

歸依合掌す。龍ボンボ、エーセン、ニンボは稀有最勝なる大優盜羅華を捧げ願ふらく。不迷福德に導くセンラブ尊者よ。吾等諸眷屬は身は無力にして光輝小なり、口は無力にして言調弱劣、意亦無力にして思考朦朧なり。命令の法螺は無力にして慈悲僅少。演鼓亦無力にして發聲不可能なり。希くは慈悲方便の鍵鑰を以て五族龍の壇城輪の九寶門戸を開き、外力、内力、密力及智慧方便の把住結合と四力賦與とを等しく恵み給へ。

センラブ、トンバは西方根本座より起ちて告曰。龍ボンボ、エーセン、ニンボ及無量の圍繞者よ、眞實心を以て聽くべし。殺生、偷盜、邪淫の身業三惡を去りて常に周廻敬禮せは、身根に大光を生せん。妄語、綺語、兩舌の口業四惡を去りて咒文を絶えず誦せは、口根に調和言語を得ん。貪慾、瞋恚、愚癡の意業三毒を離れ、常に三禪定を修せは、意根思慮を説明亮ならしむ。三業を清淨し白螺樂に教訓を書き尊重信仰敬禮せは、字母三十字を知り得る能力を興へ、亦佳美物材に由て豊富ならしむ。貪智開眼して時々再三、教誡を宣傳せは、奈何なる願望をも其恩恵を生せん。根を永久不滅ならしむる恩恵と根を永久不滅ならしむる根の實體とに由て演鼓樂に堪

練能力を得は發聲能力を大ならしむ。慈悲恩恵と方便智慧との鍵鑰を以て、自然の壇城輪廻禪定の壇城輪門、集物の壇城輪門、招寶の壇城輪門を開き、灌洗淨心の寶瓶より外力を得て外の六境を管せしむ。五藥、五穀、五菓、牛乳酸乳、蘇乳、砂糖、食品及力帽、方衣、方靴、結印等に因て能力を得ば、心靈に力を護得せん。稱讚咒文を理會し秘密の能力を得は、安樂心地の力を得ん。神を念し明白ならざる言説を教訓し、無慾無瞋の能力を得ば、方便と智慧とを攝取結合するの力を得べし。方便と智鑰との鍵鑰を以て五族龍の壇城輪に於ける東方黄金門を開き、優盜羅華と珊瑚との一髻を有せる貴族龍王は昔龍に由て成就せしボンボ、エーセン、ニンボに能力を賦與して迷闇なる我心を整淨し、願義の六神の實體を成就せし如く、現在に於ける此施主にも亦其が六眞理の六處を成就すべき能力を得せしめよ。方便と智慧とに因て壇城輪の南方藍玉門を開き、運華大寶を持せる平民族龍王は昔エーセン、ニンボに能力を與へて方便と智慧とを把住すべき結合の地、外力を得せしめし如く、現在の此施主にも亦方便と智慧とを把住すべき結合の能力を與へよ。方便と智慧との鍵鑰を以て彼の壇城輪の西方銅門を開き、婆羅門族王はハ、ロー華と紅銅との九

髻を有す。昔エーセン、ニンボに身口意三業の能力を與へ三毒の罪過を清淨し神の心法、身を形成せしめし如く、現在の此施主にも三業に能力を賦與し三毒の罪を去りて、身口意三業を形成すへき力を得せしめよ。方便と智慧との鍵鑰に因て彼壇城輪の北方青翡翠玉門を開き、青翡翠玉の四髻を有し、手に毒華を持せる賤民族龍王は、エーセン、ニンボに四大陸より昇天すへき能力を賦與せし如く、現在の此施主にも亦同一の能力を賦與せよ。方便と智慧との鍵鑰に因て、壇城輪の東北の銅門を開き、喜德龍ゲイ、カ、ボは、紅綠寶の九髻を有し、手に紋蛇を掴む、彼は昔エーセン、ニンボに能力を賦與し、因果の八法門を識りて四面四隅の八智を成就せし如く、現在に於ける此施主にも亦八智を完成すへき能力を與へよ。方便と智慧との鍵鑰に因て、壇城輪の東西黄金門を開き、五寶五髻、黑蛙を掴める無邊龍は、エーセン、ニンボに能力を與へ五惡を消滅し五徳を成就せし如く、現在の此施主にも亦五毒を去り、五智根を得て方便と智慧とを把住結合し得へき能力を與へよ。方便と智賦との鍵鑰に由て西南寶玉門を開き、唵黑角龍は大光珊瑚の九髻を有し、甘露瓶を持つ。往昔エーセン、ニンボに能力を賦與し迷闇なる我心を整正し、願義の六神實體を成就せし

めし如く、現在の此施主にも亦六真理の六處の實體を得て、方便と智慧とを把住結合すべき能力を得せしめよ。方便と智慧との鍵鑰に由て、西北紅綠寶門を開き、紅綠寶の九髻を有し、手に黄金魚藍玉魚を持する大寶冠龍王は、昔エーセン、ニンボに能力を賦與して貴き保護者となりし如く、現在の此施主にも亦同一能力を興へよ。方便と智慧との鍵鑰に由て、中央白寶門を開き、如意珠の九髻を有し、優蓋羅華を持せる王族白龍オグデン、トゥン、チョン、は、往昔エーセン、ニンボに能力を興へ、九乗道を解して九乗道を成就し、永久輪廻の九地を超越せし如く、現在の此施主にも亦如意珠の九髻を得べき力と、同一の成就超越とを得せしめよ。其修冠蛇は敵を撓屈する畏ろしき黒蛇千飾にして體に供せは、身體位置に應し縮少して五毒を離れざる形狀との方法を現はす。敵を撓める縮少反抗の方法は、不思議力を以て諸龍を整集す。其愚癡を摧伏すべき大力あらしめん、一千黒蛇を束環すべき力の賦與に由て、猛烈なる瞋恚の熾地を消滅して、熟練勝善の力を得せしめよ。

セムラブ曰。龍ボンボ、エーセン、ニンボ及現在の施主と無邊身は一切衆生の色受、想、行、識の五蘊に力を賦與し、五蘊を完全清淨すべき能力を得て無上の佛を成せ

よ。眼、耳、鼻、舌、身、意の六根に力を賦し、六根清淨の能力を發見して無上の佛を成せよ。色、聲、香、味、觸、法の六境に力を興へ、六境を完全清淨すべき能力を得て、無上の佛を成せよ。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識の六識に力を送りて、六識を完全清淨すべき能力を得て、無上の佛を成せよ。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受の六觸受到に力を送りて、六觸受を完全清淨ならしむる能力を得て、無上の佛を成せよ。風處、火處、水處、地處、空處、識處の六生處に力を送りて、六生處を完全清淨ならしむる能力を得て、無上の佛を成せよ。無明、行、識、名、色、六入の六内持に力を送りて、六内持を完全清淨ならしむる能力を得て、無上の佛を成せよ。觸、受、愛、取、有、生、老、死の六外縛に力を送りて、六外縛を完全清淨ならしむる能力を得て、無上の佛を成せよ。愚癡、瞋恚、貪慾、我慢、嫉妬の五惡因に力を送りて、五惡因を完全清淨ならしむる能力を得て、無上の佛を成せよ。生因、生果、果類、無常、苦空、無我の輪廻の七因果に力を送りて、輪廻の七因果を完全清淨ならしむる能力を得るに由て、無上の佛を成せよ。

龍ボンボ、エーセン、ニンボ及龍。ニヤン。サンダク、賦龍、保龍、無邊身の衆生等よ。布施成就、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就の自願成就の五を完全清淨すべき力

を得て無上の佛を成せよ。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就を完全清淨すへき力を得て、無上の佛を成せよ。外空、内空、内外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空の各名を合成せんも能はざるの九を完全清淨すへき能力を得て、無上の佛を成せよ。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脫の八道、不還果、一來果、入流果、無量信の菩提の十二道を完全清淨すへき力を得るに由て無上の佛を成せよ。不可分不可合的エン、チュン、ポンの九清淨智、エン、チュンの九支、セン、ラブの真理、各清淨の四智、不忘の能力、解脫の九平等、無名の四平等、エン、チュン、ポンの一切體、常住の四慈、此エン、チュン、十地を完全清淨すべき力を得て無上の佛を成せよ。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果の十一果を完全清淨すへき力を得て無上の佛を成せよ。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のエン、チュン、不等の等、不光の光、此大解脫の十三位を

完全清淨すへき力を得て無上の佛を成せよ。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智の全勝五智を完全清淨すへき力を得て、無上の佛を成せよ。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量の全周四無量を完全清淨すへき力を得て無上の佛を成せよ。

第十二章

爾時龍ボン、ポ、エー、セン、ニン、ボは問云。吾等及龍、ニヤン。サブ、ダク、賦龍、保龍、無邊身の衆生、諸施主は完全清淨の力を得て無上正覺の佛果を證するのとき、或外境の元素に其が力を生すへき歟、將た内力の精神中に其が力を生すへき歟、又秘密的菩提心に其が力を生すへきや如何。トン、バ曰。汝等の質義は宜なり、根不動に住して聽くべし。清淨心の人類は生の始めより潔清の活動を宣布し、力と方法とを圓滿完成して喇嘛師主たるへき能力を獲得し、進て六種衆生の憂悶願義に勤め慈心を有し、悲哀苦悶なからしめき。若又現に眞實依心を發し、身業に廻禮合掌し、口業に神聖十萬白龍の教説を宣布し、意業に禪定を修し、且つ、牛乳、酸乳、蘇油の三種、香味

五穀、寶藥等の布施をなさは、外より生ずる悪魔怨敵を抑制退治して、外境の生果を支配するに至るべく、内より生ずる苦惱を治するに由て、内力精神を支配するを得べし、秘密を識らざるより生ずる苦源を治するに由て、秘密的菩提心を成治するに至るへし。

此の故に龍ボンボ、エーセンニンボよ。無邊身は一切衆生及イーダム神、國土神祇等を抑催し、清淨三業を以て歸敬し、色に付て牛乳、酸乳、蘇油の三種、五穀香味、寶藥、嗜物、財寶等の布施を行せざるへからず。色受等の五蘊を清淨完成せは、豊富最高完全の能力を得て無上の佛たるを得ん。エーセン、ニンボよ。無邊身は一切衆生及イータム神、惡魔等を抑制して身口意三業を清淨歸敬せよ。

斯の如く眼耳等の六境。色聲等の六根。眼識等の六識。眼觸受等の六觸受。風處等の六生處。無明等の六內持。觸等の六外縛。愚癡等の五惡因。生因等の七因果等は輪廻のボンなり。

是等輪廻の一切ボンに由て牛乳、酸乳、蘇油の三種、五穀、香藥、好物、財寶等の布施を弘布せざるへからず。而して若輪廻の一切法を清淨完成せは、最高完全豊富の力

を證得して無上正覺を成せん。

第十三章

龍成就のエーセン、ニンボ及無邊身は一切衆生は布施の成就を清淨完成せは其能力を獲得するか故に、外境生果に力を得るのみならず、内力精神に力を生じて遂に亦秘密の菩提心に力を成するに至るべし。布施成就に三力を圓滿完成せは明かに無上佛果を證せん。

エーセン、ニンボ及無邊身は一切衆生よ。斯の如くに持戒成就等の自願成就。力成就等の他願成就。外空等の一般の名を區別せんもなし能はさるの九。自然空等の各名を合成せんも能はさるの九。四追想等の菩提の十二道。不可分、不可合的、エン、チュンボンの九等のエン、チュンの十地。大解の見等の十一果。顯然の信等の大解脱の十三位。明鏡智等の全勝五智。哀愍無量等の全周四無量等の解脱の一切法に三力を圓滿成就せは無上佛果を證せん。

以上は神聖十萬白龍に由て五種龍族の壇城輪内より洗心を以て門を開き、能力を賦與すべき教説に關する第十一節なり。

第十四章

大寶法不思議眞理エンチエン大乘經に由て、神聖十萬白龍の内より、吾及無邊一切衆生は三世諸佛龍、ニャン、ツブダク其無量眷屬等に身口意三業を以て歸敬懺悔す。見るべからざる天體より化現せる慈仁トンバ、センラブ、全智六十一種、善生功德三十七種を有する尊者と、三世諸佛及圍繞衆等に敬禮し、目的護念を依願す。龍成就ボンボ、エーセン、ニンボに目的護念を依願す。烈夏法龍に敬禮し、目的護念を依願す。ニャンボン、タンタン、チオルワに敬禮し、目的護念を依願す。サブダク、ボンボ、チー、タク、ラル、シー、ボ、ゼー、長毛の虎に乗れる大地主に禮敬し、目的護念を依願す。マンボン、チャンタン、コン、ゴン、青上平屋樂法地主、sMan—Bon—haBoni—Than Gon—sNonに敬禮し、目的護念を依願す。ゼンボン、ラン、ツァクバ、鬘袋保法龍、gZed—Bon

Lan—Tshawa—Khug—Pa) にチヨク、ボンバ、ヂュク、バ(亞鉛袋暴保龍、haBrog—Bon—Ba—Ti—Khug—Pa)に敬禮し、目的護念を依願す。王族白族光持螺護者、及其眷屬白者十萬に、貴族黃龍、光照力主、及眷屬黃者十萬に平民族青龍、燭光遍滿者及眷屬青者十萬に、婆羅門族紅龍、大劍有毒者及眷屬紅者十萬に、賤民族黑龍、多支持者及眷屬黑者十萬に目的護念を依願す。難陀龍王に砍龍王に無邊龍王に大輝龍王に無勝龍王に、樂根持龍王に貴力龍王に、唵黑角龍王に、大寶冠龍王に、中央王族龍に、東方王族龍に、西方王族龍に、北方王族龍に敬禮し、目的護念を依願す。

又中央貴龍、東方貴族龍、南方貴族龍、西方貴族龍、北方貴族龍に敬禮し、目的護念を依願す。四方中央の平民五族、四方中央の婆羅門五族、四方中央の賤民五族に、東方五髻龍王、中央白寶髻龍王、北方黃金寶髻龍王、南方藍玉髻龍王、西方鐵髻龍王、北方青銅髻龍王に、南方黑蛇龍王、中央人身一頭蛇龍、東方人身二頭蛇龍、南方人身三頭蛇龍、西方人身四頭蛇龍、北方人身五方蛇龍、見毒龍、西方四水住地龍、人身馬頭龍、人身牛頭龍、人身孔雀頭龍、人身獅子頭龍、北方人身雜種牛頭龍、北方身鹿頭龍、豚頭龍、鰐頭龍、魚頭龍、螺頭龍、大天蓋力龍、東方白牛白龍、南方青牛藍玉龍、西方紅牛銅龍、北方黃牛金龍、

始布天龍、全住地龍、千地守護龍、西方銅鳥紅龍、北方金鳥黃龍、東方玻璃鳥白龍、南方藍玉鳥青龍、東方螺護白龍、南方ゼー、ロー、マ、ティー龍 (KLu-Bge-Ro-Ma-Ti) 西方、セルー、ロー、ハ、ティー (KLu-Bge-Ro-Ha-Ti) 成足龍、盲龍、老男龍、老女龍、少年龍、比丘龍、比丘尼龍、優婆塞龍、優婆夷龍、に敬禮し、目的護念を願求す。人身虎頭龍、人身鼠頭龍、人身蜥蜴頭龍、人身蜘蛛頭龍、人身八口魚頭龍、人身蠍頭龍、人身狗頭龍、天界主龍王、眷屬龍四族大龍、四主龍、四臣龍、保護白龍、天雷龍、地震龍、王族人身馬頭龍、貴族人身鶴頭龍、平民族人身牛頭龍、婆羅門族人身鼠頭龍、賤民族人身多手蜥蜴頭黑龍、青銅銀持龍、蜥蜴支持龍、全平等菩薩龍、無二菩薩龍、全德菩薩龍、德菩薩龍、ユン、チュン、德菩薩龍、全導菩薩龍、全周菩薩龍、歡喜龍王、全德龍王、大輪行龍王、梵天龍王、因陀羅龍王、清淨龍王、大淨龍王、無憂龍王、大湖龍王、大海龍王、東方白龍王、淨好龍王、喜近龍王、鱗龍王、水神龍王、タカ龍王 (Ta-Ka) 六指龍、力龍、心龍、貴力龍王、水力龍王、水花龍王、斧龍王、王善龍、優龍、蘇迷盧身龍、日光龍、月光龍、雅善龍、電鳴龍、降雨龍、無垢龍、大力龍、鹿頭龍、高白頭藍玉持持猛烈者及其眷屬、ニヤン王、ラド、ナ、ケール (Rad-Na-Ka-Ru) 及眷屬、ニヤン王、チャ、ボ、ル、チヨク (Khr-Bo-Ku-skyogs) 及眷屬、ニヤン王、ツィ、ト、ン、リ、ホ (Hu-Sto-dGrs

一 (E) 及眷屬自身多頭猛烈王、青上貴猛烈王及眷屬、ニヤン王、ア、セ、デー (A haDrod-De) 及眷屬、ニヤン王なる一藥龍王、及眷屬、五百三十五兄及眷屬、五百三十五妹、及眷屬、大黑長翔金翅鳥猛烈王、及眷屬、黑鳥猛烈王及眷屬、八力猛烈王及眷屬、ニヤン王、ズー、ジ (gZu-bZhi) ニヤン王、ヤ、カ、ガ (rTse-cKa) ニヤン王、ゾー、グー (sTse-Gu) ニヤン王、ヤ、ル、ニン、ム、ム、ム (Mar-rNvin-cham-Pa) ニヤン王、ドー、ニン、ツ、ム、ム (rDo-sNye3-Rin-Pa) ニヤンの四臣大勝強猛烈王、ニヤン王、トク、トク、セル、チャン (Thog-Thog-Ser-sPyun) 五千慈達猛烈王、ニヤン王、カ、チャド (Ka-sByad) 降種鹽猛烈王、常恒周猛烈者、大千時猛烈者、貴劍數命猛烈者、北住風猛烈者、西住水猛烈者、南住火猛烈者、東住樹猛烈者、東住日猛烈者、月猛烈者、虹猛烈者、全三千界遍滿猛烈者、天上白猛烈者、空間紋色猛烈者、地黃猛烈者、嚴石猛烈者、大千地猛烈者、電猛烈者、氷猛烈者、磐石猛烈者、土猛烈者、森林猛烈者、水猛烈者、東白猛烈者、南青猛烈者、西紅猛烈者、北綠猛烈者、四地主王、四臣地主、稻鼻地主、大手地主、根底生存地主、教天女地主、全開根底地主、黃龜地主、海豹歲神地主、慎妻地主、全根底臣地主、享福確椅地主、千冠地主、全三千界周遍地主、無體四方手攬地主、大千遍滿地主、東方灰虎地主、南方藍辰地主、西方黑毛牛地主、北方紅鳥地主、黑魔龍、紅

邪神龍、白鬘女龍、紋靈龍、保龍王、賦龍王、四面四隅八方上下より龍、ニヤン。サブダク
の三族の散布せる天山、地石、天地上下、草莽、森林、巖石、草野、噴泉等に住せる一切諸族
に敬禮し、護念を願求す。

龍ボンボ、エーセン、ニンボは願問して云。全智の主トンバよ。三界の頂より地
獄の底に至る迄、無量塵埃に等しき衆生の哀れにも罪惡諸病に依て惱めるものは
五族壇城輪の龍。ニヤン。サブダク及其眷屬に身口意三業を以て歸依敬禮せば、
或諸病罪苦を清淨して解脱を證するを得るや否。曰。無憂真心に敬禮せば、眞に
苦惱を消滅せんなり。若又無上正覺を得んと欲する六趣衆生は、尊重信心を發し、
心をして清淨完成ならしめ、不迷善樂に導く一切智主と喇嘛の舍利塔、經、彫刻、繪畫、
修塔等の誘道を修し罪惡無善の行爲の奈何を問はず、其を懺悔せば、眞實に無上正
覺を證するを得ん。

爾時、エーセン、ニンボ及龍。ニヤン。サブダク、千萬無量眷屬、無邊身の一切衆生
は全智の主トンバ、センラブと誘導の寶塔に歸依合掌して願す。龍ボン。ニヤン、
ボン。サブダク、賦保ボン、及無邊身の一切衆生は殺生、偷盜、邪淫の身業罪惡を改悔

し妄語惡口、綺語兩舌の口業罪惡と貪慾瞋恚、愚癡の意業罪惡の懺悔に由て全智な
る汝に據て慈愛を生ず、高白頭藍玉髻持者及ニヤン國の諸者は多くの不思議奇蹟
を現してセンラブに示視し毒箭雨雹、雪を降下し、颶風黒雲を散吹し、不快の音響を
發し、或は教誡を誹謗し、ニヤンの加ふる一切害病を懺悔し、又黄金瓶持教地主及其
眷屬等の不思議眞理のポンを詆譏し、精微ならざる認識、圓滿巧妙ならざる理智を
懺悔し、或はセンラブの圍繞大衆に颶風、暴風、雨、木石、雹、毒雨、毒箭、蝦蟇、蚊等を變化示
視せしことを懺悔し、或は王族白龍、光持螺護者及其眷屬等のトンバの命令、十萬白龍
を尊重せず、却て其が教誡を誹議せし事を或彼主及眷屬等の蛇繩を以て衆生を綁
縛し、センラブに示視せし事等を懺悔し、貴族貴龍、光照力主及眷屬等の戦ひの蛙狀
石を投して衆生を苦しめ、平民族青龍、燄遍滿者及眷屬等の毒水を一切衆生とセン
ラブとに撒布せし害惡、婆羅門族紅龍、大創有毒者及眷屬等の青紅繩網を以て衆生
を縛し、センラブの圍繞衆を綁りし谷、平民族黒龍、チンバ、ラク、マン、及眷屬等の毒箭
をセンラブの圍繞衆に發射せし罪惡等を懺悔す。此の如く吾等及龍。ニヤン。
サブダク、賦保、無邊身の一切衆生が爲せし怕ろしき瞋恚毒惡を廻心改悔して、一切

智主なる汝の慈悲に因て罪惡不善の諸行を清淨ならしむるなり。

ニンボは更に問云。龍、ニヤン。サブダク、賦、保、兩龍、無邊身の一切衆生等の爲せし行爲の怖るへき罪業不善をも其を廻心改悔せは、或は無上清淨の解脱の悟りを開くへきや否、曰。汝の質義は實に善哉。色に付て爲せし罪業不善の奈何なる行爲をも一度改悔せは必ず無上解脱を證し得へきなり。

受想、行識等の五蘊に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。眼等の六根に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。色、聲等六境に由て奈何なる罪業不善の行爲を爲せしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。眼識等の六識に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。眼觸受等の六結果の觸受到由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。風處等の六生處に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。無明等の六内持に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。觸受等の六外縛

に由て奈何なる罪業不善の行爲をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。愚癡等の輪廻の五惡因に由て奈何なる罪業不善をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證せん。生因等の輪廻の七因果に由て奈何なる罪業不善をなせしとも、其を廻心改悔せは無上解脱を證すへきなり。

第十五章

龍、ボン、ボ、エーセン、ニンボ及龍ニヤン。サブダク、賦、龍、保、龍、無邊身の一切衆生よ。若し尊敬、眞實淨心を發して布施成就を完成し、奈何なる罪業不善の行爲をも廻心改悔せは、必ず無上解脱を得ん。

汝等は斯の如く歸依眞實信心を起して持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就、自願成就、力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就の他願成就の五。外空、內空、內外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、一般の名を區別せんも能はさるの九。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在、一切ボン成

就、空即空の各名を合成せんもなし能はさるの九。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脫の八道。不還果一來果、入流果、無量信の菩提の十二道。不可分不可合的、エンチュン、ボンの九、清淨智、エン、チュンの九支、セン、ラブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脫住の九平等、無名の四平等、エンチュン、ボンの一切體、常住の四慈、のエンチュン十地。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善行の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全の果の十一果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の咒文、不轉の心、不動の教誡、不變のエンチュン、不等の等、不光の光の大解脫の十三位。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智、の全勝五智。哀愍無量、慈悲無量、勸喜無量、不徧元量の全周四無量等の解脫の一切、ボンを修して、奈何なる罪業不善の行爲ありしならんも、其を改悔懺悔せは無上解脫の正果を證せん。

第十六章

爾時、トンバ、セン、ラブ告げて曰。エーセン、ニンボ及龍、ニヤン。サブダク、賦龍、保龍、無邊身の一切衆生は、君敬虔に信仰し、心をして清淨完全ならしめ、勇猛精進に廻心改悔せは、色に於ける愚癡の罪惡、貪慾の罪業、瞋恚の罪惱、我慢の罪苦、嫉妬の苦惱等、怕るへき罪業不善の何の諸行をも問はず、其を廻心改悔に由て離脱せは無上解脫を獲得せん。

エーセン、ニンボ等の諸族よ。敬虔に信仰し、心をして清淨ならしめ、罪業不徳の何の諸行をも問はず、其を廻心懺悔せは、色、受、想、行、識。眼、耳、鼻、舌、身。色、聲、香、味、觸、法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明、行、識、名、色、六入。觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、貪慾、瞋恚、我慢、嫉妬。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我等の輪廻の一切法に於ける愚癡罪、貪慾罪、瞋恚罪、我慢罪、嫉妬罪等の罪業不徳の諸行を離脱して、無上清淨なる自由解脫の境界

に至るべし。

第十七章

龍、ボン、ポ、エー、セン、ニン、ボ、及無邊身の一切衆生は、斯の如く五惡の罪業を去りて布施成就の智、仁、慈悲、寂靜等廣大なる一切功德を獲得すべく、眞實に企圖せば、無上解脱を證せんは實なり。

エー、セン、ニン、ボ、及無邊身の一切衆生よ。若し斯の如く五惡の罪業を去りて、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。外空、内空、内外空、積聚空、不積聚空、遇境空、不顯空、大空、實義空、自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラ、ブの四道、無畏の諸力、解脱の八道。不還果、一來果、入流果、無量信。不可分不可合的、エン、チ、ユン、ボン、の九、清淨智、エン、チ、ユン、の九支、セン、ラ、ブの眞理、各清淨の四智、不忘の能力、解脱住の九平等、無名の四平等、エン、チ、ユン、ボン

の一切體、常住の四慈。大解の見、無獲の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不境の住城、不忘の咒、不轉の心、不動の教誡、不變のエン、チ、ユン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等に於ける解脱の一切ボン、の智、仁、慈悲、寂靜等の廣大なる一切功德を獲得せんを眞實に企圖せば、必ず無上解脱を證せんなり。

以上は神聖十萬白龍の内より三世諸佛及龍。ニヤン。サブダク、其眷屬等に歸依敬禮、罪業懺悔に關して説明せしものゝ第十六節なり。

第十八章

五四

爾時神聖十萬白龍エンチエン大乘經に由て不見界に住せる三世諸佛と壇城輪に於ける龍。ニヤン。サブダクとに五種の供物を明白なる綠山を以て捧げんとす。第一に燈明を捧げ、印を結ふに兩掌を天に向け、拇指、人刺指、高々指、無名指の八指を上下に立て、小指を互に結びて天に睥しつゝ、讚嘆曰。唵、光明世界、日月光及一切光輝は吾等無邊衆生の無明と迷闇との二を明明ならしめんに見るへからさる天體に住せるセンラブ喇嘛と三世諸佛及五族龍の壇城輪に於ける、サブダク。龍。ニヤン其眷屬等に燈明を捧ぐる色天女は歡喜諧調の言話を以て、壇城神に此供物を捧げんとす。悉くは慈仁聖語に由て無疑なる吾等の願志を享けよ。唵、ジュニヤ、ナ、ネー、ヂ、エー、ジュ、ソ、ラ、蘇婆訶 (Aom—Danyaha—Ne—Ti—Ye—Dawa—La—Swaha—Haha)

次に薰香供物を捧げ、印を結ふに右掌上に左掌を置き、天空を見つゝ、讚嘆して曰。草木、樹林、五穀の成長營養ならしめん、に體肉、豈、莖、ア、カ、ラ、薰物、泪、芙、藍、梅、檀、を混合

して、芳薰好佳の線泉を製し以て吾等の無明迷闇の二ツを明明ならしん爲め、見るべからさる天體に住せるセンラブ喇嘛と三世諸佛及五族龍の壇城輪に於ける、サブダク。龍。ニヤン、其眷屬等に香火を捧ぐる香天女は快活諧調の言話を睥しつゝ、此供物を捧げん。希くは、慈仁聖語に由て無疑なる吾等の願志を享けよ。唵、ド、バ、ド、バ、ラン、ラン、ブー、ニー、蘇婆訶 (Aom—Du—Pa—Du—Pa—Lañ—Pa—Ni—Swaha—Haha)

次に清淨水の供物を捧げ、印を結ふに兩手の各小指、無名指を屈曲し、各人刺指を併合し、各拇指を以て之を抑壓し、讚嘆して曰。唵、大寶梅檀清淨瓶中の此の清淨甘露水は、吾等無邊衆生の無明慾情の二を洗滌せん爲に、不見界の虚空に住せるセンラブ喇嘛と三世諸佛及五族龍の壇城輪に於ける、サブダク。龍。ニヤン、其眷屬等に法鼓を奏捧する聲天女は諧調語を以て壇城輪に此供物を捧げん。希くは慈仁聖語に由て吾等の無疑なる願志を享けよ。唵、身、法、心、ム、ク、ブ、グ、ブ、デー、シ、ヨ、サ、レ、サン、グ、蘇婆訶 (Aom—sku—gSuñ—Thugs—Mu—Khu—Hu—Gn—Hahom—D e—shu—Sa—Le—San—Ne—Swaha—Haha)

次に蘇迷盧山上の清淨なる味供物を捧げ、印を結ふに二拳頭を合し、兩拇指を立

て、讚嘆して曰。唵、閻浮提四州に生ずる青稞、米、麥、小豆、大豆等の清淨天女の作りし清淨蘇迷山の此供物を以て、吾等及無邊衆生の無明迷闇の二を晴明ならしめん爲めに、不明天體に住せる、センラブ喇嘛と、三世諸佛及五族龍の壇城輪に於けるサブダク。龍。ニヤン、其眷屬等に供物(Niān—Ze)を捧ぐる味天女は諧調歡語を以て壇城輪に此供物を捧げん。希くは慈仁聖語に由て無疑なる吾等の願志を享けよ。

唵ア、カル、ジエー、エー、蘇婆訶(A—Khar—Ze—Ye—Swaha—Haha)

終りに美華を捧けて、印を結ふに兩拇指を互合し、兩掌を合し、八指頭を會し、小指の間を開きて讚嘆して曰。唵、四時守護の天女が作る大蘇迷盧山上の燦爛美灑なる花華を以て、吾等及無邊衆生の無明迷闇の二を明瞭ならしめんに、見るへからざる天體に住せるセンラブ喇嘛と三世諸佛及五族龍の壇城輪に於けるサブダク。龍ニヤン、其眷屬等に纓絡衣裳を捧ぐる觸天女は諧調歡語を吟しつゝ壇城輪に此供物を捧げん。希くは慈仁聖語に由て吾等の無疑なる願志を享けよ。唵、ビ、ムネー、ラ、ヤ、ラ、蘇婆訶(Aom—Pus—Pham—Ne—Re—Ya—La—Swaha—Haha)

斯くして後ら、不明虚空に住せるセンラブ喇嘛と三世諸佛及壇城輪に供捧し、無

邊衆生は龍。ニヤン。サブダクに身業敬禮の五種結印を供するに因て、五種飾裳身を
得て、明かに菩提身を集得せしめよ。五種説明語を供するに因て五種法を有し、光
明は無相明瞭なる解脱法を集得せしめよ。五種の咒文を捧けて五種身を有し、平
等無過の心を集得せしめよ。五種物を捧けて五功德を有し、善性功德を集得せし
めよ。五禪定に因て五種教化を得て、即時成就の活動を集得せしめよ。天語、人語
々、ジク語(或云波爾斯語或虎語なりと?)、ヅン、ズン語西藏語の五語を捧け、一般優美
尊敬の語を得て公道の諸義を集得せしめよ。神聖十萬白龍の甘露水を供して其
が淨水に因て慾情を洗淨し、無邊衆生の罪障慾情を清め、猶鏡を磨けは垢去りて光
生するか如く、一切理知をして明瞭ならしめよ。日月光明に等しく一切衆生を平
等に攝取し男女は佛母に於ける諸義を集得せしめよ。人をして認識の諸條件を
集得せしむるのみならず、尙過境の智慧の諸條件をも集得せしめよ。ルー、ブムは
白龍王族光持螺護者及千萬無量眷屬に供献して、ルー、ブムの諸義を集得せしめよ。
カル、ボは命令を清淨完全する猶水晶氷山の色のごとく苦界に住せる一切衆生の
惡業を滅し、往生の一切目的を成すべく集得せしめよ。若夫れ往生の諸義を集得

して供捧せは離脱と受得との二義を集得するを得べし。トンプアの經義を精解し、眞實圓滿の智を實行して供捧せは、輪廻主體の了解諸義を集得すべけん。エーセン、ニンボ及ニヤン。サブダク。龍王族等は、種々無量の供物を捧ける善良願問は諸眷屬を集得せん。エーセン、ニンボ及無邊衆生は守護の八幅壇城輪と、奉安の種々壇城輪及建設の五種壇城輪とを了會して供捧せは、壇城輪に於ける諸義を集得せん。自他及諸族を守護すへき方法は、月の初一日、初八日、十五日、二十九日の四日において守護の一切條件を集得す。供呈の普通と特殊との二種壇城輪、或はイー、ダム神と國土の祖神とに呈すへき二種供物を集め、圓形、半月形、三角形、四角形、掌狀形、圓鏡形等の諸形義を集得して供物を呈し、或は青周圍、紅半月、二十八宿星中の白八宿星、四黃蓮華、四紅蓮華、四蒼四開、蓮華青稞狀の白色形圓圍の青なる者、エンチュンの白色なる者、四隅黄色の者等の形狀と色素とを集めて供呈せは、供物に於ける一切意義を集得せん。建設せる二種壇城輪を供するに因て龍を召喚聚合すへき方法の諸義を集得す。意奔と迷漂との時護の方法諸義の把住は即日、出、晚景、午前、夜半に於て修せは、守護の諸義を會得せん。斯の如く善德諸行を了會して眞實に行せば、

罪障を消滅して必定解脫の正果を獲得すへきなり。

第十九章

セン、ラブ告げて曰。エーセン、ニンボ及其千萬圍繞者よ。此の如く五種供物の集得諸義を明白にして供養し、心を清淨完成し以て色を善德に修せは、世界開闢劫、風劫、無水劫、食人飢渴劫、人業破壞四魔劫の五大劫を逸れて衆生は一切願義を成せん。龍、ボンボ、エーセン、ニンボ等よ。五種供物の諸義を明白に了會し、心をして圓滿清淨ならしめは、亦斯の如く受想、行、識、眼、耳、鼻、舌、身、意。色、聲、香、味、觸、法。眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識。眼觸受、耳觸受、鼻觸受、舌觸受、身觸受、意觸受。風處、火處、水處、地處、空處、識處。無明、行、識、名、色、六入、觸、受、愛、取、有、生、老、死。愚癡、瞋、恚、貪、慾、我慢、嫉妬。生因、生果、果類、無常、苦、空、無我等の輪廻の一切ボンに由て身、法、心、功德、教化の五供を捧げ、或は布施成就、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就。力成就、慈仁成就、祈願成就、方便成就、智慧成就。外空、內空、內外空、積聚空、不積聚空、過境空、不顯空、大空、實義空、

自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、センラブの四道、無畏の諸力、解脫の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。不可分不可合的エンチュン、ボンの九、清淨智、エンチュンの九支、セン、ラブの眞理、各々清淨の四智、不忘の能力、解脫の九平等、無名の四平等、エン、チュン、ボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のエンチュン、不平等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等の解脫の一切ボンに由て、身、法、心、功德、職務の五供を捧し、色、聲、香、觸、法の五義を明白にして無上善徳を修せは、世界闇黑劫、風劫、無水劫、食人、饑飢劫、人業破壞四魔劫の五大劫を逸れて衆生の願義を成徳せん。

第二十章

龍、ボン、ボ、エー、セン、ニン、ボ、及無量圍繞者よ。此の如く五供集義を明白にし、完全清淨心を以て布施成就を修し、身、法、心、功德、活動の五供を呈し、色、聲、香、味、觸法及エンチュン一切實義を燎然明瞭ならしめは無上解脫を悟らん。

エー、セン、ニン、ボ、及諸圍繞衆よ。斯く五供の意義を明白にし、心を清淨圓滿ならしめば、持戒成就、忍辱成就、精進成就、禪定成就。力成就、慈仁成就、祈願成就、智慧成就。外空、內空、内外空、積聚空、不積聚空、過境空、大空、實義空。自然空、無自然空、各名空、無始無終空、無壞空、無自性空、無自性之實在空、一切ボン空、空即空。四追想、四清淨滅、四不思議、諸力、諸禪定、セン、ラブの四道、無畏の諸力、解脫の八道、不還果、一來果、入流果、無量信。不可分不可合的エンチュン、ボンの九、清淨智、エンチュンの九支、セン、ラブの四智、不忘の能力、解脫住の九平等、無名の四平等、エンチュン、ボンの一切體、常住の四慈。大解の見、無護の聖語、不斷成就の職務、完全清淨の實行、善生の功德、平等住の本性、不

變の身、無我の命令、平等無過の心、一切智識、無上清淨完全果。顯然の信、不顯然の慧、不貪の強力、不心の行爲、不試の智、不壞の王幢、不壞の住城、不忘の呪、不轉の心、不動の教誡、不變のユンチュン、不等の等、不光の光。明鏡智、成所作智、觀察智、平等智、空性智。哀愍無量、慈悲無量、歡喜無量、不偏無量等の一切解脫法に因て、身、法、心、功德、職務の五供を呈し、色、聲、香、味、觸の五義を顯然明亮ならしめ、無上解脫を獲得すへし。

第二十一章

一切智主トンバ曰。龍、ボンボ、エーセン、ニンボよ、龍、ニヤン、サブダク、賦、保、兩龍、無邊衆生にして五種供物を獻し、外境の諸義を顯明ならしめ、神聖十萬白龍の意義因縁を了會する者は、色に就て、無相虚空の如く光明、明明なる理知生し、平等にして無雜なる虹霓に等しく、意義明白に、光りは無自性の反響に等しく、見は美麗なる孔雀紋羽の如く意義顯然たらん。

エーセン、ニンボ及龍、ニヤン、サブダク、無邊衆生は五供を捧げ、外境の一切意義を

して顯明ならしめ、神聖十萬白龍の因縁趣旨を了會せは、受、想、行、識の五蘊。眼等の六根。色等の六境。眼識等の六識。眼觸受等の六觸受。風處等の六生處。無明等の六内持。觸等の六外縛、愚癡等の五惡因。生因等の七因果等の輪廻の一切ボンに就て、無相虚空に等しく明亮なる意義の理知生し、平等無雜なる虹霓に等しく、意義明白に。光は無相明鏡の如く、見は美麗なる孔雀紋羽の如く、意義顯然を生せんなり。

第二十二章

龍、ボンボ、エーセン、ニンボよ。龍、ニヤン、サブダク、賦、保、兩龍、無邊衆生は布施成就に付て、無自性なる意義を了會せは、無上解脫を證得するに至るへし。

エーセン、ニンボよ。龍、ニヤン、サブダク、賦、保、兩龍、無邊衆生は斯の如く持我成就等の自願成就の五。力成就等の他願成就の五。外空等の一般の名を區別せんもなし能はさるの九。自然空等の各名を合成せんも能はさるの九。四追想等の菩提の十二道。不可分不可合的ユンチュン、ボンの九等のユンチュンの十地。大解

の見等の十一果。顯然の信等の大解脱の十三位。明鏡智等の全勝の五智。哀愍無量等の全周四無量等の解脱の一切法に付て、光明の無自性なる實義を顯明に了會せは無上解脱を獲得すべし。

以上は五族龍の壇城輪の内より、不見界に住せる三世諸佛と龍ニヤンサブダク賦龍、保龍に五種供物の集義明了を以て捧くへきの説明の第十三節なり。

爾時、大寶法不思議眞理神聖十萬白龍エンチエン大乘經に由て、五族龍の壇城輪内より、三世諸佛、龍ニヤンサブダクの三族等に稱讚祈願を清淨完全に爲して讚嘆して曰。唵、五族龍の壇城輪に於ける中央白半月台に座せるセンラブは體色藍玉、頭に寶冠を戴き、右手に寶瓶を、左手に慈悲鐵鈎を持し、體より光明を放ちて一切衆生を導きつゝあるの、トンバに敬禮稱嘆して供物を捧げん。中央紅半月台にニヤン王、高白頭藍玉髻持者は體色水晶の如く、頭に藍玉寶冠を戴き、手に鶴嶺を持し、種々不思議を十方に散布しつゝ、座せる猛烈王に敬禮讚嘆して供物を捧げん。中央線半月台に黄金瓶持教地主は體色黃珠の如く、頭は藍玉寶髻にして手に黄金瓶を持ちつ座し、敬禮讚嘆供物を捧げん。中央紅半月台に王族白龍光持螺護者は體色

白螺の如く、頭飾白蛇一千、手に優盜羅華を持して座し、敬禮稱讚供物を捧げん。

東方蓮華座に貴族黃龍、光照力主は、頭飾黃蛇一千、手に優盜羅華を持して座し、敬禮稱讚供物を捧げん。南方青蓮華台に平民族青龍、バルフ、チャブ、ズンは體圓紅色、頭飾藍蛇一千、手に蓮華を持して座す、敬禮稱讚供物を捧げん。西方紅蓮華座に婆羅門族紅龍、ラル、セン、ハラは體紅色光を放ち、頭飾銅蛇一千、手にハロー華を持して座し、敬禮稱讚供物を捧げん、北方綠蓮華座に平民族黑龍、チンバ、ラクマンは體色藍黑、光輝を發し、頭飾青銅蛇一千、手に毒花を持して座す、敬禮稱讚供物を捧げん。

東北黃蓮華座に難蛇龍王は體色綠白飾、敬禮稱讚供物を捧げん。東南紅蓮華座に無邊大輝龍王は體色灰青飾、敬禮稱讚供物を捧げん。西南綠蓮華座に唵黑角龍王は體色綠紅飾、敬禮稱讚供物を捧げん。

四隅黃色座に根底生存地主及地神、龍神、賦保兩龍の諸族に敬禮稱讚供物を捧げん。壇城輪の四門に住せる大守護サブダク四神に敬禮稱讚供物を捧げん。眞珠、黄金、藍玉、最上香、清淨華、香、麵、製骨形供物、巨顆核、五樂、五香、五穀、牛乳、酸乳、蘇油、黑白砂糖、蜂蜜、

清水と牛乳との混合物及色、聲、香、味、觸等を吼獅嘯虎の如き種々音樂を奏しつゝ、此廣大なる供物を不見界のセンラブ喇嘛と龍ニヤン、サブダク等の諸屬に敬禮稱讚して捧供せん。唵、デー、シヨ、ナマ、ガラ、ザ、マ、ヤ、トル、トル、トム、トム、蘇婆訶 (Om—De—

Sho—Naha—Ga—Ra—Tsha—Sa—Ma—Ya—Thor—Thor—Thom—Swaha—Haha)

トンバ、センラブ告げて曰。龍、ボンボ、エーセン、ニンボ及無邊身の一切衆生が六種の罪苦を摧破し、自由を獲得せん爲め、完全清淨に祈願を修するを。龍ニヤン、サブダク、賦保兩龍等は身口意三業を清淨し不動の根を以て聽くべし。不明天體に住せるセンラブ喇嘛と龍ニヤン、サブダク、保賦兩龍の諸族に捧くへき炳耀たる蘇油の燈明供養の功德に因て、吾等施主及無邊身の一切衆生は闇黑却を逸れしめよ。神聖清淨水の供養功德に因て、無水却難を逸れしめよ。蘇迷盧山上に生する神の清淨なる供養功德に因て、食人飢饉却を逸れしめよ。晃耀優美なる花井供養の功德に因て、人業打破四魔却を逸れしめよ。種々の音樂奏供の功德に因て、五聲明の意義を了會せしめよ。芳薰香火の供養功德に因て、五香の意義を了會せしめよ。麵製骨形供養の功德に因て、五香の意義を解せしめよ。清淨なる衣絡供養の功德に

因て、五觸の意義を解せしめよ。麵製の食味、牛乳、酸乳、蘇油の供養功德に因て、小羊屠戮の性僻を消滅せしめよ。黑白砂糖、蜂蜜、供養の功德に因て、龍ニヤン、サブダクに反抗し、ニヤンの住地を開掘し、ニヤンの守れる巖石を轉復し、ニヤンの樹木を砍り、ニヤンの草莽を薙り、ニヤンの水を吸出す等の性僻を消滅せしめよ。千種穀類を以て合製せる骨形喰味供養の功德に因て、シーバ神(Ni—Ba)四十二屬、龍ニヤン、サブダク、賦保、龍諸屬等の心を満足せしめよ。清水供養の功德に因て、罪障無明を洗滌し、慈仁に由て永久絶えざる運命を有せしめよ。五穀供養の功德に因て、永久衰滅せざる富財の運命を有せしめよ。三百六十種藥品供養の功德に因て、膽汁、痰風邪、血液變發病の四種及四百四病等の苦痛を逸れしめよ。手狀形草の供養功德に因て、龍の四支傷害を恢復せしめよ。肉苴苴供養の功德に因て、腦病を治せしめよ。チャク、サン、藥草供養の功德に因て、頸病を療せしめよ。シヨ、シャ、核(Ni—Sha)供養の功德に因て、心病を。白色シユ、ダク、藥(Shi—Da)供養の功德に因て、脈筋病を。白粒求供養の功德に因て、熱病を。白螺供養の功德に因て、骨病を。赭石供養の功德に因て、皮膚病を。馨香供養の功德に因て、腔病を。大朱供養の功德に因て、血病を、

黑色シヨ、シヤ核供養の功德に因て腎臟病を。巖石に生ずる藥草ア、バ(A-Ba)供養の功德に因て眼病を。樹液供養の功德に因て頭髮鬚病を治せしめよ。糝粃製龍形味供養の功德に因て人及龍は諸種財富を有し、愛好九種を得せしめよ。金銀銅鐵等五種大寶供養の功德に因て、五智を得せしめよ。白牛、白山羊乳供養の功德に因て甘露池に灌洗すへくなさしめよ。雌雄兩樹液供養の功德に因てバク、サム樹禪定樹 aPag-Sam-Shi) を豊富ならしめよ。糝粃製髓骨形味供養の功德に因て身、法、心の實義を有し、五種生をして即時成就せしめよ。白紬供養の功德に因て各清淨智の理會を有せしめよ。紅紬供養の功德に因て、博愛無偏の意思を有せしめよ。黒紬供養の功德に因て、ボン即不變の原理を有せしめよ。綿繡供養功德に因て、諸龍愛樂の五功德を得せしめよ。箭矢供養の功德に因て、生命を托すへき城廓を有せしめよ。劍供養の功德に因て、五惡罪苦を切斷すへき意思を有せしめよ。菘求供養の功德に因て、閻浮提四州に住家を有し、四州を統御せしめよ。孔雀草供養の功德に因て、瞋恚王の害傷と、貪慾女の害惡と、我慢の阿脩羅の害と、愚癡の龍害と、嫉妬の惡魔害とを離脱して、恐怖を保護し、一千八十種の惡魔の害惡を逸れしめよ。

裝飾寶瓶供養に因て、諸龍無量宮殿を得せしめよ。甘露、白牛、山羊、牛等乳、淨水の五種供養に因て、希望の九寶を豊富ならしむへき願意を有せしめよ。裝飾禪定樹供養に因て、四州の六趣衆生を保護せしめよ。色素引線供養の功德に因て、慈悲誘導の引線を有せしめよ。小片絹を處々に垂掛する供養に因て、不意生の狂病三百六十病を痊癒せしめよ。裝飾寶瓶の加被力に因て、四種賦力を完成して五力を有せしめよ。身業手印の功德に因て龍、ニャン、サブダク、賦保、龍、施主等一切衆生の身業三罪を消滅して身業大手印を有せしめよ。口業に金翅鳥の咒文を誦する功德に因て龍、ニャン、サブダク、賦保、兩龍及施主等一切衆生の口業の四惡を清淨にし音聲言説に障りなからしめ、實義の正理を得せしめよ。意業に禪定を修する功德に因て、龍、ニャン、サブダク、賦保及施主等諸衆生の意業の三毒を滅し、心をして轉倒なからしむへき理性を有せしめよ。神聖十萬白龍の教説を宣傳する功德に因て、病切、鬪切、餓切、霜雹切、火劫、水劫等の災難を逸れ、時應降雨、五穀家畜を豐饒ならしめ、人病、家畜病等一切諸難を永久絶滅せしめよ。五族龍の壇城輪供養の功德に因て、自から即時完成し得へき壇城輪體を成就せしめよ。